



クリエの基本操作



クリエで文字を
入力する



パソコンと
クリエを同期させる

クリエ読本

クリエの設定を変更する

パソコンとファイル/データを同期する

“メモリースティック” などの
記録メディアを使う

赤外線通信機能を使う

Bluetooth 機能を使う

計算機、辞書、検索機能を使う

クリエのデータやアプリケーションを
バックアップする

パスワードでデータを保護する

アプリケーションを追加して機能を拡張する

他のクリエのデータを移す

CLiÉ

はじめに

この冊子では、クリエの基本的な操作方法や、便利な機能を説明しています。

はじめてのクリエ

基本的な使いかたを詳しく説明しています。(11~88 ページ)

クリエの基本操作

クリエの基本的な操作方法やアプリケーションの起動方法を説明します。

クリエで文字を入力する

文字の入力方法を説明します。

パソコンとクリエを同期させる

パソコンとクリエと一緒に使う方法を説明します。

クリエ活用編

クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。(89~217 ページ)

クリエの設定を変更する(環境設定)

クリエの設定を自分の好みに合わせて変更する方法を説明します。

パソコンとファイル/データを同期する(その他の HotSync)

いろいろな HotSync の方法を説明します。

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

“メモリースティック”などの記録メディアを使ったファイル/データの利用方法を説明します。

赤外線通信機能を使う

赤外線通信機能を使って他のクリエとデータやアプリケーションを交換する方法を説明します。

Bluetooth 機能を使う

Bluetooth 機能を使って他のクリエとファイル/データを交換したり、インターネットに接続したりする方法を説明します。

計算機、辞書、検索機能を使う

計算機、辞書、検索機能を説明します。

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

クリエのデータやアプリケーションのバックアップ方法を説明します。

パスワードでデータを保護する

パスワードを設定して、他人がクリエを使用できないようにしたり、データを保護する方法を説明します。

アプリケーションを追加して機能を拡張する

クリエにアプリケーションを追加する方法を説明します。

他のクリエのデータを移す

現在お使いのクリエのデータを新しいクリエに引き継ぐ方法を説明します。

本機には以下のマニュアルを付属しています。

下記をご覧の上、それぞれ知りたい内容にあわせてご活用ください。

- ☐ 最初に知っておいていただきたいことを説明しています

	はじめにお読みください(取扱説明書) 次の内容を説明しています。 • クリエ本体とパソコンの準備 • 本機の基本的な操作 • 付属アプリケーションでできること 必ず別冊の「安全のために」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。
---	--

- ☐ クリエの基本操作を詳しく知りたいときは

- ☐ クリエの設定を変更したいときは

	クリエ読本(本冊子) はじめてのクリエ 基本的な使いかたを詳しく説明しています。 クリエ活用編 クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。
---	--

- ☐ 付属アプリケーションの使いかたを詳しく知りたいときは

- ☐ 使いたいアプリケーションのインストール方法を知りたいときは

	クリエ アプリケーションマニュアル (HTML 形式:パソコン上で動作) 知りたい内容を、アプリケーション名と目的の両方から探すことができます。 このマニュアルはパソコンと連携して使うための準備を行うと、パソコンに自動的にインストールされます。 このマニュアルの使いかたは、別冊の「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「アプリケーションマニュアルの使いかた」をご覧ください。
--	---

- ☐ 困ったときの対処法は

	困ったときは Q&A 本機を使っていて困ったときの対処の方法を説明しています。
---	---

ご注意

- この冊子(クリエ読本)で使われているイラストと画面は、お使いのクリエと若干異なる場合があります。
 - ➡**お使いのクリエについて詳しくは、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」をご覧ください。**
- この冊子に記載されているアクセサリーの一部は、お使いのクリエに対応していない場合があります。
 - ➡**お使いのクリエに対応するアクセサリーについて詳しくは、ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ**
(<http://www.nccl.sony.co.jp/>)をご覧ください。

目次

クリエの基本操作

基本的な操作方法	12
スタイラスの使いかた	12
ジョグダイヤルの使いかた	14
アプリケーションを起動する	16
ホーム画面「CLIE 3D Launcher(クリエ スリーディー ランチャー)」からアプリケーションを起動する	16
アプリケーションを終了する	17
「CLIE 3D Launcher(クリエ スリーディー ランチャー)」を 使いこなす	18
画面の見かた	18
CLIE 3D Launcher グループ	19
ショートカットを使う	23
表示形式を変更する	25
アプリケーション情報の表示	26
メニュー項目	27
Palm 標準のホーム画面を使う	28
Palm 標準のホーム画面に切り換える	28
アプリケーションを起動する	29
ホーム画面の表示形式を変更する	32
カテゴリごとにアプリケーションを表示する	34
表示フォントを変更する	36
共通メニュー項目	37

目次

クリエで文字を入力する

クリエで文字を入力するには	40
文字入力の方法	40
ATOK を使用する	42
ATOK を導入する	42
標準の日本語入力システムに戻す	44
Graffiti 2 で文字を入力する	45
Graffiti 2 (グラフィティ ツー) について	45
Graffiti 2 文字一覧	48
Graffiti 2 で文字を入力してみる	51
基本的な使いかた	52
ナビゲーション記号やショートカットを利用する	54
デクマ手書き入力で文字を入力する	55
デクマ手書き入力について	55
標準モードで文字を入力してみる	56
文字が正しく認識されないときには	59
文字と背景の色について	60
文字を変換する	61
その他の入力操作	62
その他の入力モード	63
手書き入力の設定を変更する	64
スクリーンキーボードで文字を入力する	65
文字入力の準備をする	65
基本的な使いかた	67
Palm OS 標準の日本語入力システムを使って入力する	70

ATOK を使いこなす	73
推測変換を使って効率よく入力する	73
よく使う単語を登録する	74
覚えておくと便利な機能	76
ATOK の設定を変更する	79

パソコンとクリエを同期させる

HotSync(ホットシンク)とは?	82
HotSync する	84
USB ケーブルで HotSync する(ローカル HotSync)	84
パソコンで情報を管理する(CLIE Palm Desktop)	86
CLIE Palm Desktop ソフトウェアを起動する	86
画面の見かた	87
基本的な使いかた	88

目次

クリエの設定を変更する (環境設定)

環境設定でできること	90
Bluetooth 機能を設定する	92
Bluetooth 機能の入／切を	
切り換える	92
Bluetooth の情報を確認／	
変更する	93
通信相手の情報を表示する／	
削除する	94
Graffiti 2 を設定する	95
ショートカットを作成する	96
入力位置を調整する	
(デジタイザ調整)	97
ワイヤレス LAN のネットワーク	
接続設定を編集する	98
ワイヤレス LAN アクセスポイントを	
手動で設定する	98
ワイヤレス LAN アクセスポイントを	
検索して設定する	99
ワイヤレス LAN アクセスポイントの	
設定を自動選択するように	
設定する	100
ワイヤレス LAN の接続状態を	
確認する	101
「ワイヤレス LAN 設定」画面の	
メニュー項目	101
プロバイダやダイヤルアップサーバーの	
ネットワーク接続設定を編集する	102
編集したいサービステンプレートを	
選ぶ	102
ユーザー名を入力する	103
パスワードを入力する	103

ダイヤルアップ先の電話番号を	
入力する	104
詳細な接続情報を追加設定する	105
サービステンプレートを複製する／	
削除する	107
ログインスクリプトを作成する	108
「環境設定」画面の[ネットワーク]の	
メニュー項目	111
アプリケーションボタンの割り当てを	
変更する	112
スタイラス操作により起動する機能を	
変更する	113
ユーザー辞書を登録する	115
自動電源オフまでの時間を設定する	116
各種の操作音の設定を変更する	117
LED の設定を変更する	118
赤外線通信の受信を入／切する	119
テーマカラーを設定する	120
シルクスクリーン領域の位置を	
変更する	121
キーボード照明の設定を変更する	122
数字キーを使ってアプリケーションを	
起動できるようにする	123
日時／数値などの表示書式を	
設定する	124
地域ごとの標準設定で表示する	124
単位ごとに好みの書式を選ぶ	124
通信機器の設定を追加／変更する	125
日付／時刻を合わせる	126

パソコンとファイル／データを同期する(その他のHotSync)

HotSync 時の動作を設定する (コンジット)	128
外部ファイルを同期する (ファイルリンク)	130
HotSync マネージャの起動方法や HotSync の接続設定を変更する	131
ワイヤレス LAN(ネットワーク)経由で HotSync する (ネットワーク HotSync)	132
Bluetooth で HotSync する	135
赤外線 で HotSync する	139
LAN(ネットワーク)経由で HotSync する (LAN Sync)	142

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

“メモリースティック”などの 記録メディアを使う	148
本機で使える記録メディアに ついて	148
“メモリースティック”を使う	148
ファイル／データを書き込み 禁止にする	151
記録メディア内のアプリケーションを 起動する	152
記録メディアの情報を確認する (カード情報)	153
記録メディアに名前をつける	153
記録メディアを初期化する (フォーマット)	154

ファイル／フォルダをコピー／移動／ 削除する	156
「CLIE Files(クリエファイルズ)」を 起動する	156
クリエのファイルを記録メディアに コピーする	160
記録メディアのファイルをクリエに コピーする	162
記録メディアのファイル／フォルダを 削除する	163
Zip 形式のファイルを解凍する ...	165
「CLIE Files」のメニュー項目	167
「CLIE Files」を使わずに アプリケーションを交換する	168
記録メディアからアプリケーション を起動するときのご注意	169

赤外線通信機能を使う

赤外線 でデータやアプリケーションを 交換する	172
赤外線通信機能でできること	172
データやアプリケーションを 赤外線通信で送信する	173
データやアプリケーションを 赤外線通信で受信する	174

Bluetooth 機能を使う

Bluetooth でファイル／データを 交換する	176
Bluetooth 機能でできること	176
Bluetooth 機能対応のクリエに ファイル／データを送信する	176

目次

パソコンとワイヤレスで	
HotSync する	178
Bluetooth 機能対応の携帯電話を使って	
インターネットに接続する	179
準備する	179
インターネットに接続する	183

計算機、辞書、検索機能を使う

計算機として使う(電卓)	186
「電卓」で計算する	186
計算補助ボタンの機能	187
「電卓」のメニュー項目	188
辞書を引く(辞書)	189
「辞書」でできること	189
「辞書」の使いかた	189
データを検索する	190
文字で検索する	190

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

クリエのデータやアプリケーションを	
バックアップする	194
HotSync でパソコン上にデータやアプリ	
ケーションをバックアップする	194

パスワードでデータを保護する

所有者の情報を入力する	198
クリエをパスワードでロックする	200
ロックしてから電源を切る	200
自動的にロックする	202

データを保護する	203
パスワードを設定する	203
パスワードを変更／削除する	204
プライベートデータを表示しないように	
設定する	205

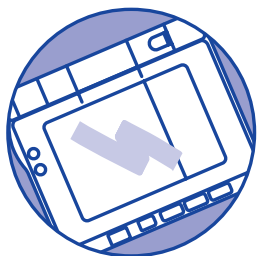
アプリケーションを追加して機能を拡張する

アプリケーションを追加して	
機能を拡張する	208
インストールする	209
パソコンからクリエに	
インストールする	209
記録メディアにアプリケーションを	
インストールする	211
インターネットから	
インストールする	211
追加インストールした	
アプリケーションを削除する	212

他のクリエのデータを移す

他のクリエのデータを移す	214
CLIE Palm Desktop ソフトウェアで	
データを引き継ぐ	214

索引



クリエの基本操作

この章ではクリエの基本的な操作方法である、スタイラスやジョグダイヤルの使いかた、画面の見かた、アプリケーションの起動のしかたについて説明します。

また、アプリケーションに共通のメニューや、画面に表示される文字の書体（フォント）の選びかたなどについても説明しています。

基本的な操作方法	12
アプリケーションを起動する	16
「CLIE 3D Launcher(クリエ スリーディー ランチャー)」を使い こなす	18
Palm 標準のホーム画面を使う	28
表示フォントを変更する	36
共通メニュー項目	37

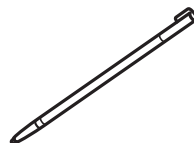
基本的な操作方法

スタイラスとジョグダイヤルを使って操作します。

..... スタイラスの使いかた

スタイラスとは

クリエの画面を直接さわって操作するためのペンです。



💡 ヒント

スタイラスはどこにあるの？

スタイラスはクリエに収納されています。

➡ **詳しくは、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「各部のなまえとはたらき」をご覧ください。**

ご注意

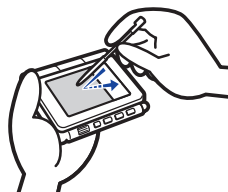
スタイラスは、紛失してしまわないように、使い終わったらクリエに収納してください。

スタイラスを使った操作には、次の 2 種類があります。

タップする

スタイラスで画面を軽く押す操作を「**タップ**」と言います。

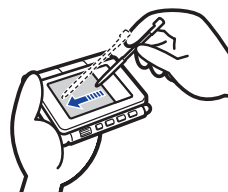
アプリケーションを起動したり、スクリーンキーボードを使って文字を入力するときなどに、画面に表示されている目的のアイコンやボタンを、スタイラスで「**タップ**」します。



ドラッグする

スタイラスを画面に軽く当てたまま、画面をなぞる操作を「**ドラッグ**」と言います。

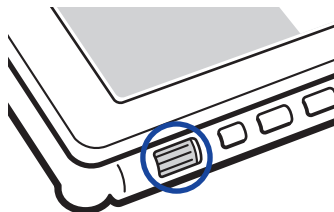
パソコンの「**ドラッグ**」と同じように、スクロールバーを「**ドラッグ**」して画面をスクロールさせたり、文字の上をなぞって選択したりできます。



ジョグダイヤルの使いかた

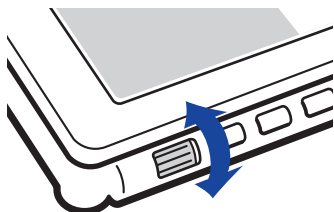
ジョグダイヤルとは

クリエの手前についているダイヤルです。回したり押したりして操作します。クリエはジョグダイヤルだけで主な操作を行うことができるように設計されていますので、片手で持ったまま、スタイラスなしで操作することもできます。



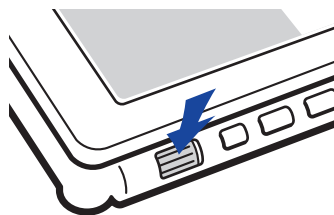
ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回して、いろいろな項目を選んだり、起動するアプリケーションを選んだりできます。



ジョグダイヤルを押す

選んだ項目を確定したり、アプリケーションを実行したりするときは、ジョグダイヤルを押します。



ご注意

ジョグダイヤルを使った操作はアプリケーションによって異なります。

- ➡ 各アプリケーションの操作方法について詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

💡 ヒント

ジョグダイヤルを押しながら回す

一部のアプリケーションでは、ジョグダイヤルを押しながら回すことで操作できる機能があります。

アプリケーションを起動する

「予定表」や「To Do (やることリスト)」、メールを送るなど、クリエで動作して使用者の目的を果たすソフトウェアを「アプリケーション」と言います。クリエで何か操作をするためには、「アプリケーション」を起動する必要があります。

ご注意

“メモリースティック”や内蔵メディア（以降、「記録メディア」と呼びます）に収録されたアプリケーションの起動については、152 ページをご覧ください。

ホーム画面から記録メディアに収録されたアプリケーションを起動することについては、一部システム上の制限事項があります。

💡 ヒント

ホーム画面とは

電源を入れ、ホーム  アイコンをタップした画面をホーム画面と言います。

お買い上げ時の設定では、クリエ独自の「CLIE 3D Launcher(クリエ スリーディー ランチャー)」が表示されます。

ホーム画面「CLIE 3D Launcher(クリエ スリーディー ランチャー)」からアプリケーションを起動する

1

ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

2

ジョグダイヤルを回して起動したいアプリケーションのアイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

💡 ヒント

アプリケーションアイコンをタップして起動することもできます。



..... アプリケーションを終了する

クリエではパソコンでの操作と異なり、操作の終了時に保存を行う必要はありません。

作業中のアプリケーションでの編集内容は自動的に保存され、そのアプリケーションを再度起動すると、終了時と同じ内容が表示されます。

アプリケーションを作業中に別のアプリケーションに切り換えるには、ホーム画面を表示します。ホーム画面を表示するには、以下の2つの方法があります。お好みの方法をお使いください。

ホーム  アイコンをタップして、ホーム画面に戻る

BACK ボタンを長く押して、ホーム画面に戻る

ヒント

アプリケーションボタンを押して別のアプリケーションに切り換えることもできます。

ご注意

一部のアプリケーションでは、「保存」の操作があります。

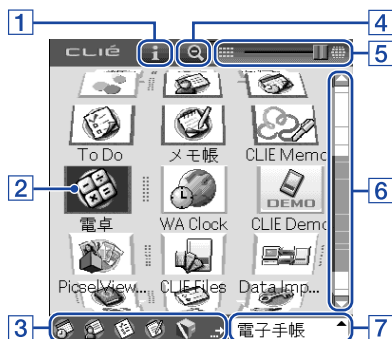
➡ 詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

「CLIE 3D Launcher(クリエスリーディー ランチャー)」を使いこなす

画面の見かた

💡 ヒント

違う画面が表示されているときはホーム  アイコンをタップして、ホーム画面を表示してください。



1 インフォメーションアイコン (26 ページ)

タップすると、選択されているアプリケーションの情報が表示されます。

2 アプリケーションアイコン

3 よく使うアプリケーション(ショートカット)(23 ページ)

よく使うアプリケーションを登録できます。

4 拡大／縮小アイコン(25 ページ)

タップすると、アプリケーションアイコンの表示を拡大／縮小することができます。

5 3D アイコン調節バー(25 ページ)

スタイラスでバーをなぞると、アプリケーションアイコンの 3D 角度を調節できます。

6 スクロールバー

7 CLIE 3D Launcher グループ一覧 (19 ページ)

タップすると、CLIE 3D Launcher グループの一覧が表示されます。

CLIE 3D Launcher グループ

アプリケーションをグループに登録して整理することができます。

ご注意

記録メディア内のアプリケーションはグループに登録できません。

グループの編集

1

ホーム  アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2

メニュー  アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

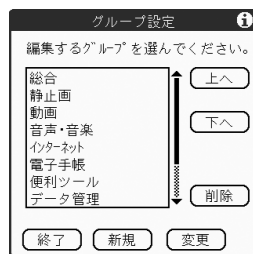
3

[CLIE 3D Launcher]メニューの
[グループ]を選ぶ。

「グループ設定」画面が表示されます。

ご注意

CLIE 3D Launcher のグループと
Palm 標準のホーム画面のカテゴリは
異なります。



4

編集するグループを選び、 [変更]ボタンをタップする。

「グループ」画面が表示されます。

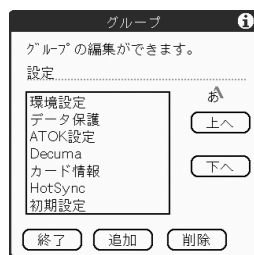
名称変更: グループの名前が表示されている部分をタップして、新しい名前を入力します。

順序の入れ換え: アプリケーションを選んで、[上へ]、[下へ]ボタンをタッ

プして、CLIE 3D Launcher で表示される順序を入れ換えます。

アプリケーションの追加: [追加] ボタンをタップして表示された一覧から、登録するアプリケーションを選びます。

アプリケーションの削除: 削除するアプリケーションを選んで、[削除] ボタンをタップします。削除したアプリケーションは、[未分類]に登録されます。



ご注意

[未分類]のグループは名称を変更できません。

5

[終了]ボタンをタップする。

「グループ設定」画面に戻ります。

6

[終了]ボタンをタップする。

CLIE 3D Launcher (ホーム画面)に戻ります。

グループの表示順を変更する

1

「グループ設定」画面で、グループを選ぶ。

2

[上へ][下へ]ボタンをタップする。

CLIE 3D Launcher で表示する順序が入れ換わります。

新しいグループを追加する

1 「グループ設定」画面で、[新規] ボタンをタップする。

2 グループ名を入力し、[OK] ボタンをタップする。

ご注意

アプリケーションが 1 つも登録されていないグループは、ホーム画面で表示されません。



グループを削除する

1 「グループ設定」画面で、削除するグループを選び、[削除] ボタンをタップする。

グループにアプリケーションが登録されている場合は、表示されたメッセージ画面で、[はい] ボタンをタップすると、グループが削除されます。削除したグループに登録されていたアプリケーションは、[未分類] に登録されます。

ご注意

[未分類] のグループは削除できません。

スクロールバーを使って選択する

1

ホーム  アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2

BACK ボタンを押す。

ジョグダイヤルでの操作の対象がスクロールバーに移動します。

3

ジョグダイヤルを回して、列を選ぶ。

ジョグダイヤルを押すと、アプリケーションアイコンの一覧にジョグダイヤルの操作が移動します。

ヒント

- 記録メディアにインストールされたアプリケーションは、[ カード] または [ 内蔵] グループに登録されています。
- ホーム  アイコンをタップするたびに、グループが順番に切り換わります。また、CLIE 3D Launcher グループ一覧でグループを選ぶこともできます。

ショートカットを使う

よく使うアプリケーションをショートカットに登録しておくと、すぐにアプリケーションが起動できて便利です。

ご注意

記録メディア内のアプリケーションは登録できません。

「よく使うアプリケーション(ショートカット)」にアプリケーションを登録する

1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

2 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。

3 [CLIE 3D Launcher]メニュー
の[よく使うアプリケーション登
録]を選ぶ。

「よく使うアプリケーション登録」画
面が表示されます。



4 アプリケーションを登録する位置をタップする。

アプリケーションの一覧が表示されます。登録するアプリケーション名をタップして、登録します。

💡 ヒント

アプリケーションは最大 10 個まで登録することができます。



5 [終了]ボタンをタップする。

ご注意

ショートカットに登録されているアプリケーションを本機から削除すると、ショートカットも同時に削除されます。

ショートカットからアプリケーションの登録を解除する

手順 4 で登録を解除するものをタップして、リストの一番上の[(設定なし)]を選びます。

表示形式を変更する

アプリケーションアイコンのサイズを変更したり、3D 角度を調節したりすることができます。

サイズの変更

- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

- 2 縮小  アイコンをタップする。
アプリケーションアイコンが縮小表示されます。



ヒント

拡大  アイコンをタップすると元のサイズに戻ります。

3D 角度の調整

- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

- 2 3D アイコン調節バーをドラッグする。
3D 角度が調節されます。



アプリケーション情報の表示

- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

- 2 情報を表示したいアプリケーションをジョグダイヤルで選ぶ。

- 3 インフォメーション  アイコンをタップする。

アプリケーションの一覧が表示されます。

[OK]ボタンをタップして閉じます。



説明文を変更するには

[変更]ボタンをタップして表示された画面で、説明文を変更できます。



[OK]ボタン: 変更を反映します。

[キャンセル]ボタン: 変更をキャンセルします。

[初期値]ボタン: お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー項目

CLIE 3D Launcher のメニュー項目を説明します。

[CLIE 3D Launcher]メニュー

削除 ...	アプリケーションを削除します。(212 ページ)
赤外線通信 ...	アプリケーションやデータを、他の Palm OS 搭載機器に赤外線通信ポート経由で送信します。(172 ページ)
送信 ...	アプリケーションやデータを、Bluetooth 機能付きの Palm OS 搭載機器にワイヤレス送信します。(176 ページ)
グループ	グループの編集を行います。(19 ページ)
よく使うアプリケーション登録	ショートカットにアプリケーションを登録します。(23 ページ)
情報 ...	アプリケーションのバージョンやメモリ容量、データ件数の一覧を表示します。
コピー...	アプリケーションのコピーを行います。

[オプション]メニュー

設定 ...	CLIE 3D Launcher の設定を行います。 カードを表示する チェックをすると記録メディア(“メモリースティック”および内蔵メディア)内のアプリケーションも表示します。(初期設定=オン)
標準画面へ	Palm OS 標準のホーム画面を表示します。(28 ページ)
バージョン情報	CLIE 3D Launcher のバージョン情報を表示します。

Palm 標準のホーム画面を使う

Palm 標準のホーム画面に切り換える

クリエの初期設定では、ホーム  アイコンをタップしたときに、「CLIE 3D Launcher」がホーム画面として表示されるように設定されています。Palm 標準のホーム画面を表示する設定に切り換えるには、次の手順で行います。

1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

2 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。

3 [オプション]メニューの[標準画面へ]をタップする。
Palm 標準のホーム画面が表示されます。

ここをタップしてメニューを
表示することもできます。



タップしてカテゴリを選
ぶと、カテゴリごとにアプ
リケーションを表示でき
ます。

ヒント

ホーム  アイコンをタップするたびに、カテゴリごとの画面に切り換
わります。

ご注意

CLIE 3D Launcher のグループと Palm 標準のホーム画面のカテゴリ
は異なります。

CLIE 3D Launcher に戻すには

- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

- 2 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。

- 3 [オプション]メニューの[CLIE 3D Launcher 画面へ]をタップする。
CLIE 3D Launcher(ホーム画面)が表示されます。

アプリケーションを起動する

ご注意

記録メディアに収録されたアプリケーションの起動については、152ページをご覧ください。

ホーム画面から記録メディアに収録されたアプリケーションを起動することについては、一部システム上の制限事項があります。

ジョグダイヤルで選んで起動する

- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

- 2 ジョグダイヤルを回して起動したいアプリケーションのアイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
アプリケーションが起動します。



ジョグダイヤルでの起動画面の設定を変える

ジョグダイヤルを回したときに、画面の左側にアプリケーションの一覧が表示されるように設定することもできます。

1 ホーム画面でメニューアイコンをタップする。

メニューが表示されます。

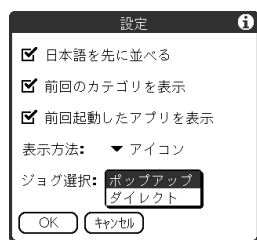


2 [オプション]メニューの[設定]をタップして選ぶ。

「設定」画面が表示されます。



3 [ジョグ選択]の▼をタップして、[ポップアップ]を選ぶ。



4

[OK]をタップする。

ジョグダイヤルを回すと、画面の左側にアプリケーションの一覧が表示されるようになります。



アプリケーションアイコンをタップして起動する

1

ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2

起動したいアプリケーションのアイコンをタップする。

アプリケーションが起動します。



ホーム画面の表示形式を変更する

ホーム画面を一覧表示にしたり、小さいアイコン表示にすることができます。また、ホーム画面を表示したときに、いつも同じカテゴリが表示できるようにしたり、前回起動したアプリケーションが表示されるように設定することもできます。お買い上げ時は、[アイコン]の設定になっています。

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

3 [オプション]メニューの[設定]をタップする。

4 [表示方法]の右の▼をタップし、[名前]または[名前(小)]、 [アイコン(小)]を選ぶ。

5 [OK]をタップする。



名前で一覧表示



名前(小)で
一覧表示



アイコン(小)で
一覧表示

ホーム画面を表示したときに、前回開いていたカテゴリまたは 前回起動したアプリケーションが表示されるようにする

1

ホーム  アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2

メニュー  アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

3

[オプション]メニューの[設定]をタップする。

4

[前回のカテゴリを表示]または[前回起動したアプリを表示]の
☐ をタップして、☒ にする。

初期設定ではチェックされています。

5

[OK]をタップする。

ご注意

アプリケーションボタンを押して起動したアプリケーションやカテゴリは、「前回起動したアプリケーションやカテゴリ」として記憶されません。また、ホーム画面を CLIE 3D Launcher 画面に切り換えた場合も同様です。

カテゴリごとにアプリケーションを表示する

好みのカテゴリのアプリケーションだけをホーム画面に表示するように設定できます。

アプリケーションをカテゴリに区分けする

1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

2 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。

3 [アプリケーション]メニューの[カテゴリ]をタップする。

4 各アプリケーションの横に表示される▼をタップして、カテゴリを選ぶ。

ご注意

新しいカテゴリを作成したいときは、ホーム画面の右上の▼をタップし、[カテゴリの編集]をタップして、「カテゴリの編集」画面を開きます。次に、[新規]ボタンをタップしてカテゴリ名を入力し、[OK]をタップします。新しいカテゴリが追加されるので、[OK]をタップしてください。

5 [終了]をタップする。

カテゴリごとに表示する

1

ホーム  アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2

次のいずれかの操作を行う。

- ホーム  アイコンを繰り返しタップするか、またはジョグダイヤルを繰り返し押して、カテゴリを順に表示する。
- 画面右上の▼をタップして、表示したいカテゴリを選ぶ。

ヒント

[すべて]を選ぶと、すべてのアプリケーションがホーム画面に表示されます。

ジョグダイヤルでアプリケーションを起動するときは、[すべて]にしておく便利です。

ご注意

Palm 標準のホーム画面のカテゴリと CLIE 3D Launcher のグループは異なります。

表示フォントを変更する

画面の文字を読みやすくするために、「予定表」や「アドレス」などのアプリケーションで表示フォントを変更できます。表示フォントは各アプリケーションごとに設定できるため、好みに応じて気軽に変更できます。

1 表示フォントを変更したいアプリケーションを起動する。

2 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。

3 [オプション]メニューの[フォント]をタップする。
「フォント選択」画面が表示されます。

4 好みのフォントをタップする。

5 [OK]をタップする。
設定したアプリケーションの文字列が、新しいフォントで表示されます。

ご注意

アプリケーションによっては「表示フォント」を変更できません。

共通メニュー項目

クリエのアプリケーション「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」に共通のメニュー項目を説明します。

メニューを表示するには、アプリケーションを起動中にメニュー  アイコンをタップします。

アプリケーションに固有のメニュー項目については、各アプリケーションのメニュー項目の説明をご覧ください。

ご注意

表示画面の状態によっては、表示されないメニューもあります。

【編集】メニュー

元に戻す	メニューで行った直前の変更内容を、元に戻します。 例えば、次に説明する[切り取り]で文字列を削除してから[元に戻す]をタップすると、削除が取り消されて、削除した文字列が再び表示されます。
切り取り	スタイラスでドラッグして選択した文字列を削除し、一時的にクリエのメモリに保存します。 切り取った文字列は、アプリケーション内の別の場所や、別のアプリケーションに貼り付けることができます。
コピー	スタイラスでドラッグして選択した文字列をコピーし、一時的にクリエのメモリに保存します。 コピーした文字列は、アプリケーション内の別の場所や、別のアプリケーションに貼り付けることができます。
貼り付け	切り取り、またはコピーした文字列を、スタイラスで選択したカーソル位置に挿入します。 切り取り、またはコピーした文字列がない場合は、使用できません。
すべて選択	現在のデータ内または画面上のすべての文字列を選択します。 選択した文字列を切り取ったりコピーしたりして、別の場所に貼り付けることもできます。

キーボード	スクリーンキーボードを表示します。
Graffiti 2 ヘルプ	Graffiti 2 文字の一覧を表示します。Graffiti 2 文字の書きかたを忘れたときには、「Graffiti 2 ヘルプ」でいつでも確認できます。
単語登録	読みと語句をセットにして、辞書に登録します。登録した語句は、日本語入力モードが「入」のときに、辞書から呼び出して使用できます。 クリエ標準搭載のアプリケーションでは、テキストを入力するときに使用することができますが、一部の他社製のアプリケーションの中には、使用できないものもあります。
辞書を引く	画面上の文章の一部をスタイラスでドラッグして選んでからこの項目を選ぶと、選んだ部分の言葉を辞書で検索できます。 クリエ標準搭載のアプリケーションでは、テキストを入力するときに使用することができますが、一部の他社製のアプリケーションの中には、使用できないものもあります。



クリエで文字を入力する

この章では、クリエで文字を入力する方法について説明します。

クリエで文字を入力するには	40
ATOK を使用する	42
Graffiti 2 で文字を入力する	45
デクマ手書き入力で文字を入力する	55
スクリーンキーボードで文字を入力する	65
ATOK を使いこなす	73

クリエで文字を入力するには

クリエで文字を入力するには、本体のハードウェアキーボードを使う方法と、画面上に表示される入力パネルを使う方法があります。

ここでは、入力パネルを使った方法について説明します。

文字入力の方法

手書きで文字を入力する方法と、画面上に表示されるキーボードを使って文字を入力する方法があります。

手書き入力(45 ～ 64 ページ)

Graffiti 2

Graffiti 2 という手書き入力専用の文字を使って、文字を入力します。



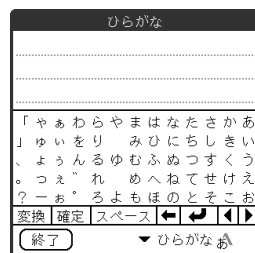
デクマ手書き入力(Decuma Japanese)

漢字やひらがな、カタカナなどを手書き入力するとそのまま認識され、文字として入力することができます。



スクリーンキーボード(入力パネル) (65 ～ 80 ページ)

画面上に表示されたキーボードをタップして、文字を入力します。



日本語変換システム ATOK を使うことができます

本機には Palm OS 標準の日本語入力システムの他に、変換効率の高い日本語変換システムとして定評のある ATOK が付属しています。

ここでは、ATOK を利用した入力方法を基本にして説明をしています。ATOK を利用したいときは、「ATOK を導入する」(42 ページ)の手順に従って設定を行ってください。

ATOK を使用する

ご注意

アプリケーションの一部には、ATOK を使用していると正常に動作しないものがあります。この場合は、Palm OS 標準の日本語入力システムに切り換えてお使いください(44 ページ)。

ATOK ユーザーズページ

Palm 機器で ATOK をお使いのユーザー様向けに、役立つ情報をご提供しています。

<http://support.justsystem.co.jp/>

ATOK を導入する

ATOK を利用するためには、使用者名の登録が必要になります。
以下の手順で登録を行い、ATOK をクリエで使える状態にしましょう。

1

ホーム  アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2

ジョグダイヤルを回して[ATOK 設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

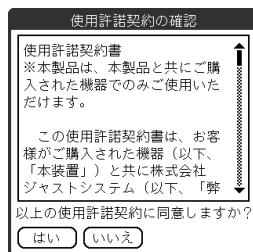
「使用許諾契約の確認」画面が表示されます。

ヒント

[ATOK 設定]アイコンをタップして、ATOK 設定を開始することもできます。

3 使用許諾契約を読んで、同意するときには[はい]をタップする。

「使用者名の登録」画面が表示されます。

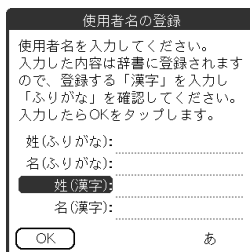


4 姓と名を、漢字とふりがなですべて入力してから、[OK]をタップする。

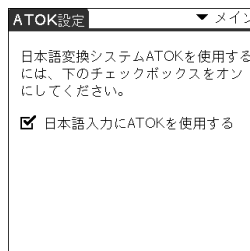
「ATOK 設定」画面が表示されます。

💡 ヒント

姓名の入力の際に、先に漢字を入力すれば、ふりがなは自動的に入力されます。



5 【日本語入力に ATOK を使用する】の□をタップして、☑にする。



これで ATOK が使えるようになりました。



日本語入力を「入」にしたときに、画面の右下に **入** アイコンが表示されます。

💡 ヒント

ホーム画面に戻るときは、ホーム  アイコンをタップしてください。

標準の日本語入力システムに戻す

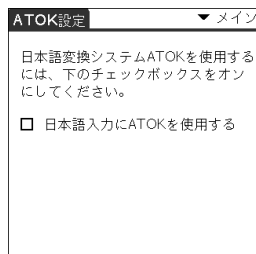
- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

- 2 ジョグダイヤルを回して[ATOK 設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「ATOK 設定」画面が表示されます。

ヒント

[ATOK 設定]アイコンをタップして、「ATOK 設定」画面を表示することもできます。

- 3 [日本語入力に ATOK を使用する]の ☒ をタップして、☐ にする。



Graffiti 2 で文字を入力する

ここでは、手書き入力グラフィティ (Graffiti 2) の基本と、Graffiti 2 を使った文字の入力のしかたについて説明します。クリエに付属している、「予定表」を使って、文字入力を練習してみましょう。

..... Graffiti 2 (グラフィティ ツー) について

Graffiti 2 とは

文字をすばやく正確に入力するための文字や命令の入力方法のことです。Graffiti 2 は通常のアルファベットに似ているので、簡単に習得できます。


 Graffiti 2 文字の例
(A、B、C、K、T)

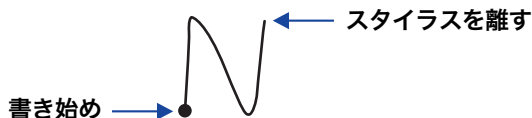
文字をすばやく簡単に入力できます

Graffiti 2 文字という独特の字体とストローク (筆順) の文字で書くため、文字をすばやく簡単に入力できます。

Graffiti 2 文字では、文字を少ない画数で入力できるようになっています。

文字の書き始めの点、筆順が決まっています

下図のように、それぞれの Graffiti 2 文字は書き始めの点(太い点)が決まっています。誤入力を防ぐためにも、Graffiti 2 文字は必ず太い点の位置から書き始めてください。

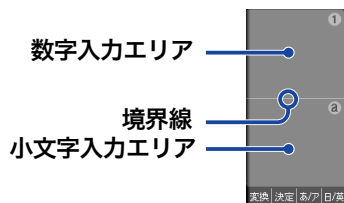


ご注意

Graffiti 2 文字の一覧に表示されている、太い点自体は書かないでください。太い点は、書き始めの位置をわかりやすく示すためのものです。

文字を入力する場所と数字を入力する場所は異なります

Graffiti 2 入力エリアは、アルファベットの小文字を入力するエリアと数字を入力するエリアに分かれています。2 つのエリアは、境界線を示す直線で区別されており、この直線をまたいで文字を入力することにより、アルファベットの大文字を入力できます。



アルファベットの大文字を入力するには？

アルファベットの大文字を入力するには、Graffiti 2 入力エリアの境界線をまたぐようにして、Graffiti 2 文字を書きます。



アルファベットの小文字を入力するには？

アルファベットの小文字を入力するには、小文字入力エリアに Graffiti 2 文字を書きます。



数字を入力するには？

数字を入力するには、数字入力エリアに Graffiti 2 文字を書きます。



記号を入力するには？

記号を入力するには、記号モードに切り換えてから、Graffiti 2 入力エリアに Graffiti 2 文字を書きます。

1 Graffiti 2 入力エリアに「」を書く。

記号モードに切り換わると、アプリケーション画面右下のインジケータの表示が「」に変わります。



2 記号の Graffiti 2 文字を書く。

💡 ヒント

記号モードに切り換えたあと、しばらくすると自動的に元のモードに戻ります。記号モードに切り換えたあととすぐに Graffiti 2 文字を書き始めてください。



3 再度「」を書く。

再度「」を書くことにより、記号が入力され、元のモードに戻ります。

💡 ヒント

いくつかの記号は記号モードに切り換えることなく入力できます。(50 ページ)

Graffiti 2 文字一覧

アルファベット

A	Λ A A A a
B	B B b b
C	C
D	D D d d
E	E E
F	F F f f ¹
G	G G g g
H	h h H
I	i ^{1 2}
J	J J j j ²
K	k ^{1 2}
L	L l
M	m m

N	N n n
O	O O
P	p p
Q	q q q q _k
R	R R r
S	S
T	t ^{1 2}
U	U U
V	V V
W	w
X	x ^{1 2}
Y	y y
Z	Z z

数字

1	1 1
2	2 2
3	3
4	4 ^{1 2} 4 4
5	5 5 ^{1 2}

6	6
7	7
8	8 8
9	9 9
0	0 0

記号(記号モード)

次の記号は、記号モードに切り換えて入力します。

.(ピリオド)	•
,(カンマ)	⌋
'(アポストロフィ)	⌞
?(疑問符)	¹ ? ²
!(感嘆符)	¹ ! ²
&	² ⌘ ¹ & ⌘ ¹
@	² ⌘ ¹ @ ⌘ ²
\$	² ⌘ ¹ \$ ⌘ ²
~(チルダ)	~
/ (スラッシュ)	/
¥	¥
"	⌞⌞
;	¹ ⌘ ² ; ¹ ⌘ ²
:	¹ ⌘ ² :
-	—

((左括弧)	(
) (右括弧)	)
<	<
>	>
[	[
]	]
{	{
}	}
+	² ⌘ ¹ +
-	—
*	⌘⌘ ⌘⌘
=	⌘⌘
#	⌘⌘
%	⌘⌘
^	⌘⌘ ⌘⌘
`	⌘⌘
¥	⌘⌘

記号(小文字入力エリア)

次の記号やキー操作は、小文字入力エリアに直接入力できます。この際、記号モードに切り換える必要はありません。

.(ピリオド)	•
,(カンマ)	┘
'(アポストロフィ)	┘
?(疑問符)	¹ ?
!(感嘆符)	² !
&	& &

@	@
"	” ”
Space キー	—
Enter キー	/
Tab キー	┘

記号(数字入力エリア)

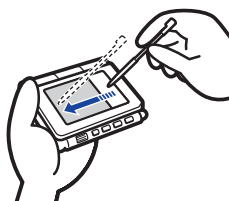
次の記号は、数字入力エリアに直接入力できます。この際、記号モードに切り換える必要はありません。

.(ピリオド)	•
,(カンマ)	┘
~(チルダ)	~
—	—
+	¹ +
*	¹ * ²

¥	¥
/	/
((左括弧)	((
)(右括弧)	)
=	=

Graffiti 2 文字の一覧を確認したいときは

画面の Graffiti 2 入力エリアから画面の左端までスタイラスでドラッグすると、Graffiti 2 文字の一覧が表示されます。



..... Graffiti 2 で文字を入力してみる

「予定表」を起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 [予定表]アイコンをタップする。

「予定表」が起動し、今日の日程が表示されます。

3 「予定表」画面で、予定の時刻の行をタップする。

4 前ページまでの表で、入力したい文字の書きかたを確認する。

文字によっては、数通りの書きかたがあるものもあります。その場合は、書きやすいものを選んで入力してください。

5 Graffiti 2 入力エリアの下側の小文字入力エリアに、前ページまでの表に示されている形を、太い点から書く。

Graffiti 2 入力エリアに書いた Graffiti 2 文字が認識され、画面のカーソル位置に入力した文字が表示されます。

小文字入力エリア



ご注意

文字は、Graffiti 2 入力エリア内に書く必要があります。Graffiti 2 入力エリアの外に書くと、文字として認識されません。

Graffiti 2 文字の入力についてのご注意

- 文字認識の精度をあげるために、入力エリアいっぱいになるように Graffiti 2 文字を書いてください。
- Graffiti 2 文字はふつうに文字を書くのと同じ速さで書いてください。書く速度が遅すぎると、Graffiti 2 文字を誤って認識することがあります。
- Graffiti 2 文字をななめに書かないでください。Graffiti 2 文字の縦の線は、Graffiti 2 入力エリアの左右にある縦の枠線と平行になる必要があります。

基本的な使いかた

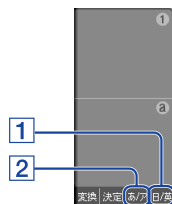
文字の入力方法を選択する

① 日本語入力モード／英字入力モード

日/英 アイコンをタップして切り換えます。
日本語入力モードは、ローマ字入力方式のみです。

② ひらがな入力／カタカナ入力

あ/ア アイコンをタップして切り換えます。



入力モード表示

あ : ひらがな入力

ア : カタカナ入力

a : 英字入力

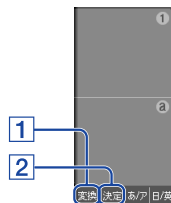
📌 : 記号



文字を入力する

1 文字を変換する

変換 アイコンをタップすると、入力した読み当てはまる漢字の候補が表示されます。



意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう1度 **変換** アイコンをタップします。

画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

💡 ヒント

ジョグダイヤルを回して変換候補を選ぶこともできます。

2 文字を決定する

決定 アイコンをタップします。

また、文字の変換が必要ないときも **決定** アイコンをタップします。

💡 ヒント

ジョグダイヤルを押して決定することもできます。

3 直前の文字を消去する

Back Space キーの Graffiti 2 文字(←→)を書きます。

💡 ヒント

「っ、ッ」などの小文字を入力するには

以下のように Graffiti 2 文字を続けて書きます。

- 「あ、ア」などの小文字を入力するとき: 「x」、「a」または「l」、「a」
- 「っ、ッ」などを入力するとき: 「x」、「t」、「u」または「l」、「t」、「u」
- 「ゆ、ユ」などを入力するとき: 「x」、「y」、「u」または「l」、「y」、「u」
- 「ウィ」と入力するとき: 「w」、「i」

Graffiti 2 で「～」や「〜」を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、**日/英** アイコンをタップして日本語入力モードを「入」にします。数字入力エリアに、の Graffiti 2 文字を書きます。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」（チルダ）を入力するには、**日/英** アイコンをタップして日本語入力モードを「切」にします。数字入力エリアに、の Graffiti 2 文字を書きます。
- クリエで表示される「~」（チルダ）はパソコン上で表示される「~」と見た目が異なりますが、同じものです。ホームページのアドレスなどを入力するときにご注意ください。

ナビゲーション記号やショートカットを利用する

ナビゲーション記号やショートカットを Graffiti 2 で入力して、入力欄を移動したり、頻繁に使う記号をすばやく入力したりできます。

ナビゲーション記号を利用する

- Back Space キー: 
- 記号モード: 
- コマンドツールバー:  コピーや削除などの操作を行います。
(状態によって選べる機能は異なります。)
- 切り取り: 
- コピー: 
- 貼り付け: 
- 元に戻す: 

ショートカットを利用する

Graffiti 2 には 4 種類のショートカットが登録されています。

ショートカットを利用するには、まずショートカット記号  を書いてから、

ショートカットとして登録した文字を入力します。

ショートカット記号を書くと、カーソル位置にショートカット入力モードを示す記号が表示されます。

クリエには、以下の Graffiti 2 ショートカットが登録されています。

- 日付スタンプ: ds
- 時刻スタンプ: ts
- 日付/時刻スタンプ: dts
- 株式会社: kk

例えば、次のショートカット dts を Graffiti 2 文字で書くと、現在の日付けと時刻を入力できます。

 →  →  → S

ご注意

Graffiti 2 ショートカットは、英字入力モードでのみ使用できます。

💡 ヒント

ショートカットは自分で追加することもできます。詳しくは 96 ページをご覧ください。

デクマ手書き入力で文字を入力する

ここでは、デクマ手書き入力 (Decuma Japanese) の基本と、デクマ手書き入力を使った文字の入力のしかたについて説明します。クリエに付属している、「予定表」を使って、文字入力を練習してみましょう。

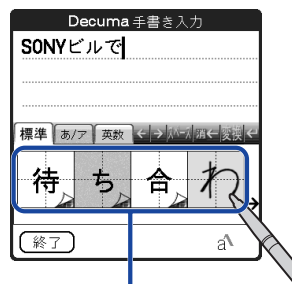
デクマ手書き入力について

デクマ手書き入力とは

漢字やひらがな、カタカナなどの手書き文字を認識して、文字を入力する方法です。

スタイラスを使って、入力ボックスに文字を書きます。書かれた文字の形状が自動的に認識されて、文字として入力することができます。

また、入力欄上にあるひらがなやカタカナを選んで漢字に変換することもできます。



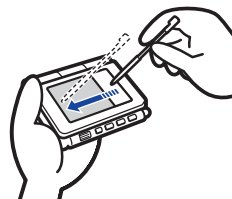
入力ボックス

ご注意

デクマ手書き入力を使って文字を入力するには、ホーム画面で Decuma アイコンをタップして表示される「Decuma 設定」画面で、「日本語入力に Decuma Japanese を使用する」が ☒ になっている必要があります。(お買い上げ時は ☒ になっています。)

💡 ヒント

画面の Graffiti 2 入力エリアから画面の左端までスタイラスでドラッグすると、デクマ手書き入力のヘルプ画面が表示されます。



標準モードで文字を入力してみる

標準モードでは、ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベット、記号が文字として認識されます。

標準モード



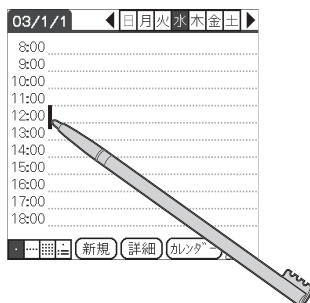
クリエで文字を入力するには、文字を入力したいアプリケーションを起動する必要があります。ここでは「予定表」を例にして説明します。

1 ホーム画面で[予定表] アイコンをタップする。

「予定表」が起動し、今日の日程が表示されます。



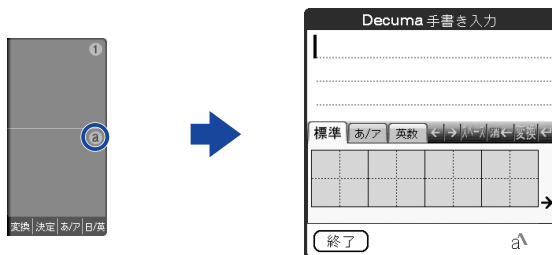
2 文字を入力したい行をタップする。



3

Graffiti 2 入力エリアの **a** をタップする。

「Decuma 手書き入力」画面の標準モード入力画面が表示されます。



💡 ヒント

Graffiti 2 入力エリアの **1** をタップすると、「Decuma 手書き入力」画面の英数モード入力画面が表示されます。

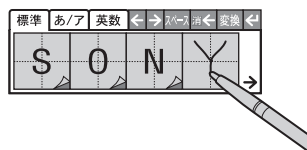
- ➡ **入力モードについて詳しくは、その他の入力モード (63 ページ) をご覧ください。**

4

入力ボックスに、1 文字ずつ文字を書く。

💡 ヒント

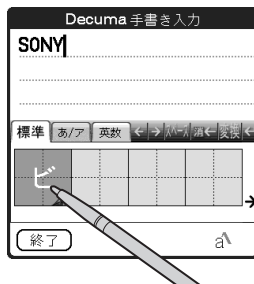
楷書でていねいに書くと、認識される確率が高くなります。



5

4 つの入力ボックスに書いたあと、左端の入力ボックスに重ねて書く。

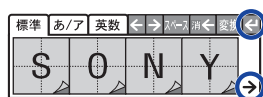
今まで入力した文字が、入力欄に入力されます。



クリエで文字を入力する

💡 ヒント

←アイコンまたは画面右下の→をタップして、それまでに書いた文字を入力することもできます。



ご注意

英字が正しく認識されない場合は、以下の方法で日本語入力モードを「切」にしてください。

- － 画面右下の「あ」アイコンをタップして[J. 日本語 / 英語]を選ぶ (ATOK を使用している場合)
- － Graffiti 2 入力エリアの「日/英」アイコンをタップする
- － ハードウェアキーボードの⊙ (青) キーを押しながら(日/英) キーを押す



日本語入力モードを「切」
(あ(a))にする

6

文字の入力が終わったら、[終了]をタップする。

入力欄の文字がアプリケーションに入力されます。



文字が正しく認識されないときには

書いた文字が間違って認識されたときには、候補リストから正しい文字を選ぶことができます。

1 間違って認識された入力ボックスの右下にある、ページめくりアイコンをタップする。

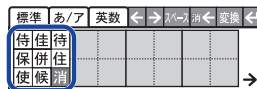


アイコンをタップする。

入力ボックス内に、候補リストが表示されます。



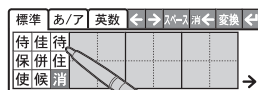
ページめくりアイコン



候補リスト

2 正しい文字を選んでタップする。

選んだ文字が入力ボックスに表示されます。



💡 ヒント

- 候補リストの中に正しい文字がない場合は、候補リスト右下の[消]をタップして、認識された文字を削除してから、もう1度文字を書いてください。
- 書いた文字がうまく認識されない場合は、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「デクマ手書き入力」をご覧ください。

文字と背景の色について

文字の種類によって、文字とその背景の色は下記のように異なります。
ひらがなの「へ」とカタカナの「ヘ」のように、形の似ている文字を見分けるのに便利です。



ひらがな: 薄い紫の背景色に黒の文字



カタカナ: 紫の背景色に白の文字



漢字: 薄い黄色の背景色に黒の文字



数字: 青の背景色に白の文字



アルファベット: 薄い青の背景色に黒の文字

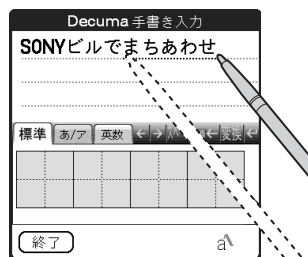


記号: 濃いページの背景色に黒の文字

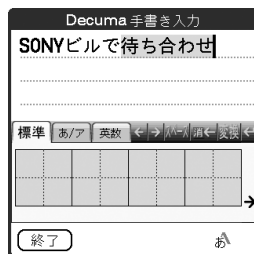
文字を変換する

入力欄上にある文字を選択して、かな／漢字や半角／全角などの変換を行うことができます。

1 スタイルスで、変換したい文字をドラッグする。



2 変換 アイコンをタップする。 変換した文字の読みに当てはまる漢字の候補が表示されます。



💡 ヒント

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう1度 **変換** アイコンをタップします。

画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

ジョグダイヤルでも変換候補を選べます

ジョグダイヤルを回して、変換候補を選ぶこともできます。

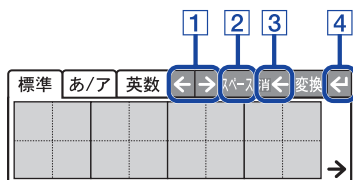
3

← (決定)アイコンをタップする。

変換が確定します。



その他の入力操作



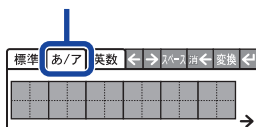
- 1 ←、→ アイコン:カーソルを移動できます
- 2 スペース アイコン:スペースを挿入できます
- 3 消← (消去)アイコン:直前の文字を削除できます
- 4 ↵ (改行)アイコン:カーソルの後ろで改行できます
(文字の変換が未確定の状態にある場合は、このアイコンをタップすると変換が確定されます。)

その他の入力モード

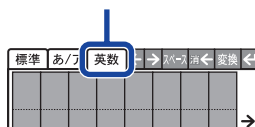
標準モードの他に、かなモードと英数モードがあります。

標準モードに比べて認識される文字の種類が限られているので、文字の誤認識が少なくなります。

かなモード



英数モード



認識される文字の種類

標準モード: ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベット、記号

かなモード: ひらがな、カタカナ、記号

英数モード: アルファベット、数字、記号

💡 ヒント

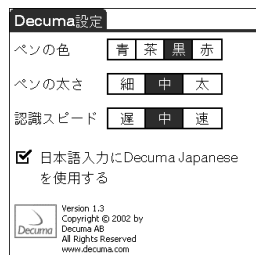
認識の対象となる文字と認識のルールについて詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「デクマ手書き入力」をご覧ください。

..... 手書き入力の設定を変更する

入力ボックスに書いているときの文字(ペン)の色や太さ、認識スピードを変更することができます。

1 ホーム画面で、Decuma アイコンをタップする。

「Decuma 設定」画面が表示されます。



2 設定を変更したい項目をタップする。

スクリーンキーボードで文字を入力する

ここでは、スクリーンキーボードを使った文字の入力のしかたについて説明します。

ATOK を利用した入力方法を基本にして説明をしていますので、Palm OS 標準の日本語入力システムをお使いの場合は、「標準の日本語入力システムに戻す」(44 ページ)をご覧ください。

文字入力の準備をする

スクリーンキーボードを表示させるには、文字を入力したいアプリケーションを起動させる必要があります。

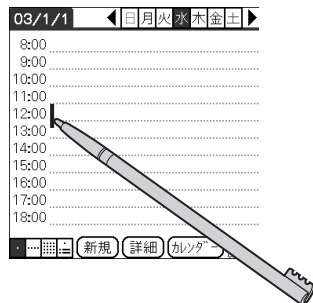
ここでは「予定表」を例にして説明します。

1 ホーム画面で[予定表]アイコンをタップする。

「予定表」が起動し、今日の日程が表示されます。



2 予定の時刻の行をタップする。



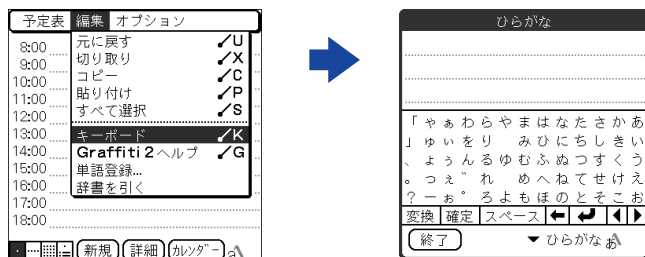
3 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

4 [編集]メニューの[キーボード]をタップする。

[ひらがな]キーボードが表示されます。

キーボードを閉じるときは[終了]をタップします。



ヒント

Graffiti 2 入力エリアの上にあるキーボード  アイコンをタップして、キーボードを表示させることもできます。

基本的な使いかた

文字の入力方法を選択する

① かな入力方式 * /ローマ字入力方式 **

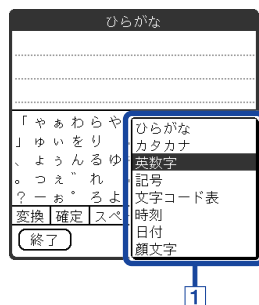
日本語を入力する方式として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。

* **かな入力方式**: キーボードの各キーに表示されているひらがな／カタカナで入力します。

** **ローマ字入力方式**: アルファベットを組み合わせて日本語を入力します。

画面中央下の▼をタップして、表示されたリストからキーボードを選択することができます。

記号や特殊な文字などのキーボードについては、「記号や特殊な文字を入力する」(77 ページ)をご覧ください。



② 日本語入力モードの入／切

英字を入力するには[英数字]キーボードを表示させた上で、日本語入力モードを「切」にしている必要があります。

以下の方法で切り換えます。

- **日/英** アイコンをタップする
- 画面右下の「あ」(または「a」)アイコンをタップして[J. 日本語 / 英語]を選ぶ(ATOK を使用している場合)
- ハードウェアキーボードの⦿(青)キーを押しながら⦿(日/英)キーを押す



クリエで文字を入力する

③ ひらがな入力／カタカナ入力

画面中央下の▼をタップして、キーボードを[ひらがな]または[カタカナ]に切り換えます。

💡 ヒント

以下の方法で切り換えることもできます。

- あ/ア アイコンをタップする
- 画面右下の「あ」（または「ア」）アイコンをタップして[かな / カナ]を選ぶ（ATOK を使用している場合）
- ハードウェアキーボードのⓈ（青）キーを押しながらⓈ（あ/ア）キーを押す
また、入力したあとで変換操作によって変換することもできます。

④ 英字の大文字を入力する

はじめに ①、② の方法で、[英数字]キーボードを表示させ、日本語入力モードを「切」にします。

⇧ (Caps) をタップすると、キーボードが大文字表示に切り換わります。

小文字入力に戻りたいときは、もう 1 度

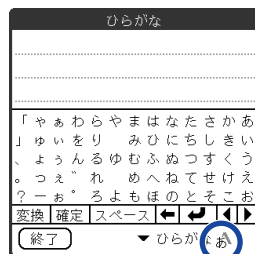
⇧ (Caps) をタップします。



入力モード表示

あ、ア：日本語入力モード「入」

ぁ、ァ：日本語入力モード「切」



文字を入力する

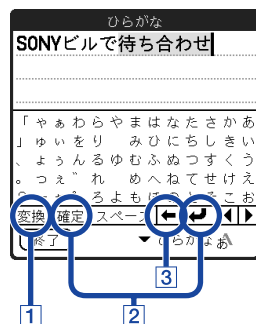
1 文字を変換する

[変換]をタップします。

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう1度[変換]をタップします。

画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。



💡 ヒント

ジョグダイヤルを回して変換候補を選ぶこともできます。

漢字に変換できないときは

日本語入力モードが「切」になっています。「入」に切り換えてください。

2 文字を決定する

[確定]または^{エンター} (Enter)をタップします。

また、文字の変換が必要ないときも[確定]または^{エンター} (Enter)をタップします。

💡 ヒント

ジョグダイヤルを押して決定することもできます。

3 直前の文字を消去する

⬅ (Back Space)をタップします。

4 文字の入力を終了する

[終了]をタップすると、画面からキーボードが消えます。

💡 ヒント

[ひらがな]、[カタカナ]、[英数字]キーボード上にはない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどは、「覚えておくとな便利な機能」(76 ページ)をご覧ください。

Palm OS 標準の日本語入力システムを使って入力する

ここでは、Palm OS 標準の日本語入力システムを使った文字の入力のしかたについて説明します。

💡 ヒント

Palm OS 標準の日本語入力システムに変更するには、「標準の日本語入力システムに戻す」(44 ページ)をご覧ください。

文字の入力方法を選択する

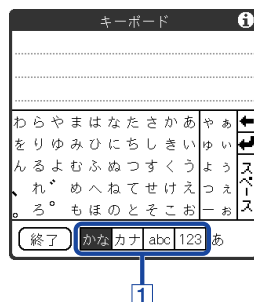
[1] かな入力方式 * /ローマ字入力方式 **

日本語を入力する方式として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。

* **かな入力方式**: キーボードの各キーに表示されているひらがな／カタカナで入力します。

** **ローマ字入力方式**: アルファベットを組み合わせて日本語を入力します。

画面中央下をタップして、キーボードを切り換えることができます。



[2] 日本語入力モードの入/切

英字を入力するには[abc]キーボードを表示させた上で、日本語入力モードを「切」にしている必要があります。

以下の方法で切り換えます。

- **日/英** アイコンをタップする
- ハードウェアキーボードの⦿(青)キーを押しながら 日/英 キーを押す



[3] ひらがな入力／カタカナ入力

画面中央下をタップして、キーボードを[かな]または[カナ]に切り換えます。

💡 ヒント

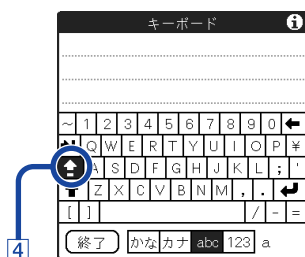
以下の方法で切り換えることもできます。

- **あ/ア** アイコンをタップする
- ハードウェアキーボードの⦿(青)キーを押しながら あ/ア キーを押す
また、入力したあとで変換操作によって変換することもできます。

4 英字の大文字を入力する

はじめに ①、② の方法で、[abc]キーボードを表示させ、日本語入力モードを「切」にします。

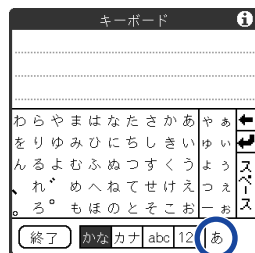
⬆ (Caps) をタップすると、[abc]キーボードが大文字表示に切り換わります。小文字入力に戻りたいときは、もう 1 度 ⬆ (Caps) をタップします。



入力モード表示

あ、ア:日本語入力モード「入」

a:日本語入力モード「切」



文字を入力する

1 文字を変換する

以下の方法で変換することができます。

- 変換 アイコンをタップする
- ハードウェアキーボードの (Space 変換) キーを押す

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう 1 度上記の変換操作を行います。

画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップします。

💡 ヒント

ジョグダイヤルを回して変換候補を選ぶこともできます。

漢字に変換できないときは

日本語入力モードが「切」になっています。「入」に切り換えてください。

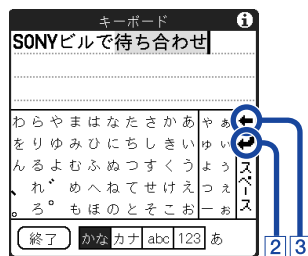
クリエで文字を入力する

2 文字を決定する

 (Enter) をタップします。
また、文字の変換が必要ないときも
 (Enter) をタップします。

ヒント

ジョグダイヤルを押して決定することも
できます。



3 直前の文字を消去する

 (Back Space) をタップします。

4 文字の入力を終了する

[終了] をタップすると、画面からキーボードが消えます。

ヒント

キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどは、「覚えておくと便利な機能」(76 ページ) をご覧ください。

ATOK を使いこなす

推測変換を使って効率よく入力する

ATOK で変換／確定した文字列は、クリエ本体のメモリに保存されます。過去に入力した文字列の先頭の文字を入力すると、その文字列が変換候補として表示されます。入力や変換の手間を省くことができ、便利です。

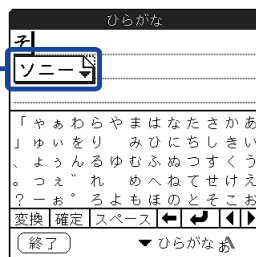
ここでは、過去に「ソニー」と変換／確定したことがあると想定して説明します。

1

先頭の文字を入力する。

推測変換候補が表示されます。

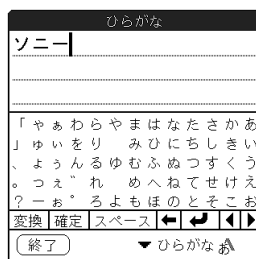
推測変換候補
前回確定した変換候補が
表示されます



2

推測変換候補をタップする。

推測変換候補として表示された文字列が確定します。



💡 ヒント

他の推測変換候補を表示させたいときは

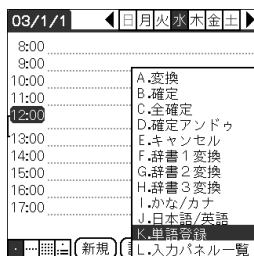
推測変換候補の右側の▼をタップすると、他の変換候補一覧が表示されます。入力したい文字列をタップすると確定します。入力したい文字列が一覧にないときは、一覧以外の場所をタップし、そのまま入力を続けます。

よく使う単語を登録する

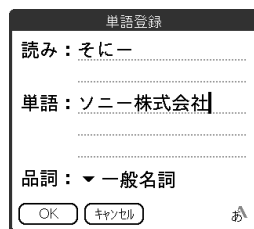
辞書にない単語やよく使うことばを登録しておけば、効率よく入力／変換できます。

ここでは、「ソニー株式会社」を「そにー」という読みで登録する例を説明します。

- 1 アイコンをタップして、表示されたメニューから[K. 単語登録]を選ぶ。

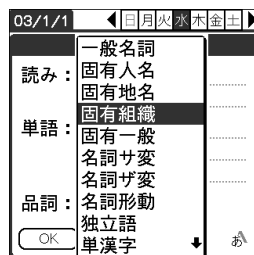


- 2 読みと単語を登録する。
読みは全角 16 字または半角 32 字以内、単語は全角 25 字または半角 50 字以内で入力します。
ここでは、読みに「そにー」、単語に「ソニー株式会社」と入力します。



- 3 品詞の▼をタップして、品詞の種類をタップして選ぶ。

ここでは、[固有組織]を選びます。



4

[OK]をタップする。

「そに一」と入力して[変換]をタップしたときに、「ソニー株式会社」が変換候補に表示されるようになります。

ご注意

単語の読みに使用できない文字

全角のひらがな、全角・半角のカタカナ、アルファベット(子音のみ)、数字、記号(° ° +-*/_# \$ % & = @ : ; < >)以外の文字は使用できません。小文字の「わ」「カ」「ケ」、旧字体の「ゐ」「ゑ」「中」「エ」は使用できません。また、読みの先頭に「をんヲナー(長音)あいうえおやゆよっアイウエオヤ ュヨツゝゝ」は使用できません。

登録した単語を削除する

1

ホーム画面で、ジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「環境設定」画面が表示されます。

2

画面右上の▼をタップして、[ユーザー辞書]を選ぶ。

3

削除したい単語をタップして選んでから、[削除]をタップする。

削除の確認画面が表示されます。

4

[はい]をタップする。

選んだ単語がユーザー辞書から削除されます。

覚えておく便利な機能

文節の区切りを変更する

長い文章を入力してから変換したときに、変換の単位となる文節が正しく区切られずに、正しく変換できないことがあります。

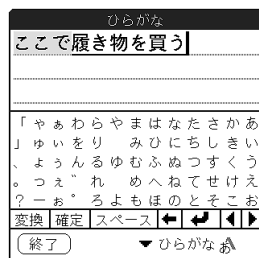
このような場合には、文節の区切りを変更することで、正しく変換できるようになります。

「ここで履き物を買う」→「ここでは着物を買う」という文を例にして、文節の区切りの変更のしかたについて説明します。

1 「ここではきものをかう」と入力する。

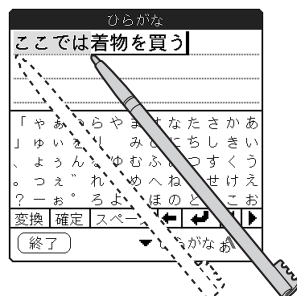
2 [変換]をタップする。

文節が自動的に「ここで」と「はきもの
をかう」に区切られて、変換されます。



3 スタイルスで「ここでは」の上を左から右へなぞって離す。

文節の区切りが「ここで」から「ここでは」に変更されて、新しい区切りに合わせて、文字が変換されて表示されます。



4

[確定]を3回タップする。

💡 ヒント

ジョグダイヤルを押して操作することもできます。

変換した文字列を1度で確定するには

複数の文節の変換結果が正しいときは、入力パネルの  アイコンをタップして、表示されたメニューから[C. 全確定]をタップします。文字列以外の場所をタップしても、全確定されます。

記号や特殊な文字を入力する

記号や顔文字を入力したり、読みのわからない文字を一覧から探して入力したりするときに便利な入力パネルもあります。

ご注意

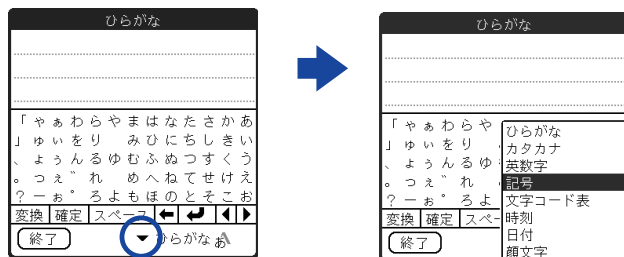
日本語入力モードが「切」になっているときや、入力モードが英数字のときは入力直後に確定されます。日本語入力モードが「入」のときは、入力直後に確定するものと未確定のものがあります。

1

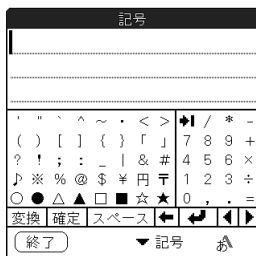
キーボードの下の方をタップして、表示されたメニューから利用したいパネルを選ぶ。

選んだ入力パネルが表示されます。

それぞれのパネルの内容については、次ページをご覧ください。



【記号】入力パネル



【日付】入力パネル



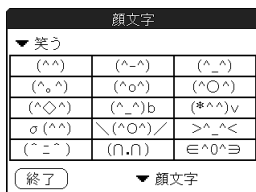
【時刻】入力パネル



【文字コード表】入力パネル



【顔文字】入力パネル



💡 ヒント

「～」や「〜」を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、[ひらがな]入力パネルで「から」と入力してから、「～」が選ばれるまで[変換]をタップします。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」（チルダ）を入力するには、[英数字]入力パネルを表示させてから、 (Shift) をタップして、[~] をタップします。
- クリエで表示される「~」（チルダ）はパソコン上で表示される「～」と見た目が異なりますが、同じものです。ホームページのアドレスなどを入力するときにご注意ください。

..... ATOK の設定を変更する

ATOK を使うときの操作環境を設定できます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[ATOK 設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「ATOK 設定」画面が表示されます。

ヒント

[ATOK 設定]アイコンをタップして、「ATOK 設定」画面を表示することもできます。

2 画面右上にある▼をタップして、設定を変更したい項目を選ぶ。

それぞれの設定項目で設定できる内容については、以下の説明をご覧ください。

入力・変換画面

候補ウィンドウ

変換操作を何回行くと、候補の一覧が表示されるのかを設定します。

後変換候補の追加

変換候補として表示される文字の種類を選びます。変換の候補として表示させたい文字の種類をタップして、☒ にします。

スペースキー空白入力

日本語入力モードが「入」の状態のときに、入力パネルのスペースキーで入力する空白を、全角スペースまたは半角スペースから選びます。

入力支援画面

推測変換／確定履歴	[推測変換を有効にする]の ☐ をタップして ☒ にすると、推測変換候補が表示されるようになります。
表示頻度	推測変換候補の表示頻度を選びます。[低]にすると、推測変換候補が表示されにくくなります。
確定履歴	確定履歴を消去して初期状態に戻します。消去するには、[確定履歴のクリア]をタップします。

辞書・学習画面

辞書設定	変換に使用する辞書を複数設定できます。 [システム辞書]には通常の変換(入力パネルの[変換]をタップする)に使用する辞書を設定します。 初期状態では標準辞書だけが選択できますが、別途入手してインストールした辞書を辞書 2、3 として割り当てることもできます。
一時学習	変換結果を学習するかしないかを設定します。 [する]に設定すると、変換結果が登録されて、変換時の優先順位が上がります。

入力パネル画面

スクリーンキーボードの標準の入力パネルと、キーボード画面の右下の ▼ をタップしたときに選択できるようにする入力パネルの種類を選びます。

使用する入力パネルを選ぶ	使いたい入力パネルの ☐ をタップして、 ☒ にします。
標準の入力パネルを選ぶ	使用する入力パネルを選んで[標準に設定]をタップすると、選んだ入力パネルの左側に ● が移動します。 スクリーンキーボードを表示させたときに、ここで選んだ入力パネルが表示されるようになります。



パソコンとクリエを 同期させる

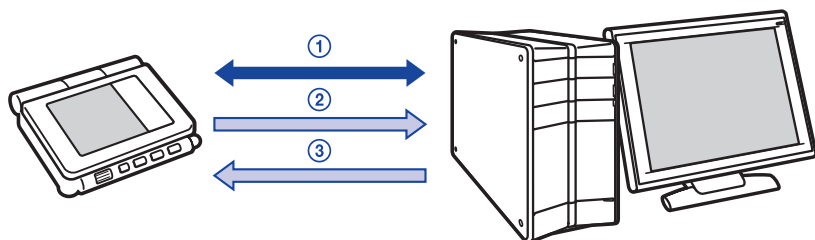
この章では、クリエとパソコンのファイル／データを同期 (HotSync) する方法について説明します。

HotSync (ホットシンク) とは?	82
HotSync する	84
パソコンで情報を管理する (CLIE Palm Desktop)	86

HotSync(ホットシンク)とは？

クリエとパソコンのファイル／データをやりとりし、双方のファイル／データを最新の状態にしたり、ファイル／データのバックアップをとる、アプリケーションのインストールをするといった操作を HotSync と呼びます。クリエなどの Palm OS 搭載機器の特長的な機能で、簡単な操作で、これらを行えます。

この冊子では「パソコンとクリエを同期する」などと表現しています。



① クリエとパソコンのファイル／データを同期する

クリエの「予定表」および「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションのデータと、パソコン側のファイル／データを同期して最新の状態に保てます。複数のクリエのファイル／データを同時に独立して管理することもできます。

② バックアップデータをパソコンに保存する

HotSync することで、パソコン側にクリエのファイル／データのバックアップコピーを自動的に作成できます。

こまめに HotSync しておくことで、クリエのファイル／データを誤って削除してしまったり、クリエをリセットしなければならなくなったときでも、パソコンに保存されたバックアップファイルからクリエの最新ファイル／データを復元できます。

➡ バックアップについて詳しくは、194 ページをご覧ください。

③ Windows のソフトウェアで作成したファイル／データをクリエで使う

Windows のソフトウェアで作成したファイル／データを変換してクリエに転送できます(インポート)。また、クリエのファイル／データを Windows ソフトウェアのファイル／データとして取り込むこともできます(エクスポート)。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアにインポート/エクスポートできるファイル形式

- カンマ/タブ区切りテキスト (*.csv、*.tab、*.tsv、*.txt)
- テキスト (*.txt)
- vCalendar (予定表) ファイル (*.vcs)
- vCard (アドレス) ファイル (*.vcf)
- Palm Desktop ソフトウェアの予定表アーカイブ (*.dba)
- Palm Desktop ソフトウェアのアドレスアーカイブ (*.aba)
- Palm Desktop ソフトウェアの To Do リストアーカイブ (*.tda)
- Palm Desktop ソフトウェアのメモ帳アーカイブ (*.mpa)

* カッコ内は拡張子です。なお、関連ファイルをひとまとまりにした単位を「アーカイブ」と呼びます。

➡ **ファイル/データのインポートやエクスポートについて詳しくは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアのヘルプをご覧ください。**

HotSync する

HotSync するためには、パソコンに CLIE Palm Desktop ソフトウェアがインストールされている必要があります。

- ➡ **詳しくは**、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「パソコンと一緒に使えるようにする」をご覧ください。

USB ケーブルで HotSync する (ローカル HotSync)

付属の USB ケーブルを使って HotSync することを、ローカル HotSync といいます。

1 クリエを付属の USB ケーブルでパソコンにつなぐ。

2 クリエのホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「HotSync」画面が表示されます。

💡 ヒント

ホーム画面の[HotSync]アイコンをタップして、[HotSync]画面を表示することもできます。

3  **アイコンをタップする。**

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、完了を示すメッセージが表示されます。

ご注意

HotSync が完了するまで、USB ケーブルを取りはずしたり、“メモリースティック”の抜き差しを行わないでください。CLIE Palm Desktop ソフトウェアが正常に終了できない場合があります。

アイコンをタップしても HotSync が始まらないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) に、 アイコンが表示されているかどうか確認します。

表示されていないときは、デスクトップ画面左下の [スタート] メニューから [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) - [Sony CLIE] - [HotSync マネージャ] の順にクリックします。デスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) に  アイコンが表示されたことを確認してから、もう 1 度  アイコンをタップしてください。

パソコン上に「HotSync 機能実行中」と表示されます。

* この冊子では、Windows XP Home Edition と Windows XP Professional 共通の場合は Windows XP と記載します。

**Windows XP では、従来のタスクトレイを「通知領域」と言います。以後、この冊子ではタスクトレイ (通知領域) と記載します。

ヒント

HotSync ができない場合は

別冊「困ったときは Q&A」をご覧ください。

パソコンで情報を管理する (CLIE Palm Desktop)

付属の CLIE Palm Desktop ソフトウェアを使って、HotSync でクリエから転送した情報をパソコンで閲覧できます。

また、CLIE Palm Desktop ソフトウェアはクリエの「アドレス」、「予定表」、「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションと同様の機能を持っているため、パソコンで予定やアドレス情報を入力し、HotSync でクリエに転送することもできます。

..... CLIE Palm Desktop ソフトウェアを起動する

1 パソコンのデスクトップ画面にある、[CLIE Palm Desktop] アイコンをダブルクリックする。

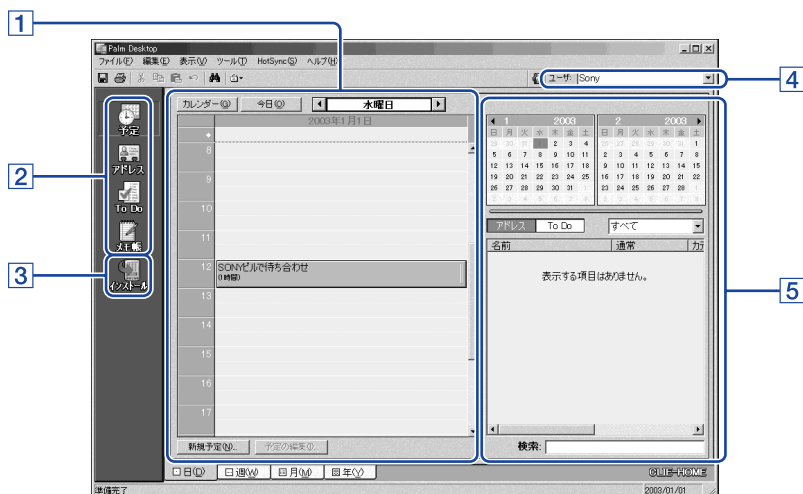
または、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム] (Windows XP の場合は[すべてのプログラム]) – [Sony CLIE] – [CLIE Palm Desktop]の順にクリックします。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動します。

💡 ヒント

CLIE Palm Desktop ソフトウェアを終了するときは

画面右上の  (閉じるボタン) をクリックする、または[ファイル]メニューから[終了]を選びます。

画面の見かた



1 情報表示部

クリエでアプリケーションを起動したときに表示される、アプリケーションごとの一覧画面が表示されます。

2 アプリケーション切り換えアイコン

クリックすると、対応するアプリケーションの画面が表示されます。

3 インストールアイコン

クリックすると「インストール ツール」画面が表示されます。HotSync でアプリケーションをインストールするときに使います。

➡ 詳しくは、「インストールする」(209 ページ)をご覧ください。

4 ユーザー名表示部

現在表示している情報のユーザー名が表示されます。

5 詳細情報表示部

クリエで情報を表示してから[詳細]をタップしたときに表示される、情報の詳細などが表示されます。

基本的な使いかた

利用したいアプリケーションのアイコンをクリックすると、アプリケーションごとの画面に変わります。

各画面での操作方法是クリエのアプリケーションと同様です。

詳しい操作方法については、[ヘルプ]メニューから[Palm Desktop ヘルプ]を選んで表示される、オンラインヘルプをご覧ください。

💡 ヒント

クリエのユーザー名を変えるには

- ❶ CLIE Palm Desktop ソフトウェアの[ツール]メニューから[ユーザ]を選ぶ。
「ユーザ」画面が表示されます。
- ❷ 変えたいユーザー名を選んでから、[名前の変更]をクリックする。
- ❸ 新しいユーザー名を入力してから、[OK]をクリックする。
次に HotSync したときに、クリエのユーザー名も変わります。

Windows XP をお使いの場合は

付属の CLIE Palm Desktop ソフトウェアをパソコンで起動し、メニューバーの[HotSync]メニューから「動作設定」、「ファイルリンク」、「ログの表示」、「起動/接続設定」を選んだとき、それぞれのウィンドウが CLIE Palm Desktop ソフトウェアのホーム画面の後方に隠れて表示されます。

このときは、次のような方法でそれぞれの操作画面を前面に移動させてください。

- パソコンの Alt キーを押しながら Tab キーを押す。
- デスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) の  アイコンをクリックする。

クリエの設定を変更する(環境設定)

この章では、クリエに用意されている各種の環境設定の方法について説明します。お好みに合わせてクリエをカスタマイズするために必要な情報が記載されています。

環境設定でできること	90
Bluetooth 機能を設定する	92
Graffiti 2 を設定する	95
ショートカットを作成する	96
入力位置を調整する(デジタイザ調整)	97
ワイヤレス LAN のネットワーク接続設定を編集する	98
プロバイダやダイヤルアップサーバーのネットワーク接続設定を編集する	102
アプリケーションボタンの割り当てを変更する	112
スタイラス操作により起動する機能を変更する	113
ユーザー辞書を登録する	115
自動電源オフまでの時間を設定する	116
各種の操作音の設定を変更する	117
LED の設定を変更する	118
赤外線通信の受信を入/切する	119
テーマカラーを設定する	120
シルクスクリーン領域の位置を変更する	121
キーボード照明の設定を変更する	122
数字キーを使ってアプリケーションを起動できるようにする	123
日時/数値などの表示書式を設定する	124
通信機器の設定を追加/変更する	125
日付/時刻を合わせる	126

環境設定でできること

「環境設定」画面では、以下のような操作設定や初期設定を変更できます。
追加のアプリケーションなどをインストールすると、設定画面が追加されることがあります。

設定項目	設定内容
Bluetooth	Bluetooth の設定を変更。 詳しい内容は、92 ページをご覧ください。
Graffiti 2	使用する筆順の追加。 詳しい内容は、95 ページをご覧ください。
ショートカット	Graffiti 2 文字ですぐに入力できる文字列(日付や時刻など)を登録。 詳しい内容は、96 ページをご覧ください。
デジタイザ	画面の表示とスタイラスをタップする位置のずれを調整。 詳しい内容は、97 ページをご覧ください。
ネットワーク	ワイヤレス LAN やプロバイダ、ダイヤルアップサーバーなど、インターネットの接続設定を編集。 詳しい内容は、98 ～ 111 ページをご覧ください。
ボタン	アプリケーションボタンに割り当てられているアプリケーション、およびスタイラス操作により起動する機能を変更。 詳しい内容は、112 ～ 114 ページをご覧ください。
ユーザー辞書	クリエでユーザー辞書として使用する辞書を登録。 詳しい内容は、115 ページをご覧ください。
一般	各種のシステム音や LED 機能、クリエの電源が自動的に「オフ」になるまでの時間などを設定。 詳しい内容は、116 ～ 120 ページをご覧ください。
拡張設定	シルクスクリーン領域の位置やキーボード照明、数字キーの設定を変更。 詳しい内容は、121 ～ 123 ページをご覧ください。
所有者	クリエの所有者の名前や連絡先などを設定。 詳しい内容は、198 ページをご覧ください。
書式	時刻や日付などの書式を設定。 詳しい内容は、124 ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
省電力	省電力モードで電源を切る。 詳しい内容は、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「省電力モードで電源を切る」をご覧ください。
接続	モデムなどの設定を変更。 詳しい内容は、125 ページをご覧ください。
日付と時刻	日付と時刻の設定を変更。 詳しい内容は、126 ページをご覧ください。

環境設定の各画面を表示する

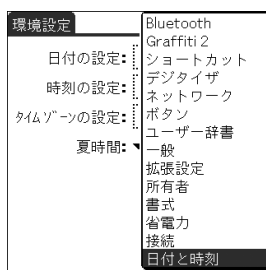
- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「環境設定」画面が表示されます。

☀ ヒント

[環境設定]アイコンをタップして、「環境設定」画面を表示することもできます。

- 2 右上の▼をタップして、変更したい環境設定項目を選ぶ。



Bluetooth 機能を設定する

ご注意

Bluetooth の設定画面を開いている間は、Bluetooth 機能は使用できません。

Bluetooth 機能の入／切を切り換える

Bluetooth 機能の入／切を切り換えられます。

Bluetooth 機能を「切」にすると、Bluetooth 機能を使ったデータの送信などができなくなりますが、クリエのバッテリーの消耗を節約できます。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[Bluetooth]を選ぶ。

Bluetooth の設定画面が表示されます。

2 [Bluetooth]の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

- **オン**: Bluetooth 機能を「入」にします。
Bluetooth LED が点滅もしくは点灯します。
- **オフ**: Bluetooth 機能を「切」にします。

お買い上げ時の設定は

[オフ]に設定されています。

Bluetooth の情報を確認／変更する

Bluetooth 機能が「入」の場合、Bluetooth の設定画面に次の項目が表示されます。

デバイス名	本機の名前を設定します。お互いを確認するために必要です。 四角い枠の中をタップすると、名前の変更画面が表示されます。
本体の検出を有効にする	[はい]に設定すると、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めたとき、本機が対応可能機器として応答します。(待ち受け時は、Bluetooth LED が点滅します) [いいえ]に設定すると、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めても応答しません。 (初期設定＝はい)
本体のウェイクアップを有効にする	[はい]に設定すると、本機の電源が切れていても、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めると、本機の電源が自動で入り、対応可能機器として応答します。 [いいえ]に設定すると、本機の電源が切れているときは、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めても応答しません。 (初期設定＝いいえ)
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレス (Bluetooth 機能対応機器に固有に割りふられる番号)が表示されます。 変更することはできません。

また、メニュー  アイコンをタップして表示される[オプション]メニューで以下の項目を切り換えることができます。

デバイス名キャッシュの有効化	本機に登録済みの Bluetooth 機能対応機器のデバイス名をキャッシュから表示します。そのため接続対象の Bluetooth 機能対応機器のデバイス名が変更されている場合は、探索時に最新のデバイス名が表示されないことがあります(接続後に更新されます)。
-----------------------	---

デバイス名キャッシュの無効化 接続対象の Bluetooth 機能対応機器がすでに本機に登録済みであっても、探索を行うたびに最新のデバイス名などの情報を新たに取得し直します。接続対象の Bluetooth 機能対応機器のデバイス名が変更された場合に設定してください。[デバイス名キャッシュの有効化]に設定した場合よりも、探索の時間が長くなります。
(初期設定＝デバイス名キャッシュの有効化)

通信相手の情報を表示する／削除する

クリエに登録されている Bluetooth 対応機器の情報を確認したり、不要な機器の情報を削除することができます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[Bluetooth]を選ぶ。
Bluetooth の設定画面が表示されます。
- 2 [登録済みデバイス]をタップする。
クリエに登録されている Bluetooth 対応機器が表示されます。
- 3 情報を表示したい Bluetooth 対応機器を選択し、[詳細 ...]をタップする。
「デバイスの詳細」画面が表示されます。
[終了]をタップすると「登録済みデバイス」画面に戻ります。
- 4 機器の情報を削除したい場合は[デバイスの削除]をタップする。
削除の確認画面が表示されるので[OK]をタップします。
- 5 [終了]をタップして、Bluetooth の設定画面に戻る。

通信相手の情報を追加するには

「登録済みデバイス」画面で[デバイスの追加]をタップします。
画面の表示に従って操作してください。

Graffiti 2 を設定する

Graffiti 2 入力で使用する文字のうち、「T」、「P」、「Y」、「\$」について筆順の種類を追加することができます。

「T」の筆順を追加したいときは

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[Graffiti 2]を選ぶ。
- 2 [t]をタップする。
「Graffiti 2 カスタマイズツール」画面が表示されます。
- 3 追加する筆順を確認して、追加する場合は、[この形の「t」を使います。]の ☐ をタップして ☒ にする。
- 4 [終了]をタップする。

💡 ヒント

「P」、「Y」、「\$」についても、同様の手順で追加できます。

ショートカットを作成する

Graffiti 2 入力で使用するショートカットを、好みに合わせて追加できます。

- ➡ Graffiti 2 ショートカットについて詳しくは、「ナビゲーション記号やショートカットを利用する」(54 ページ)をご覧ください。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ショートカット]を選ぶ。
- 2 [新規]をタップする。
「ショートカットの登録」画面が表示されます。
- 3 ショートカットの名前と、ショートカットに登録する文字列を入力する。
- 4 [OK]をタップする。
入力したショートカットが登録され、登録したショートカットが一覧で表示されます。

登録したショートカットを編集したいときは

- 1 編集したいショートカットをタップして選び、[編集]をタップする。
- 2 ショートカットの名前またはショートカットに登録する文字列を編集してから、[OK]をタップする。

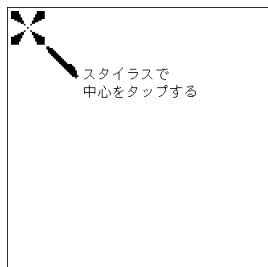
登録したショートカットを削除したいときは

- 1 削除したいショートカットをタップして選んでから、[削除]をタップする。
「削除」画面が表示されます。
- 2 [はい]をタップする。
選んだショートカットが削除されます。

入力位置を調整する(デジタイザ調整)

タップした位置が正しく認識されないときや、スクロールバーがうまく動かないとき、バックライトの明るさまたは画面のコントラストが調節できないとき、ハードリセット後などは、画面上の入力位置を微調整(デジタイザ調整)します。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[デジタイザ]を選ぶ。
デジタイザの表示調整画面が表示されます。



この画面は、クリエイティブをはじめて起動したときに表示される画面と同じものです。

以後、画面の指示に従って調整を進めてください。

💡 ヒント

スタイラスは画面に対して垂直にタップしてください。

ワイヤレス LAN のネットワーク接続設定を編集する

ワイヤレス LAN アクセスポイントを手動で設定する

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、[ワイヤレス LAN]を選ぶ。
- 3 [詳細]をタップする。
「ワイヤレス LAN 設定」画面が表示されます。
- 4 メニュー  アイコンをタップする。
- 5 [SSID]メニューの[新規]をタップする。
「SSID 設定」画面が表示されます。
- 6 [SSID]に SSID を入力する。
- 7 [WEP キー]の[- 不使用 -]をタップする。
「WEP キー」画面が表示されます。
- 8 WEP キーを入力し、[OK]をタップする。
- 9 必要に応じて下記の設定を行う。
 - ① アドホックモード：
ワイヤレス LAN アクセスポイントを使用せず、ワイヤレス LAN 対応機器どうしで直接接続する場合に ☐ をタップして ☒ にします。☒ にすると、チャンネルの選択メニューが表示されるので、▼をタップして、使用するチャンネルを選びます。
 - ② 省電力：
省電力モードを解除すると、最大電力で通信を行います。通信状況が悪い場合などに使用します。しかし、解除するとクリエの電池の消耗が早くなるため、通常は[省電力]を ☒ の状態でお使いください。

③ IP アドレス:

DHCPを使用する場合は ☒ にします。IP アドレスなどを設定する必要がある場合は、☒ をタップすると表示される「IP アドレス」画面で設定します。

「IP アドレス」画面では、[IP アドレス]、[ネットマスク]、[ルータ]、[プライマリ DNS]、[セカンダリ DNS]を設定することができます。

④ 自動接続:

ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定を自動選択する(100 ページ)際に、このワイヤレス LAN アクセスポイントの設定を含めるかどうか設定します。

含めない場合は ☒ をタップして ☐ にします。

10 [OK]をタップする。

「ワイヤレス LAN 設定」画面に戻り、新規作成したワイヤレス LAN アクセスポイントの SSID が[SSID:]に追加されます。

11 [OK]をタップする。

「環境設定」画面に戻ります。

ワイヤレス LAN アクセスポイントを検索して設定する

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。

2 [サービス]の▼をタップして、[ワイヤレス LAN]を選ぶ。

3 [詳細]をタップする。
「ワイヤレス LAN 設定」画面が表示されます。

4 [スキャン]をタップする。
「スキャン状況」画面が表示され、ワイヤレス LAN アクセスポイントを検索します。ワイヤレス LAN アクセスポイントが見つかった場合は、「アクセスポイント」画面が表示されます。

💡 ヒント

電波状況やタイミングにより、存在するワイヤレス LAN アクセスポイントが表示されないことがあります。

また、SSID を隠すように設定されているワイヤレス LAN アクセスポイントは[スキャン]では見つかることができません。

- 5 見つかったワイヤレス LAN アクセスポイントを選択し、[選択]をタップする。
「WEP キー」画面が表示されます。
- 6 WEP キーを入力して、[OK]をタップする。
「ワイヤレス LAN 設定」画面に戻り、選択したワイヤレス LAN アクセスポイントの SSID が[SSID:]に追加されます。
- 7 [OK]をタップする。
「環境設定」画面に戻ります。

ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定を自動選択するように設定する

複数のワイヤレス LAN アクセスポイントを登録している場合は、場所に応じて適切な設定を自動選択するようにすることができます。

ヒント

自動選択を行う場合、対象となるワイヤレス LAN アクセスポイントの設定で、「自動接続」(99 ページ)を ☒ にする必要があります。自動接続の対象となっているワイヤレス LAN アクセスポイントは、「ワイヤレス LAN 設定」画面に表示される SSID の左側に「*」が表示されます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、[ワイヤレス LAN]を選ぶ。
- 3 [詳細]をタップする。
「ワイヤレス LAN 設定」画面が表示されます。
- 4 [SSID]の[- 自動接続 -]をタップする。
- 5 [OK]をタップする。
「環境設定」画面に戻ります。

ワイヤレス LAN の接続状態を確認する

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、[ワイヤレス LAN]を選ぶ。
- 3 [詳細]をタップする。
「ワイヤレス LAN 設定」画面が表示されます。
- 4 [状態]をタップする。
「接続状態」画面が表示されます。
[OK]をタップすると、「ワイヤレス LAN 設定」画面に戻ります。

「ワイヤレス LAN 設定」画面のメニュー項目

「ワイヤレス LAN 設定」画面には、SSID の設定を行うためのメニュー項目が用意されています。

[SSID]メニュー

新規	「SSID 設定」画面を表示します。
編集	選択している SSID 設定を編集します。
削除	選択している SSID 設定を削除します。
複製	選択している SSID 設定を複製します。

プロバイダやダイヤルアップサーバーのネットワーク接続設定を編集する

ご注意

周辺機器に対応した設定については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

編集したいサービステンプレートを選ぶ

インターネットなどに接続するために使用する設定リストの元となる、インターネットサービスプロバイダ(以後、「プロバイダ」と記載します)またはダイヤルアップサーバーのサービステンプレートを選びます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、使用するサービス(プロバイダ名)を選ぶ。

💡 ヒント

- サービスを新規に追加する場合は、[サービス]メニューから[新規]を選んでください。
- リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、サービスが表示されている場所をタップするか、[サービス]メニューから[新規]を選んで、サービス名を直接入力することもできます。
- 1つのサービスの名前を変更して、複数登録することもできます。
例えば「So-net1」と「So-net2」というように、1つのサービスの名前を変更して複数のサービスとして登録できます。アクセスポイントや設定によって使い分けたいときに便利です。
- 既存のサービステンプレートを変更せず、新しいサービステンプレートとして新規追加する場合は、[サービス]メニューから[複製]を選んでください。

ユーザー名を入力する

プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

- 1 「環境設定」画面の[ネットワーク]で、[ユーザー名]をタップする。
- 2 ユーザー名を入力する。

ご注意

- ユーザー名として複数行の文字列を入力しても、画面には2行までしか表示されません。
- ほとんどのダイヤルアップサーバーでは、ユーザー名としてスペース(空白)を使用することはできません。
- ハイフン(-)を入力するときは、半角であることを確認してください。

パスワードを入力する

プロバイダから指定されたパスワードを入力します。

- 1 「環境設定」画面の[ネットワーク]で、[パスワード]をタップする。
- 2 パスワードを入力する。
- 3 [OK]をタップする。
[- 未設定 -]の表示が[- 設定済み -]に変わります。

ご注意

ここでパスワードを指定しない場合は、接続時に毎回パスワードの入力が必要になります。

ダイヤルアップ先の電話番号を入力する

使用する携帯電話／PHS に対応したプロバイダのアクセスポイント、またはダイヤルアップサーバーの電話番号を入力します。

1 「環境設定」画面の[ネットワーク]で、[電話番号]をタップする。

「ダイヤルの設定」画面が表示されます。

2 ダイヤルアップ先の電話番号を入力する。

ご注意

- アクセスポイントについては、プロバイダにお問い合わせください。
- 携帯電話または PHS の場合は、市外局番から入力してください。

3 外線発信番号やキャッチホン機能解除を設定する必要があるときは、以下の「外線発信番号を入力する」や「キャッチホンを解除する」の手順に従って設定を行う。

外線発信番号を入力する

外線発信番号を指定しなければならない環境でお使いの場合は、外線発信番号を入力します。

- ① [外線発信番号]の ☐ をタップして、☒ にする。
- ② [外線発信番号]入力欄に外線発信番号を入力してから、[OK]をタップする。

キャッチホンを解除する

あらかじめキャッチホン機能解除サービスを通信会社と契約している場合には、インターネットへの接続時にキャッチホン機能を解除するように設定できます。キャッチホン機能解除サービスについては、ご契約されている通信会社にお問い合わせください。

- ① [キャッチホン機能解除]の ☐ をタップして、☒ にする。
- ② キャッチホン機能を解除するための番号を入力してから、[OK]をタップする。

4 電話番号の設定を終了する場合は、[OK]をタップする。

「環境設定」画面の[ネットワーク]に戻ります。

ご注意

日本国内では、[コーリングカードの使用]オプション(アメリカ合衆国専用)は利用できません。

コーリングカードを使用する

クリエをアメリカ合衆国でお使いの場合は、コーリングカード番号を指定することで、コーリングカードを使ってネットワークに接続することもできます。

ご注意

日本国内では、画面に表示されている[コーリングカードの使用]オプションは使用できません。また、アメリカ合衆国で使用する場合、「ダイヤルの設定」画面の設定は、AT&TとSprintの長距離サービスでのみ正しく動作します。MCIでは動作が異なるので、MCIを利用する場合は、[電話番号]入力欄にコーリングカード番号、[コーリングカードの使用]入力欄に電話番号を入力する必要があります。

- 1 [コーリングカードの使用]の ☐ をタップして、☒ にする。
- 2 [コーリングカードの使用]入力欄にコーリングカード番号を入力する。
通常は、コーリングカード番号を入力する前に待ち時間があります。そのためコーリングカード番号を指定する場合は、先頭に3つ以上のカンマ(,)を挿入して待ち時間を補正するようにしてください(1つのカンマでコーリングカード番号の送信が2秒遅れます)。
- 3 [OK]をタップする。

詳細な接続情報を追加設定する

プロバイダをリストから選んだときは、ユーザー名とパスワード、電話番号を入力するだけでネットワークに接続できます。しかし、プロバイダやダイヤルアップサーバーによっては、接続情報を追加設定しなければならない場合があります。

- 1 「環境設定」画面の[ネットワーク]で、[詳細]をタップする。

2 [接続タイプ]の▼をタップして、接続方法を選ぶ。

- PPP: ポイントツーポイントプロトコル
- SLIP: シリアル回線インターネットプロトコル
- CSLIP: 圧縮シリアル回線インターネットプロトコル

適切な接続方法がわからない場合は、[PPP]を選びます。

詳しくはプロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

3 [切断までの時間]の▼をタップして、ネットワークを使用するアプリケーションが終了してからネットワークとの接続を切断するまでの時間を選ぶ。

- 1分、2分、3分: ネットワークを使用しないアプリケーションに切り換えると、それぞれ1分後、2分後、3分後にネットワークとの接続を切断します(初期設定は1分です)。
- なし: クリエの電源を切るまで、ネットワークと接続し続けます。もっとも通信料金がかかる設定ですので、充分にご注意ください。

4 必要に応じて、下記の設定をする。

プロバイダの設定資料で必要とされている場合、下記の手順で[クエリーDNS]と[IPアドレス]の設定を行います。

①クエリーDNS: ☒ をタップして ☐ にします。

②プライマリDNS / セカンダリDNS:

DNS(ドメインネームシステム)のIPアドレスを入力します。

プライマリDNSまたはセカンダリDNSのIPアドレスについては、プロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

③IPアドレス:

クリエのIPアドレスを指定する必要がある場合は、[自動]の☒ をタップして ☐ にしてから、IPアドレスを入力します。

入力するIPアドレスについては、プロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

通常は入力する必要はありません。不明な場合は、[自動]を☒ にして手順5に進んでください。

5 [OK]をタップする。

サービステンプレートを複製する／削除する

既存のサービステンプレートを複製する

サービステンプレートをすべて新規で作成するよりも、既存のサービステンプレートの内容を編集した方が速いときなどに、既存のサービステンプレートを複製することができます。

複製したサービステンプレートの必要な部分だけを編集して、保存できるので便利です。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、複製したいサービスを選ぶ。
- 3 メニュー  アイコンをタップする。
- 4 [サービス]メニューの[複製]をタップする。
[サービス]のリストに「(コピー元のサービス名)+コピー」という新規サービステンプレートが作成され、この新規サービステンプレートが表示されます。

サービステンプレートを削除する

登録されているサービステンプレートを削除することもできます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。
- 2 [サービス]の▼をタップして、削除したいサービスを選ぶ。
- 3 メニュー  アイコンをタップする。
- 4 [サービス]メニューの[削除]をタップする。
「サービスの削除」画面が表示されます。
- 5 [OK]をタップする。
手順2で選んだサービステンプレートが削除されます。
削除をやめたいときは、[OK]の代わりに[キャンセル]をタップします。

ログインスクリプトを作成する

ログインスクリプトとは、プロバイダへのログインを自動化するための、一連の命令文のことです。

ログインスクリプトには、ASCII 以外の文字やリテラル文字も使用できます。

➡ 詳しくは、「ログインスクリプトで使用できる ASCII 文字以外の文字」(110 ページ)をご覧ください。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。

2 使用するサービスをタップする。

3 [詳細]をタップする。

4 [スクリプト]をタップする。

5 [終了]の▼をタップして、目的のコマンドを選ぶ。

コマンドに追加情報が必要な場合は、右側に入力欄が表示されます。ログインスクリプトは、以下のコマンドから選べます。

データ待ち	ダイヤルアップサーバーからの特定の文字を受信してから、次のコマンドを実行します。
プロンプト待ち	ダイヤルアップサーバーからのチャレンジプロンプトおよびレスポンスプロンプトを検索し、動的に生成したチャレンジ値を表示します。その後、トークンカードにチャレンジ値を入力してください。これにより、クリエに入力するレスポンス値が生成されます。このコマンドは 2 つの引数を取ります。入力行に、バー()で区切って入力してください。
送信	ダイヤルアップサーバーに特定の文字を送信します。
改行を送信	ダイヤルアップサーバーにキャリッジリターン(CR)またはラインフィード(LF)を送信します。
ユーザ ID を送信	ネットワーク接続のためのユーザー名をダイヤルアップサーバーに送信します。

パスワードを送信	ネットワーク接続のためのパスワードをダイヤルアップサーバーに送信します。パスワードが未登録の場合は、このコマンドの実行時にパスワード入力画面が表示されます。通常はこのコマンドのあとに、「改行を送信」コマンドが続きます。
時間待ち	次のコマンドの実行まで、一定の時間(秒)の待機時間を設定します。
IP 取得	SLIP 接続時に、あらかじめ登録した IP アドレスを取得して、クリエの IP アドレスとして使用します。
プロンプト表示	パスワードやデータ保護コードなどの文字列を入力するための画面を表示します。
終了	ログインスクリプトの最後の行に挿入します。

6 手順 5 を繰り返して、ログインスクリプトを完成します。

7 [OK] をタップする。
「詳細」画面に戻ります。

8 [OK] をタップする。
「環境設定」画面の[ネットワーク]に戻ります。

ログインスクリプトで利用できる ASCII 文字以外の文字

ASCII 文字以外の文字を使用するカスタムログインスクリプトの作成のしかたについて説明します。この説明はカスタムログインスクリプトでこれらの文字の必要性和使いかたを理解している、上級ユーザー向けの情報です。

^char(文字)の使用

キャレット(^)を使って、ASCII コマンド文字を送信できます。

^char を送信する場合は、文字の ASCII コードが @ と _ の間であれば、自動的に 0 から 31 の 1 バイト値に変換されます。例えば、^M は、キャリッジリターンに変換されます。

文字が A から Z の間の場合、文字列が 1 から 26 までの 1 バイト値に変換されます。文字がその他の場合、文字列は特殊な処理の対象となりません。

キャリッジリターンとラインフィード

キャリッジリターンとラインフィードは、以下の書式で入力します。

- <cr>: キャリッジリターンを送受信します。
- <lf>: ラインフィードを送受信します。

例えば、文字列「waitfor joe<cr><lf>」は、リモートパソコンから joe、続いてキャリッジリターンとラインフィードを受信するのを待ってから、次のコマンドを実行します。

リテラル文字

\マークは、次の文字がリテラル文字として送信されることを定義します。また、通常は文字に関連した特殊な処理の対象となりません。

例:

- \^: キャレットを文字列に含める。
- \<: < を文字列に含める。
- \\: \ を文字列に含める。

「環境設定」画面の[ネットワーク]のメニュー項目

「環境設定」画面の[ネットワーク]には、サービステンプレートの作成や編集を効率化するためのメニュー項目が用意されています。ここでは、「環境設定」画面の[ネットワーク]に固有のメニュー項目だけを説明します。

クリエのアプリケーションに共通のメニュー項目については、「共通メニュー項目」(37 ページ)をご覧ください。

【サービス】メニュー

新規	空白のテンプレートを新規作成し、[サービス]のリストに追加します。
削除	[サービス]のリストから、現在選んでいるサービステンプレートを削除します。
複製	現在選んでいるサービステンプレートを複製して、[サービス]のリストに追加します。

【オプション】メニュー

ログ表示	これまでのネットワーク接続の履歴を表示する、「ネットワーク ログ」画面を表示します。 接続の履歴を確認したら、[終了]をタップして「ネットワーク ログ」画面を閉じます。
------	---

アプリケーションボタンの割り当てを変更する

クリエのアプリケーションボタンに割り当てられているアプリケーションを、好みに合わせて変更できます。

例: 予定表ボタンを押したときに、「電卓」を起動するように設定する。

- ➡ 詳しくは、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「各部のなまえとはたらき」をご覧ください。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ボタン]を選ぶ。

ボタンの登録画面が表示されます。



2 変更したいアプリケーションボタンの▼をタップして、ボタンに割り当てたいアプリケーションを選ぶ。

アプリケーションボタンの割り当てが変更されます。

元のアプリケーションを起動するときは

ボタンに別のアプリケーションを割り当てた場合は、ホーム画面から元のアプリケーションを起動します。

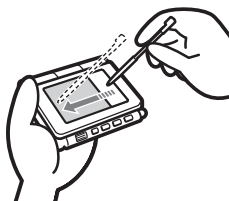
アプリケーションボタンの割り当てを初期設定に戻したいときは

前記の手順 2 で、[標準設定]をタップします。

すべてのアプリケーションボタンがお買い上げ時の設定に戻ります。

スタイラス操作により起動する機能を変更する

スタイラスをシルクスクリーン領域から画面の左端まで動かした際に起動する機能を変更できます。



スタイラスをシルクスクリーン領域から画面の左端まで動かす。

お買い上げ時の設定では、この操作を行ったときに選択されている手書き入力の方法のヘルプ画面が表示されるようになっています。

💡 ヒント

ハードウェアキーボードの Ctrl キーを押しながら R キーを押しても、同じ機能を起動することができます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ボタン]を選ぶ。
- 2 [スタイラス]をタップする。
「スタイラス」画面が表示されます。
- 3 [▼ Graffiti ヘルプ]をタップして、画面全体にスタイラスを動かしたときに起動したい機能を選ぶ。

バックライト

クリエのバックライトを点灯させます。電源ボタンを使わずに、バックライトの入/切を切り換えたいときに便利です。

明るさ

バックライトの明るさを調節するための画面を表示します。

キーボード	スクリーンキーボードを表示します。はじめて表示させたときはひらがなのキーボードを表示しますが、次回からは最後に使ったキーボードが表示されます。
Graffiti ヘルプ	現在選んでいる文字入力の方法(Graffiti 2 入力またはデクマ手書き入力)のヘルプ画面を表示します。
電源オフ&ロック	クリエの電源を切って、ロック状態に設定します。ロックされているクリエを起動するには、パスワードを入力する必要があります(ロック機能を利用するには、あらかじめパスワードを登録しておく必要があります)。 ►詳しくは、「パスワードでデータを保護する」(197 ページ)をご覧ください。
赤外線通信	表示しているデータを別のクリエに赤外線送信します。

4 [OK]をタップする。

ユーザー辞書を登録する

クリエの辞書に登録されていない単語を登録できます。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ユーザー辞書]を選ぶ。

2 [登録]をタップする。

「単語登録」画面が表示されます。

3 読みと語句を入力する。

4 [OK]をタップする。

入力した単語が登録され、登録した単語が日本語入力時の漢字変換に利用できます。

登録した単語を削除したいときは

1 削除したい単語をタップして選んでから、[削除]をタップする。

削除の確認画面が表示されます。

2 [はい]をタップする。

選んだ単語がユーザー辞書から削除されます。

ご注意

これは標準の日本語入力用の登録です。ATOK 用の登録は、「よく使う単語を登録する」(74 ページ)をご覧ください。

自動電源オフまでの時間を設定する

クリエは使用しない状態で一定の時間が経過すると、バッテリーの消耗を節約するために、電源が自動的に切れるようになっています。

この自動的に電源が切れるまでの時間を、お使いのスタイルに合わせて変更できます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。
- 2 [自動オフまでの時間]の▼をタップして、設定したい時間を選ぶ。
30 秒または 1 分、2 分、3 分から選べます。
- 3 クリエをクレードルに取り付けている間は自動的に電源が切れないようにしたいときは、[クレードル上で常時オン]の ☐ をタップして ☒ にする。

お買い上げ時の設定は

- 自動オフまでの時間: 2 分
- クレードル上で常時オン: ☒

ご注意

クリエが自動ロックに設定されている状態では、[クレードル上で常時オン]の機能は無効となります。

- ➡ **ロックについて詳しくは**、「パスワードでデータを保護する」の「自動的にロックする」(202 ページ)をご覧ください。

各種の操作音の設定を変更する

システム音やアラーム音、ゲーム音などの、クリエを使用中に鳴る音の音量と音の入/切を変更できます。

- 1** 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。
- 2** [システム音]の▼をタップして、好みの音量または[オフ]を選ぶ。
[オフ]を選ぶと、HotSync 実行時のチャイム音も「切」になります。
- 3** [アラーム音]の▼をタップして、好みの音量または[オフ]を選ぶ。
- 4** [ゲーム音]の▼をタップして、好みの音量または[オフ]を選ぶ。
ゲーム音の設定は、この機能を利用しているゲームのみに適用されます。

LED の設定を変更する

「予定表」などのアプリケーションで、設定した時刻に LED を点滅させたりすることができます。アラーム音を[オフ]に設定すれば、まわりの人に迷惑をかけずに、アラーム機能を使用することができます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。
- 2 [LED 通知]の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

赤外線通信の受信を入／切する

赤外線通信の受信機能の入／切を切り換えられます。

赤外線通信の受信機能を「切」にすると、赤外線を使ったデータやアプリケーションの受信ができなくなりますが、クリエのバッテリーの消耗を節約できます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。
- 2 [赤外線通信の受信]の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。
 - オン: 赤外線通信の受信機能を「入」にします。
 - オフ: 赤外線通信の受信機能を「切」にします。

お買い上げ時の設定は

[オン]に設定されています。

テーマカラーを設定する

テーマカラーを変更して、画面の背景や文字、メニューなどの色を好みの設定にできます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして[一般]を選ぶ。
- 2 [テーマカラー]の▼をタップして使用するテーマを選ぶ。

お買い上げ時の設定は

[オリジナル]に設定されています。

ご注意

一部のアプリケーションには設定が反映されません。

シルクスクリーン領域の位置を変更する

シルクスクリーン領域とステータスバーの位置を右側または左側のいずれかに設定できます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして[拡張設定]を選ぶ。
- 2 [シルクの位置]の▼をタップして位置を選ぶ。

キーボード照明の設定を変更する

暗い場所でキーボードを使う場合に、キーボード照明でキーの位置をわかりやすくすることができます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[拡張設定]を選ぶ。
- 2 [キーボード照明]の▼をタップして[オン]または[オフ]を選ぶ。

数字キーを使ってアプリケーションを起動できるようにする

Ctrl キーと数字キーを組み合わせることで、アプリケーションを起動するように設定できます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして[拡張設定]を選ぶ。
- 2 [設定]をタップする。
「数字キー設定」画面が表示されます。
- 3 設定したいキーの▼をタップして、割り当てたいアプリケーションを選ぶ。
- 4 [終了]をタップする。

割り当てをすべて解除するには

前記の手順 3 で、[設定解除]をタップします。

日時／数値などの表示書式を設定する

地域ごとの標準設定で表示する

クリエを使用する地域を選ぶと、日時や週の開始日、数値の単位などをその地域ごとの一般的な書式に切り換えられます。例えば、[英国]を選ぶと時刻を 24 時間で表示し、[アメリカ]を選ぶと 12 時間単位で AM または PM をつけて表示します。

地域ごとの設定は、すべてのアプリケーションに適用されます。ただし日時などの各単位を、それぞれ好みに合わせてあとから調整することもできます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[書式]を選ぶ。
- 2 [地域]をタップして、標準設定にしたい地域名を選ぶ。

単位ごとに好みの書式を選ぶ

時刻や日付、週の開始日、数値の各単位の書式を、好みに合わせて選べます。これらの設定は、すべてのアプリケーションに適用されます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[書式]を選ぶ。
- 2 [時刻]の▼をタップして、書式を選ぶ。
- 3 [日付]の▼をタップして、書式を選ぶ。
- 4 [週の開始]の▼をタップして、[日曜日]または[月曜日]のいずれかを選ぶ。
この設定は、「予定表」の日表示、週表示、月表示など、カレンダーが表示されるすべての画面に適用されます。
- 5 [数値]の▼をタップして、書式を選ぶ。

通信機器の設定を追加／変更する

必要に応じてクリエに接続する通信機器の設定を追加／変更できます。通信機器を使用するアプリケーションは、この設定に従います。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[接続]を選ぶ。

2 [新規]をタップする。

「接続の編集」画面が表示されます。

既存設定を変更したい場合は、変更する設定項目をタップしてから、[編集]をタップしてください。

3 [接続名]を入力する。

区別しやすい名前を入力してください。

4 [接続先]の▼をタップして、使用する接続先を選ぶ。

5 [媒体]の▼をタップして、使用する媒体を選ぶ。

[接続先]にモデムを設定した場合は、次の項目も設定してください。

① [回線種別]の▼をタップして、使用する回線の種類を選ぶ。

通常は[プッシュ回線]を選びます。

[ダイヤル回線]は、使用する電話回線がプッシュ回線でないことを確認してから選んでください。

② [音量]の▼をタップして、接続時のモデムスピーカーの音量を選ぶ。

③ [詳細]をタップする。

④ [速度]の▼をタップして、モデムとクリエ間の通信の最高速度を選ぶ。

⑤ [フロー制御]の▼をタップして、モデム接続のフロー制御を選ぶ。

通常は[自動]を選びます。

⑥ [コマンド]欄に、モデム初期化コマンドを入力する。

特に指定がない限り「AT&FX4」と入力してください。

⑦ [OK]をタップする。

6 [OK]をタップする。

使用できる設定の一覧画面に戻ります。

日付／時刻を合わせる

日付と時刻の設定を変更します。また、地域名を選ぶことによって、簡単に現地時刻に合わせることができます。

- 1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[日付と時刻]を選ぶ。
- 2 [日付の設定]をタップする。
- 3 一番上にある年の横の◀または▶をタップして、年を合わせる。
- 4 現在の月をタップする。
- 5 現在の日付をタップする。
- 6 [時刻の設定]をタップする。
- 7 ▲または▼をタップして、時間表示を合わせる。
- 8 分のボックスをタップしてから▲または▼をタップして、分表示を合わせる。
- 9 [OK]をタップする。

使用する地域の時刻に合わせるには

クリエを使用する地域に合わせ、「タイムゾーンの設定」および「夏時間」の設定を変更することもできます。

タイムゾーンの設定を変更するには、「環境設定」画面の[日付と時刻]で[タイムゾーンの設定]の地域名をタップし、表示されたリストから地域を選びます。

夏時間の設定を変更するには、[夏時間]の▼をタップして[オン]または[オフ]を選びます。

パソコンとファイル ／データを同期する (その他の HotSync)

クリエは、USB ケーブルを使った HotSync だけでなく、赤外線などでも HotSync することができます。また、ワイヤレス LAN や有線 LAN などを使用して HotSync することもできます。

HotSync 時の動作を設定する (コンジット)	128
外部ファイルを同期する (ファイルリンク)	130
HotSync マネージャの起動方法や HotSync の 接続設定を変更する	131
ワイヤレス LAN(ネットワーク)経由で HotSync する (ネットワーク HotSync)	132
Bluetooth で HotSync する	135
赤外線 で HotSync する	139
LAN(ネットワーク)経由で HotSync する (LAN Sync)	142

HotSync 時の動作を設定する (コンジット)

HotSync 時に各アプリケーションのデータを処理するプログラムを、「コンジット」と呼びます。

コンジットの設定は、「HotSync 機能の動作設定」画面で変更することができ、たとえば「予定表は HotSync 時にクリエのデータを優先(パソコンに保存されているデータを上書き)」、「To Do は HotSync でデータを同期しない」などのように、それぞれのアプリケーションごとに行うことができます。

標準設定では、クリエのアプリケーションと CLIE Palm Desktop ソフトウェア間ですべてのファイル/データが同期されるようになっています。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアには、それぞれのアプリケーションについてのコンジット以外にも、クリエ内のすべてのファイル/データのバックアップをとるコンジットや、HotSync 時にクリエに追加アプリケーションをインストールするためのコンジットが用意されていますので、必要に応じて選んでください。

コンジットの設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

- 1 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[動作設定]をクリックする。

または、CLIE Palm Desktop ソフトウェアの[HotSync]メニューから[動作設定]をクリックします。

「HotSync 機能の動作設定」画面が表示されます。



- 2 一番上のリストから、クリエで使用しているユーザー名をクリックする。
- 3 コンジットの一覧から、変更したいコンジットをクリックする。

4 [変更]をクリックする。

「HotSync 機能の動作変更」画面が表示されます。



5 [ファイルを同期]または[Palm Desktop が本体を上書き]、[本体が Palm Desktop を上書き]、[何もしない]のいずれかをクリックする。

6 [OK]をクリックする。

7 手順2から6を繰り返して、その他のアプリケーション(またはユーザー)のコンジットを変更する。

8 [終了]をクリックする。

変更したコンジットの設定が有効になります。

ご注意

変更した設定が適用されるのは、設定を変更した直後の HotSync 時だけです (HotSync 後は、標準設定に戻ります)。選んだ設定を標準設定として登録したいときは、前記の手順 5 で画面の右にある [標準として保存] をクリックして、チェックをつけます。

標準設定をお買い上げ時の設定に戻したいときは

「HotSync 機能の動作設定」画面で [標準] をクリックします。

外部ファイルを同期する(ファイルリンク)

HotSync 時にクリエの「アドレス」や「メモ帳」のデータと、パソコンで作成した住所録などのファイル(外部ファイル)とを同期できます(ファイルリンク)。

ファイルリンクで指定したパソコンのファイルは、クリエと CLIE Palm Desktop ソフトウェアのそれぞれに、単独のカテゴリーとして保存されます。外部ファイルが変更されたときにのみファイルリンクするように設定することもできます。

ファイルリンクで同期できるファイル形式

ファイルリンク機能を利用することで、以下の形式のファイルを HotSync 時に同期させられます。

- カンマ区切りテキスト(*.csv)
- Palm Desktop ソフトウェアのメモ帳アーカイブ(*.mpa)
- Palm Desktop ソフトウェアのアドレスアーカイブ(*.aba)
- テキスト(*.txt)

* カッコ内は拡張子です。なお、関連ファイルをひとまとまりにした単位を「アーカイブ」と呼びます。

➡ **ファイルリンクの設定方法について詳しくは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアのヘルプをご覧ください。**

HotSync マネージャの起動方法や HotSync の接続設定を変更する

- 1 デスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから [起動/接続設定] を選ぶ。
「起動/接続設定」画面が表示されます。
- 2 [起動] タブをクリックして、必要に応じて設定を変更する。
適当な設定がわからない場合は、[常に有効] を選びます。
 - **常に有効**: Windows の起動と同時に HotSync マネージャを起動します。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアを起動せずに HotSync できるので、便利です。
 - **Palm Desktop を実行しているときのみに有効**: CLIE Palm Desktop ソフトウェアの起動と同時に、HotSync マネージャを起動します。
 - **手動**: デスクトップ画面左下の [スタート] メニューから [HotSync マネージャ] を起動した場合のみ、HotSync マネージャを起動します。
- 3 [ローカル] タブをクリックして、必要に応じてパソコンとクリエの間の接続設定を変更する。
 - **シリアルポート**: シリアルポートを使って HotSync する場合に使う、パソコンのポートを指定します。[モデム] タブのシリアルポートと共有することはできませんので、ご注意ください。
 - **速度**: ファイル/データの転送速度を指定します。まず [最速] に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。付属の USB ケーブルで HotSync する場合は、指定する必要はありません。
- 4 [モデム] タブをクリックして、必要に応じてモデムの設定を変更する。
- 5 [ネットワーク] タブをクリックして、必要に応じてネットワークの設定を変更する。
- 6 設定が終わったら、[OK] をクリックする。

ワイヤレス LAN(ネットワーク)経由で HotSync する (ネットワーク HotSync)

ネットワーク HotSync を実行するためには、お使いのパソコンやネットワーク環境について管理者レベルのスキルが必要です。ネットワーク管理者とご相談の上、ご利用ください。

ネットワーク HotSync を行うには、HotSync するパソコンを特定するための情報をあらかじめクリエに転送し、クリエで HotSync 機能の設定をしておく必要があります。

次の手順に従って設定してください。

パソコン側の準備をする

- 1 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ネットワーク]にチェックをつける。
- 2 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[起動/接続設定]をクリックする。
「起動/接続設定」画面が表示されます。
- 3 [ネットワーク]タブをクリックする。
- 4 HotSync するユーザー名の ☐ をクリックして ☒ にする。
- 5 [OK]をクリックする。
- 6 クリエをパソコンとつなぎ、HotSync を行う。

設定したパソコンの情報(プライマリパソコン名とプライマリパソコンのアドレス(IP アドレス))をクリエに転送します。

ネットワーク経由で HotSync するとき、この情報を元に HotSync するパソコンを特定します。

クリエ側の準備をする

続いて、クリエ側で以下の準備を行います。

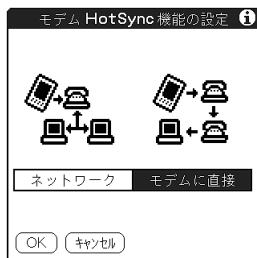
- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

💡 ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

- 2 [モデム]をタップする。
- 3 メニュー  アイコンをタップする。
- 4 [オプション]メニューから、[モデム HotSync の設定]をタップする。
「モデム HotSync 機能の設定」画面が表示されます。

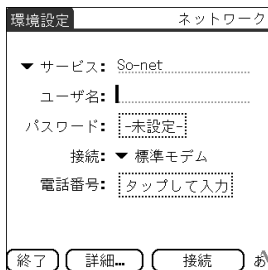


- 5 [ネットワーク]をタップする。

- 6 [OK]をタップする。

「HotSync」画面に戻ります。

- 7 アイコンの下の[サービスの選択]をタップする。
「環境設定」画面の[ネットワーク]が表示されます。



- 8 [サービス]の▼をタップして、リストから[ワイヤレス LAN]を選ぶ。
- 9 [終了]をタップする。

💡 ヒント

[電話番号の入力]に電話番号を入力する必要はありません。

ネットワーク HotSync する

パソコンとクリエの準備が終わったら、ネットワーク HotSync を実行できます。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「HotSync」画面が表示されます。

💡 ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

- 2  アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

Bluetooth で HotSync する

Bluetooth 機能対応のパソコンをお使いの場合、クリエとパソコンを USB ケーブルで接続せずに、ワイヤレスで HotSync することができます。

準備が必要です

クリエと Bluetooth 機能対応のパソコンを使って、はじめて Bluetooth で HotSync するときは、クリエ側で Bluetooth 用の接続設定を作成し、HotSync するパソコンを登録する必要があります。

準備:クリエ側で Bluetooth 用の接続設定を作成する

ご注意

準備を始める前にパソコン側の Bluetooth 機能をオンにしてください。
操作について詳しくは、お使いのパソコンに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[接続]を選ぶ。

2 [新規]をタップする。

3 [接続名]を入力する。

HotSync するパソコンごとにわかりやすい名前を付けてください。初期設定では「カスタム」と入力されています。

4 [接続先]の▼をタップして、[PC]を選ぶ。

5 [媒体]の▼をタップして、[Bluetooth]を選ぶ。

6 [デバイス]の[タップして選択]をタップする。

クリエの周囲にある Bluetooth 機能対応機器の探索が始まります。

探索が終了すると、クリエの周囲にある Bluetooth 機能対応機器が表示されます。

💡 ヒント

クリエから接続対象機器を 1 度探索したあと、接続対象機器の Bluetooth デバイス名を変更した場合は、次回のデバイス探索で古いデバイス名が表示されることがあります。

この場合は、次の手順で操作してください。

- ① Bluetooth の設定画面(92 ページ)を開き、メニュー  アイコンをタップする。
- ② [オプション]メニューの[デバイス名キャッシュの無効化]をタップする。
- ③ 再度デバイス探索を行う。

7 登録したいパソコンを選択し、[OK]をタップする。

[登録済みデバイスの追加]が表示されます。

8 [はい]をタップする。

クリエに「Bluetooth セキュリティ」画面が表示されます。

9 クリエでパスキーを入力し、[OK]をタップする。

選択したパソコンにも「パスキー入力」画面が表示されます。

💡 ヒント

パスキーとは

パスキーは、2 台の Bluetooth 機能対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。パスキーには特に指定は無く、ユーザーの好きな文字列を選んで入力することができます。

パスキーは半角の英数字で入力してください。日本語はパスキーに指定できません。

同一の英数字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力さえすれば、毎回異なったパスキーを用いても構いません。なお、1 度接続が許可されると、あらかじめ設定された期間内はパスキーを入力しなくても接続できます。

10 手順 9 と同じパスキーをパソコンで入力する。

「使用できる設定:」の一覧に手順 3 で入力した接続名が追加されていれば、準備は完了です。

💡 ヒント

- Bluetooth 機能対応機器によっては、「パスキー入力」の画面表示順が前記の操作手順と異なる場合や画面が表示されない場合があります。表示された画面に従って、必要に応じてパスキーの入力を行ってください。
- 電波状況により探索、接続に時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機能対応機器の探索に時間がかかるような場合は探索画面で[キャンセル]をタップし、もう 1 度探索し直してください。
また探索の結果、HotSync したい Bluetooth 機能対応のパソコンが見つからなかった場合はもう 1 度探索し直してください。

Bluetooth で HotSync を実行する

- 1 パソコン側の Bluetooth 機能をオンにする。
- 2 パソコンでデスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) に  アイコンがあることを確認する。

💡 ヒント

デスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) に  アイコンが表示されていない場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム] (Windows XP では[すべてのプログラム]) - [Sony CLIE] - [HotSync マネージャ]の順にクリックして、HotSync マネージャを起動します。

- 3 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「HotSync」画面が表示されます。

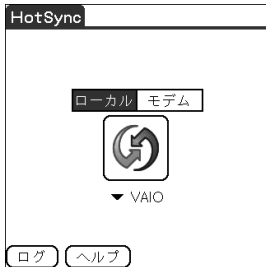
💡 ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

- 4 [ローカル]が選択されていることを確認する。

5 アイコン下の▼をタップして、使用する接続を選ぶ。

「準備: クリエ側で Bluetooth 用の接続設定を作成する」(135 ページ)の手順 3 で設定した接続名を選択してください。



6 アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

💡 ヒント

クリエとパソコンの Bluetooth 接続は、HotSync が終了すると自動的に切断されます。

赤外線で HotSync する

クリエの IrDA(Infrared Data Association)規格準拠の赤外線通信ポートを使って、パソコンと赤外線通信で HotSync できます。

赤外線 HotSync 機能を実行する前に

以下の項目を確認してください。

- パソコンに IrDA 規格準拠の赤外線通信ポートがついている。
- 赤外線通信ポートを Windows で利用できるようになっている。
- 赤外線通信ポートのポート番号を確認する。

赤外線通信ポートのポート番号を確認するには、Windows の「赤外線モニター」コントロールパネルを使います。

詳しくは、お使いのパソコンに付属の取扱説明書または Windows のヘルプをご覧ください。

パソコン側の準備をする

赤外線 で HotSync するには、パソコンで赤外線通信を行うための仮想ポートを指定する必要があります。

Windows 2000 Professional/Windows XP をお使いの場合

- 1 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[赤外線]にチェックをつける。

赤外線通信で HotSync できるように設定が変更されます。

Windows 98 Second Edition/Windows Me をお使いの場合

- 1 デスクトップ画面右下のタスクトレイの  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ローカル シリアル]にチェックがついていることを確認する。

- 2** デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから**【起動/接続設定】**をクリックする。

「起動/接続設定」画面が表示されます。



- 3** **【ローカル】**タブをクリックする。

- 4** 必要に応じて、以下の設定を変更する。

- **シリアルポート**: 赤外線通信ポートが使用する、仮想ポートを指定します。
接続先ポートがわからないときは、Windows のコントロールパネルの「赤外線モニター」で確認します。
- **速度**: ファイル/データの転送速度を指定します。まず**【最速】**に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。

- 5** **【OK】**をクリックする。

赤外線通信で HotSync できるように設定が変更されます。

ご注意

前記の操作を行って赤外線 で HotSync するように設定を変更すると、USB ケーブルを使って HotSync するときに、また元の設定に戻す必要があります。元の設定に戻すには、次ページの「USB ケーブルで HotSync する設定に戻す」をご覧ください。

赤外線 HotSync する

パソコンとクリエの準備、ファイル/データの指定が終わったら、赤外線 HotSync を実行できます。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

- 2 [ローカル]をタップする。

- 3 ▼をタップして、[赤外線]を選ぶ。

- 4 クリエの赤外線通信ポートとパソコンの赤外線通信ポートを 10 ～ 20cm 程度に近づけて置く。

機器間の相性によって最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。

- 5  アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

USB ケーブルで HotSync する設定に戻す

赤外線 で HotSync するように変更した設定を、USB ケーブルを使って HotSync する設定に戻します。

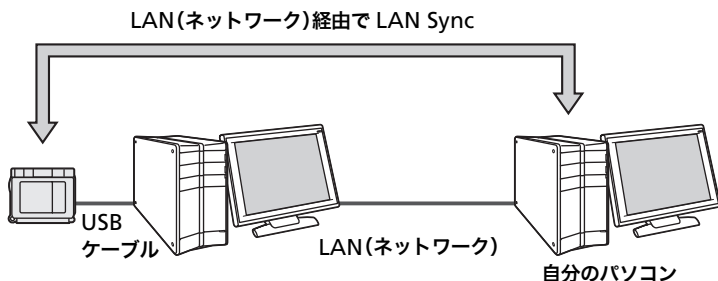
- 1 パソコンとクリエを接続する。

- 2 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ローカル USB]にチェックがついていることを確認する。

LAN(ネットワーク)経由で HotSync する(LAN Sync)

LAN Sync を実行するためには、お使いのパソコンやネットワーク環境について管理者レベルのスキルが必要です。ネットワーク管理者とご相談の上、ご利用ください。

LAN(ネットワーク)につながっている他のパソコンにクリエを接続して、自分のパソコンに HotSync することができます。社内の他の部署にしながら、自分のパソコンに HotSync したいときなどに便利です。



LAN Sync 機能を実行する前に

LAN(ネットワーク)でつながっている 2 台のパソコンに、それぞれ CLIE Palm Desktop がインストールされていることを確認してください。

また、LAN Sync を行うには、HotSync するパソコンを特定するための情報をあらかじめクリエに転送し、クリエの LANSync 機能の設定をしておく必要があります。

これらを確認したら、次の手順に従って設定してください。

パソコン側の準備をする

- 1 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ネットワーク]にチェックをつける。
- 2 デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[起動/接続設定]をクリックする。

「起動/接続設定」画面が表示されます。



- 3 [ネットワーク]タブをクリックする。
- 4 HotSync するユーザー名の ☐ をクリックして ☒ にする。
- 5 [OK]をクリックする。
- 6 クリエを USB ケーブルでパソコンに接続し、HotSync を行う。
設定したパソコンの情報(プライマリパソコン名とプライマリパソコンのアドレス(IP アドレス))をクリエに転送します。
LAN(ネットワーク)経由で HotSync するとき、この情報を元に HotSync するパソコンを特定します。

クリエ側の準備をする

続いて、クリエ側で以下の準備を行います。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

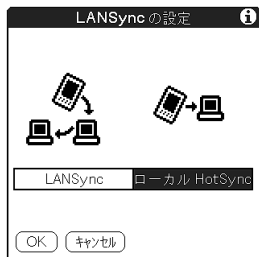
「HotSync」画面が表示されます。

💡 ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

- 2 [ローカル]をタップする。
- 3 メニュー  アイコンをタップする。
- 4 [オプション]メニューから、[LANSync の設定]をタップする。

「LANSync の設定」画面が表示されます。



- 5 [LANSync]をタップする。
- 6 [OK]をタップする。

「HotSync」画面に戻ります。

LAN Sync する

パソコンとクリエの準備が終わったら、LAN Sync を実行できます。クリエを USB ケーブルでパソコンに接続したあと、クリエを接続したパソコンと HotSync するパソコンの電源を入れ、HotSync マネージャを起動させておいてください。

ご注意

クリエを接続したパソコンと HotSync するパソコンの両方が、LAN Sync 用に設定されている必要があります。両方のパソコンで、デスクトップ画面右下のタスクトレイ (通知領域) の  アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの [ネットワーク] にチェックがついていることを確認してください。チェックがついていなければ、チェックをつけてください。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して [HotSync] アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

[HotSync] アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

- 2  アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

“メモリースティック” などの記録メディアを 使う

この章では、“メモリースティック”などの記録メディアを使って、仲間とアプリケーションやデータなどの情報を交換する方法について説明します。また、“メモリースティック”の取り扱いかたや、記録メディア内の情報を管理する「CLIE Files」についても説明しています。

“メモリースティック”などの記録メディアを使う	148
ファイル/フォルダをコピー/移動/削除する	156

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

本機で使える記録メディアについて

本機では、“メモリースティック”に対応しています。

“メモリースティック”対応機器間でファイル／データをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアとしてファイル／データの保存にもお使いいただけます。

また、本機は内蔵メディアを搭載しており、アプリケーションやファイルの保存にお使いいただけます。

なお、これらの記録メディア内にあるアプリケーションやファイルをコピー／移動／削除する場合は、付属の専用アプリケーション「CLIE Files(クリエ ファイルズ)」をお使いください。

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”には、一般の“メモリースティック”と著作権保護技術(マジックゲート*)を搭載したタイプの“メモリースティック”があります。本機ではマジックゲート搭載の“メモリースティック”と一般の“メモリースティック”のどちらもご使用いただけます。

本機で ATRAC3 形式の音楽ファイルの再生を楽しむには、マジックゲートを搭載した“メモリースティック”を使う必要がありますので、ご注意ください。

* MagicGate(マジックゲート)とは？

マジックゲートは、マジックゲート搭載の“メモリースティック”と対応機器(クリエなど)に搭載している著作権保護技術です。対応機器と“メモリースティック”の間で相互に著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、ファイル／データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるファイル／データは再生できません。

また、本機では“メモリースティック デュオ”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO**”もご利用いただけます。

** 本機は、以下の“メモリースティック PRO”製品に対応しております。

製品名：MSX-1G、MSX-512、MSX-256

ただし、著作権保護機能（MagicGate 機能）には対応しておりません。

- ➡ 対応している“メモリースティック”の最新情報については、ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページをご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

“マジックゲート メモリースティック”についてのご注意

「CLIE Files」や Windows のエクスプローラなどで“マジックゲート メモリースティック”に記録した音楽ファイルなど、著作権保護されたファイルやディレクトリを操作すると、著作権保護されたファイルが無効となって使えなくなる場合があります。

著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、「SonicStage」などの著作権保護されたファイルに対応したソフトウェアをお使いください。

ご注意

“メモリースティック デュオ”をクリエでお使いの場合は

- “メモリースティック デュオ”は、必ず“メモリースティック デュオ”アダプターに挿入してお使いください。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに挿入するときは、正しい挿入方向をご確認ください。
- “メモリースティック デュオ”アダプターは“メモリースティック デュオ”が挿入されていない状態で、クリエの“メモリースティック”スロットに挿入しないでください。
- “メモリースティック デュオ”アダプターをクリエの“メモリースティック”スロットに挿入するときは、正しい挿入方向をご確認ください。

“メモリースティック”使用上のご注意

“メモリースティック”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “メモリースティック”の端子部に手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - －高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - －直射日光のあたる場所
 - －湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 大切なファイル／データはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- ファイル／データの読み込み中や書き込み中に“メモリースティック”を抜かないでください。
- 下記の場合、記録したファイル／データが消えたり壊れたりすることがあります。
 - －読み込み中や書き込み中、初期化中に“メモリースティック”を抜いた場合
 - －静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- クリエのバッテリー残量が少ないときは、“メモリースティック”を入れると警告メッセージが表示されます。
- バッテリー残量が少ないときは“メモリースティック”でファイル／データをやりとりすることはできません。クリエにクレードルを取り付けるか、十分に充電してから行ってください。
- クリエで使用する“メモリースティック”はクリエの「CLIE Files」から初期化してください。クリエ以外で初期化された“メモリースティック”は正しく動作しない場合があります。
- クリエ以外で初期化した“メモリースティック”を入れると、「フォーマットしますか」という確認の画面が表示される場合があります。
フォーマットした場合、クリエで使えるようになりますが、ファイル／データはすべて消去されますのでご注意ください。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。

ファイル／データを書き込み禁止にする

大切なファイル／データを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを動かして、“メモリースティック”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

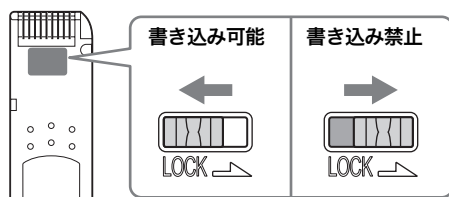
書き込み可能

ファイル／データを書き込みが可能な状態です。ファイル／データを“メモリースティック”に記録したいときは、書き込み可能な状態にしておきます。

書き込み禁止

タブを矢印の方向に動かすと、書き込み禁止の状態になります。ファイル／データの読み出しはできますが、書き込みはできません。ファイル／データを書き込んだり、削除したくない“メモリースティック”をクリエの“メモリースティック”スロットに入れてファイル／データを読み込むときなどには、書き込み禁止にしておきます。

“メモリースティック”裏面



💡 ヒント

タブの位置や形状は、“メモリースティック”により異なる場合があります。

記録メディア内のアプリケーションを起動する

記録メディア内のアプリケーションも、クリエ本体のアプリケーションと同様に起動させることができます。クリエの電源が入っているときは、記録メディアを挿入すると自動的に記録メディア内のアプリケーションが、ホーム画面に表示されます。(一部のアプリケーションの動作時は表示されません。)

ホーム画面から記録メディア内のアプリケーションを表示する画面に切り換えるには、下記の手順で行います。

ご注意

本機付属のアプリケーションは、“メモリースティック”および内蔵メディアからの起動をサポートしていません。

💡 ヒント

- 下記の手順で起動できるアプリケーションは、記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダに保存されているアプリケーションのみです。
- “メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 CLIE 3D Launcher グループ一覧をタップして[カード]または[内蔵]を選ぶ。

記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダに保存されているアプリケーションが表示され、クリエ本体のアプリケーションと同様の方法で起動できます。

なお、[ カード]は、記録メディアに名前をつけてあると、その名前で表示されます。

ご注意

アプリケーションによっては、記録メディアから起動すると一部の機能に不具合が起きることがあります。その場合は、「CLIE Files」でクリエ本体にアプリケーションをコピーしてからお使いください。

記録メディアの情報を確認する(カード情報)

「カード情報」を使って、記録メディアの使用領域や空き領域などの情報を確認することができます。

💡 ヒント

“メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[カード情報]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「カード情報」が起動します。

💡 ヒント

[カード情報]アイコンをタップして、起動することもできます。

3 [カード]の▼をタップして、情報を確認したい記録メディアを選ぶ。

記録メディアの情報が表示されます。

カード情報	
カード: ▼  カード	
種類: Memory Stick	
サイズ: 55.5 MB の空き / 61.8 MB	
6.2 MB 使用領域	
55.5 MB の空き / 61.8 MB	
MEMORYSTICK (64M)	
SONY	
Memory Stick	
デバイス ID:	

記録メディアに名前をつける

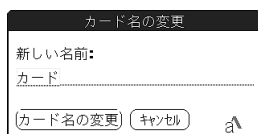
「カード情報」を使って“メモリースティック”に名前をつけることもできます。

ご注意

内蔵メディアの名前を変更することはできません。

1 “メモリースティック”をクリエに入れる。

- 2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[カード情報]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「カード情報」が起動します。
- 3 [カード]の▼をタップして、[カード]を選ぶ。
- 4 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。
- 5 [カード]メニューの[カード名の変更]をタップする。
「カード名の変更」画面が表示されます。



- 6 新しい名前を入力し、[カード名の変更]をタップする。

記録メディアを初期化する(フォーマット)

“メモリースティック”を初期化(フォーマット)する場合は、かならず「CLIE Files」または「カード情報」をお使いください。

ここでは、「CLIE Files」を使った初期化の手順について説明します。

(お買い上げ時の“メモリースティック”は初期化(フォーマット)されており、すぐにお使いいただけます)

ご注意

内蔵メディアを初期化することはできません。

- 1 “メモリースティック”をクリエに入れる。
- 2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「CLIE Files」が起動します。

💡 ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

- 3 画面右上の▼をタップして、[MS]を選ぶ。

ヒント

画面下にある  アイコンをタップして、“メモリースティック”を選ぶこともできます。

4 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

5 [ツール]メニューの[フォーマット]をタップする。

「フォーマット」画面が表示されます。

6 ▼をタップし、[MS]を選ぶ。

7 [OK]をタップする。

「名前の入力」画面が表示されます。

8 新しい名前を入力し、[OK] をタップする。

「確認」画面が表示されます。

9 [OK]をタップする。

“メモリースティック”の初期化をやめるときは

前記の手順 7、8、9 のいずれかで [OK] の代わりに [キャンセル] をタップします。

初期化(フォーマット)とは

初期化(フォーマット)とは、お使いのクリエで“メモリースティック”にファイル／データを読み書きできる状態にすることです。

ご注意

- すでにファイル／データが書き込まれている“メモリースティック”を初期化すると、そのファイル／データは消去されてしまいます。誤って大切なファイル／データを消すことがないようにご注意ください。
- クリエで使う“メモリースティック”を初期化するときは、必ずクリエで初期化してください。パソコンで初期化した“メモリースティック”をクリエで使うと、ファイル／データを正常に読み書きできない場合があります。
- 初期化中に“メモリースティック”を抜き差しすると、“メモリースティック”は認識されません。“メモリースティック”を入れ直してから、もう 1 度初期化してください。

ファイル／フォルダをコピー／移動／削除する

「CLIE Files(クリエファイルズ)」を起動する

「CLIE Files」を使って、記録メディアとクリエ本体のファイル／フォルダをコピー、移動、削除できます。

- ➡ 「CLIE Files」について詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーション マニュアル」の「CLIE Files」をご覧ください。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して【CLIE Files】アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「CLIE Files」が起動します。

💡 ヒント

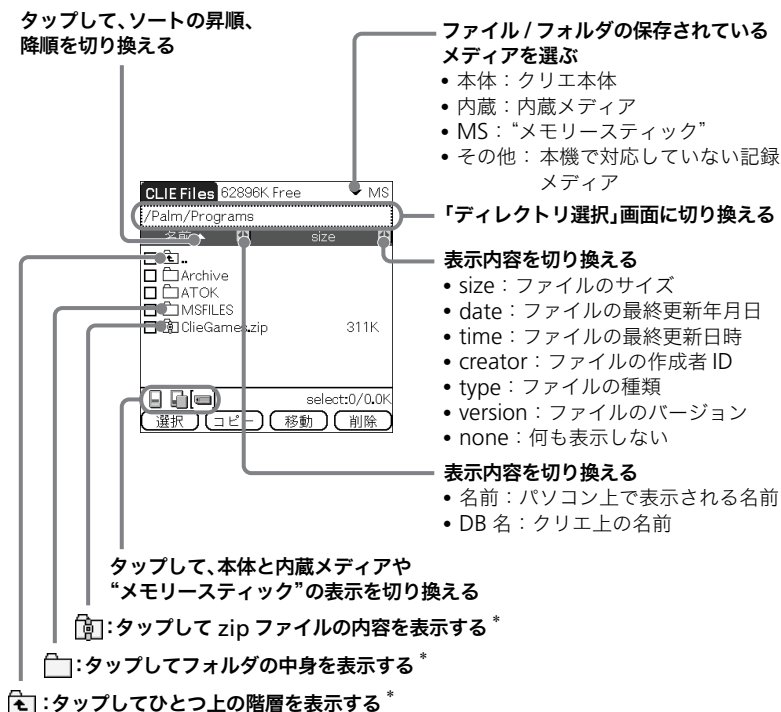
【CLIE Files】アイコンをタップして、起動することもできます。

- 2 画面右上の▼をタップして、【本体】または記録メディアを選ぶ。
選んだメディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

💡 ヒント

画面左下にある 、 または  アイコンをタップして、メディアを選ぶこともできます。

記録メディア内のファイル/フォルダを表示しているとき



* 📁、📁と📁アイコンは、記録メディア内を表示しているときに特有のものです。このアイコン以外については、「本体内のファイルを表示しているとき」と同様です。また、ジョグダイヤルを回してフォルダを選ぶことができます。

💡 ヒント

「ディレクトリ選択」画面でフォルダを選び、[OK]をタップすると選んだフォルダを表示します。また、[新規]をタップして新しいフォルダを作成したり、[リネーム]をタップしてすでにあるフォルダの名前を変更することもできます。

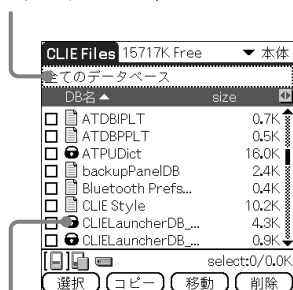
ご注意

- ディレクトリが9階層以上になる場合は階層表示されません。
- インストールのしかたによっては、クリエ本体に保存されたデータベースの最終更新日が正しく表示されない場合があります。
- クリエのバッテリー残量が少ないと、記録メディア内のファイル/フォルダを表示できない場合があります。その場合はクリエを充電するか、クレードルを取り付けてください。

クリエ本体内のファイルを表示しているとき

データベースの表示を種類別に切り換える

- 全てのデータベース
- クリエタグループ
- アプリケーション



コピー不可アイコン

「CLIE Files」でファイルを移動または削除するときのご注意

一部のファイルを「CLIE Files」で移動または削除すると、クリエ本体内のアプリケーションが動作しなくなったり、データが初期化されてしまう場合があります。お客様がファイルの一部を削除された場合にはそのアプリケーションおよびクリエ本体のデータ内容に関して保証いたしませんのでご注意ください。

特に、以下のファイルはクリエから移動または削除しないでください。

- Saved Preferences:** さまざまなアプリケーションの最終動作状態や設定が保存されています。
- Unsaved Preferences:** さまざまなアプリケーションの設定状態や、クリエ本体のユーザー情報などが保存されています。削除すると、情報を正しく HotSync できなくなる可能性があります。

- **CLIELauncherXXX**: CLIE 3D Launcher 用のデータベースファイル。
削除すると、CLIE 3D Launcher を正しく起動できなくなる場合があります。
- **NetworkDB**: ネットワーク設定のデータベースファイル。削除すると、インターネット接続などができなくなります。
- **AddressDB**: 「アドレス」のデータベースファイル *
- **DatebookDB**: 「予定表」のデータベースファイル *
- **MemoDB**: 「メモ帳」のデータベースファイル *
- **ToDoDB**: 「To Do」のデータベースファイル *

* これらのデータベースファイルは、記録メディアにコピーしてバックアップすることができます。ただし、バックアップしたファイルをクリエ本体に戻すと、クリエに保存されているファイルはバックアップをとった時点の情報で上書きされます。バックアップ後にクリエで追加、編集した情報は消えてしまいますので、ご注意ください。

ご注意

クリエのバッテリー残量が少ないと、記録メディア内のファイル／フォルダを表示できない場合があります。その際はクリエを充電するか、クレードルを取り付けてください。

クリエのファイルを記録メディアにコピーする

HotSync でパソコンにファイルを保存するだけでなく、「CLIE Files」を使ってクリエ内のファイルを記録メディアに保存できます。

ご注意

- ファイルのコピーは電力を消費するため、バッテリー残量が少ないときは記録メディアが使えません。その場合はクレードルを取り付けて操作してください。
- ファイルのコピーまたは移動中に赤外線通信を受信すると、コピーが中断されます。コピーしている間は、赤外線を受信しないでください。
- 記録メディアは、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。また、ファイルのコピーまたは移動中は絶対に記録メディアを取り出さないでください。
- コピーまたは移動が中断されると、無効なファイルがコピー先または移動先に残っている場合があります。再度同じ操作を行ったときに上書きを確認する画面が表示された場合は、[はい]または[すべて上書き]をタップしてください。

💡 ヒント

“メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「CLIE Files」が起動します。

💡 ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

2 画面右上の▼をタップして、[本体]を選ぶ。

クリエ本体内のファイルの一覧が表示されます。



3 コピーしたいファイルの ☐ をタップして ☒ にする。

複数のファイルをタップして選ぶこともできます。

ご注意



(コピー不可)アイコンのついているファイルはコピーできません。

4 [コピー]をタップする。

「ディレクトリ選択」画面が表示されます。

5 記録メディアのフォルダをタップして選ぶ。

記録メディアに新しくフォルダを作りたい場合は[新規]をタップしてフォルダ名を入力したあと、作成されたフォルダをタップしてください。

[リネーム]をタップして、すでにあるフォルダの名前を変更することもできます。

6 [OK]をタップする。

手順 5 で選んだ場所にファイルがコピーされます。

すべてのファイルをまとめてコピーしたいときは

前記の手順 3 で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイルの選択を解除したいときは

- すべて解除したいとき: [選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- 選んだものだけ解除したいとき: 選んだファイルをもう 1 度タップします。

指定したファイル以外を選びたいときは

前記の手順 3 のあとに[選択]をタップして[選択反転]をタップします。☒と☐の選択が反転します。

クリエのファイルを記録メディアに移動したいときは

クリエのメモリの空き容量が少なくなっている場合には、ファイルをコピーするのではなく、記録メディアに移動すると便利です。

1 前記の手順 4 で[移動]をタップする。

クリエ内のファイルが記録メディア内に移動し、保存されます。

記録メディアのファイルをクリエにコピーする

記録メディアに保存してあるファイルを、「CLIE Files」を使ってクリエ本体にコピーできます。コピー前に、クリエ本体のメモリの空き容量を確認してください。

💡 ヒント

- 記録メディア内の別のフォルダへコピーすることもできます。
- “メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して [CLIE Files] アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

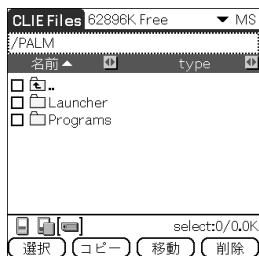
「CLIE Files」が起動します。

💡 ヒント

[CLIE Files] アイコンをタップして、起動することもできます。

2 画面右上の▼をタップして、記録メディアを選ぶ。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。



3 コピーしたいファイルの□をタップして☑にする。

複数のファイルをタップして選ぶこともできます。

4 [コピー]をタップする。

「ディレクトリ選択」画面が表示されます。

5 [本体]を選ぶ。

6 [OK]をタップする。

クリエ本体にファイルがコピーされます。

すべてのファイルをまとめてコピーしたいときは

前記の手順 3 で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイルの選択を解除したいときは

- すべて解除したいとき:[選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- 選んだものだけ解除したいとき:選んだファイルをもう 1 度タップします。

コピー元のフォルダを変更したいときは

 や  アイコンをタップしてコピー元をしたいフォルダを選択します。作業中のフォルダ欄の表示が切り換わり、コピー元のフォルダが変更できます。

記録メディア内のファイルをクリエに移動したいときは

記録メディアのファイルをクリエ本体にコピーするのではなく、ファイルを移動させることもできます。

1 前記の手順 4 で[移動]をタップする。

記録メディア内のファイルは削除され、クリエ本体にファイルが保存されます。

ご注意

記録メディアからクリエ本体にコピーされたファイルには、HotSync でパソコンにバックアップされないものがあります。

記録メディアのファイル/フォルダを削除する

記録メディアに保存してあるファイル/フォルダのうち、不要なものを「CLIE Files」を使って削除できます。

ヒント

“メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

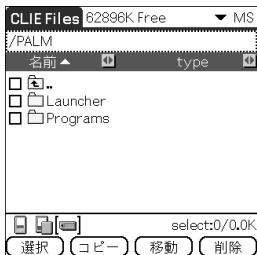
「CLIE Files」が起動します。

🔔 ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

2 画面右上の▼をタップして、削除したいファイル/フォルダを保存している記録メディアを選ぶ。

記録メディア内のファイル/フォルダの一覧が表示されます。



3 削除したいファイル/フォルダの□をタップして☑にする。

4 [削除]をタップする。

「ファイルの削除」画面が表示されます。

5 [OK]をタップする。

手順3で選んだファイル/フォルダが削除されます。

すべてのファイル/フォルダをまとめて削除したいときは

前記の手順3で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイル/フォルダの選択を解除したいときは

- すべて解除したいとき:[選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- 選んだものだけ解除したいとき:選んだファイル/フォルダをもう1度タップします。

削除元のフォルダを変更したいときは

📁 や 📂 アイコンをタップして削除したいフォルダを選択します。作業中のフォルダ欄の表示が切り換わり、削除元のフォルダが変更できます。

Zip 形式のファイルを解凍する

Zip 形式で圧縮されたファイルをクリエ本体で解凍することができます。

「NetFront v3.0 for CLIE」でダウンロードした Zip ファイルや、「CLIE Mail」の受信メールに添付された Zip ファイルを、パソコンに移動せずに解凍して使うことができます。

💡 ヒント

“メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「CLIE Files」が起動します。

💡 ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

- 2 画面右上の▼をタップして、Zip ファイルを保存している記録メディアを選ぶ。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

Zip ファイルは  アイコンで表示されています。



💡 ヒント

- ・「NetFront v3.0 for CLIE」でダウンロードした Zip ファイルは、記録メディアの「/Palm/Programs/Archive」フォルダに保存されています。
- ・「CLIE Mail」の受信メールに添付された Zip ファイルは、記録メディアの「/Palm/Programs/MSFILES」フォルダに保存されています。

3 解凍したい Zip ファイルをタップする。

Zip ファイルの内容が表示されます。



4 解凍したいファイルの ☐ をタップして ☒ にする。

複数のファイルをタップして選ぶこともできます。

5 [解凍]をタップする。

「ディレクトリ選択」画面が表示されます。

6 解凍するファイルの保存先をタップして選ぶ。

クリエ本体に保存することもできます。

ご注意

クリエ本体に保存できないファイルの場合は、エラーメッセージが表示され、保存できません。

7 [OK]をタップする。

ファイルが解凍され、前記の手順 6 で選んだ保存先に保存されます。

💡 ヒント

ファイルの状態が以下のアイコンで表示されます。



: 正常に解凍されたファイル



: 解凍できなかったファイル



: 解凍をスキップしたファイル

8 [閉じる]をタップする。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧画面に戻ります。

すべてのファイルをまとめて解凍したいときは

前記の手順 4 で [選択] をタップして [全て選択] をタップします。

ファイルの選択を解除したいときは

- すべて解除したいとき: [選択] をタップして [選択解除] をタップします。
- 選んだものだけ解除したいとき: 選んだファイルをもう 1 度タップします。

指定したファイル以外を選びたいときは

前記の手順 4 のあとに [選択] をタップして [選択反転] をタップします。

☐ と ☒ の選択が逆転します。

「CLIE Files」のメニュー項目

ここでは、「CLIE Files」固有のメニュー項目を説明します。

共通のメニュー項目については、「共通メニュー項目」(37 ページ) をご覧ください。

[ツール]メニュー

フォーマット	クリエに挿入した“メモリースティック”をフォーマット (初期化) します。 フォーマットすると“メモリースティック”内のすべてのファイル/フォルダが消去されますのでご注意ください。 ➡ 詳しくは、「記録メディアを初期化する (フォーマット)」 (154 ページ) をご覧ください。
メディア情報	クリエ本体または記録メディアの容量やボリュームラベルなどの情報を表示します。
ディレクトリ作成	現在選択している記録メディアのフォルダの下層に新しくフォルダを作成します (記録メディア選択時のみ)。
リネーム	現在選択しているフォルダまたはファイルの名前を変更します (記録メディア選択時のみ)。
バージョン情報	「CLIE Files」のバージョン情報を表示します。

「CLIE Files」を使わずにアプリケーションを交換する

ホーム画面のメニューを使って、クリエ本体と記録メディアの間や、“メモリースティック”と内蔵メディアの間でアプリケーションをコピーすることができます。ただし、アプリケーションによっては不具合が生じることがありますので、以下の点にご注意ください。

- この方法で記録メディアにコピーできるのは、アプリケーションのみです。アプリケーションに関連するファイルなどはコピーすることができません。
- 記録メディアに保存したアプリケーション以外のファイル(画像ファイルなど)は表示できません。

ご注意

- 本機付属のアプリケーションは、“メモリースティック”および内蔵メディアからの起動をサポートしていません。
-  (コピー不可)アイコンのついているファイルはコピーできません。

💡 ヒント

“メモリースティック”を使用する場合は、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。

- 1** ホーム画面で、メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。
- 2** 【CLIE 3D Launcher】メニューの【コピー】をタップする。
「コピー」画面が表示されます。
- 3** コピー先の▼をタップして、アプリケーションの保存先にしたい【本体】または記録メディアを選ぶ。
- 4** コピー元の▼をタップして、コピーしたいアプリケーションが保存されている記録メディアまたは【本体】を選ぶ。
- 5** コピーしたいアプリケーションをタップする。
- 6** 【コピー】をタップする。
選択したアプリケーションがクリエまたは記録メディアにコピーされます。

記録メディアからアプリケーションを起動するときの ご注意

HotSync で記録メディアにアプリケーションをインストールした場合、以下の点にご注意ください。

- 本機付属のアプリケーションは、“メモリースティック”および内蔵メディアからの起動をサポートしていません。
- アプリケーションに関連するファイル(画像ファイル、動画ファイルなど)を開けない場合があります。
- アプリケーションで開くことのできないファイルを記録メディアにインストールしたときは、「CLIE Files」を使って、ファイルをクリエ本体に移動させるか、削除してください。

💡 ヒント

HotSync で記録メディアに .prc、.pdb ファイルをインストールしたときの保存先は「/Palm/Launcher」フォルダです。

赤外線通信機能を使う

この章では、赤外線通信を使って、仲間とアプリケーションやデータなどの情報を交換する方法について説明します。

赤外線でデータやアプリケーションを 交換する	172
赤外線通信機能でできること	172
データやアプリケーションを赤外線通信で 送信する	173
データやアプリケーションを赤外線通信で 受信する	174

赤外線でデータやアプリケーションを交換する

赤外線通信機能でできること

クリエには、赤外線通信機能を装備した他の Palm OS 搭載機器などと赤外線を使ってデータやアプリケーションを送受信するための、赤外線通信ポートが装備されています。クリエ本体左部の小さな黒いつやのあるプラスチック部分が、赤外線通信ポートです。



赤外線通信ポート

クリエに保存されている以下のデータやアプリケーションを、赤外線通信ポートを装備した他の Palm OS 搭載機器に赤外線送信できます。

- **名刺**: 名刺として指定したアドレスのデータ。友人にワンタッチで名刺データを送信できるので便利です。
- **「アドレス」や「予定表」、「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションのデータ**: クリエで現在選択しているデータ。共通の知人の住所などの情報を赤外線送信したいときに便利です。
- **「アドレス」や「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションで現在表示されているカテゴリのすべてのデータ**: クリエで現在選択しているカテゴリに分類されているすべてのデータ。取引先やサークルのメンバーなどのリストをまとめて赤外線送信したいときなどに便利です。
- **クリエに追加インストールしたアプリケーション**

ご注意

アプリケーションの中には、コピーを禁止されているものがあります。これらのアプリケーションの横には、コピー禁止を示す  アイコンが表示されています。

データやアプリケーションを赤外線通信で送信する

- 1 アプリケーションを起動して、送信したいデータまたはカテゴリ、名刺を表示させる。
- 2 メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。
- 3 以下のいずれかをタップして選ぶ。
 - [*** (アプリケーション名) の赤外線通信]
 - [カテゴリの赤外線通信]
 - [名刺の赤外線通信]

ヒント

名刺の赤外線通信は、[アドレス]をアプリケーションボタンに登録すると、登録したボタンを約 2 秒押し続けることによって実行できます。

- 4 「赤外線通信」画面が表示されるので、赤外線通信ポートを送信先の Palm OS 搭載機器にまっすぐ向ける。

送信が完了すると、「赤外線通信」画面にメッセージが表示されます。



(赤外線通信ポートの位置は機種によって異なります)

データやアプリケーションを正しく送受信するには、機器間の距離を 10 ～ 20cm にして、2 台のあいだの障害物を取り除きます。ただし、機器間の相性によって最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。

アプリケーションを赤外線通信で送信するには

- 1 ホーム画面で、メニュー  アイコンをタップする。
メニューが表示されます。
- 2 [CLIE 3D Launcher]メニューの[赤外線通信]をタップする。
「赤外線通信」画面が表示されます。
- 3 [本体]をタップして、通信元を選ぶ。
目的のアプリケーションがクリエに保存されているときは[本体]を、記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダに保存されているときは[ カード]
または[ 内蔵]を選びます。
- 4 目的のアプリケーション名をタップする。
アプリケーションの中には、コピーを禁止されているものがあります。これらのアプリケーションの横には、コピー禁止を示す  アイコンが表示されています。
- 5 [赤外線通信]をタップする。
送信が完了すると「赤外線通信」画面に、メッセージが表示されます。

データやアプリケーションを赤外線通信で受信する

- 1 クリエの電源を入れ、赤外線通信ポートを送信元の機器の赤外線通信ポートにまっすぐ向ける。
「赤外線通信」画面が表示され、赤外線通信が始まります。
- 2 受信したデータやアプリケーションを保存するカテゴリを選ぶ。
受信したデータやアプリケーションのカテゴリは、[未分類]になっています。
新しいカテゴリを作成して、受信したデータやアプリケーションを保存したり、未分類のまま保存しておくこともできます。
- 3 [はい]をタップする。
データやアプリケーションが保存されます。

ご注意

「環境設定」画面の[一般]で、[赤外線通信の受信]が[オフ]になっていると受信できません。受信するときは[オン]にしておいてください。

Bluetooth 機能を使う

この章では、Bluetooth 機能を使って、仲間とファイル／データなどの情報を交換したり、インターネットに接続したりする方法について説明します。

Bluetooth でファイル／データを 交換する	176
Bluetooth 機能でできること	176
Bluetooth 機能対応のクリエにファイル／ データを送信する	176
パソコンとワイヤレスで HotSync する	178
Bluetooth 機能対応の携帯電話を使って インターネットに接続する	179
準備する	179
インターネットに接続する	183

Bluetooth でファイル／データを交換する

Bluetooth 機能でできること

クリエに内蔵の Bluetooth 機能を使うと、身近な範囲 (約 10m) にある他の Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス通信により、画像や予定表のファイル／データを送信したり、インターネットに接続したりすることができます。

Bluetooth 機能対応のクリエにファイル／データを送信する

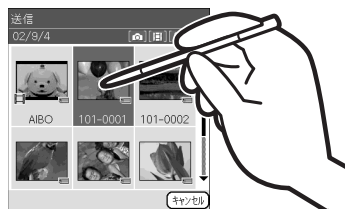
Bluetooth 機能を内蔵したクリエや、別売りの Bluetooth モジュールを装着したクリエに、画像や予定表などのファイル／データを送信することができます。



1 送信したいファイル／データを選択する。

① 静止画／動画、音声メモや手書きメモを送信する場合

「CLIE Viewer」を起動して、メニュー  アイコンをタップし、表示された[データ]メニューから[送信...]を選んだあと、送信したいファイルをタップしてください。



ヒント

静止画を送信する場合は

「経由して送信」画面が表示されたら、お好みの送信方法を選択します。
(お使いの環境によっては、この画面は表示されません)



送信方法の例

Bluetooth (BIP): 送信先の機器に最適化した画像を送るための送信方法です。

② 予定表やアドレスのデータを送信する場合

送信したい予定やアドレスをタップしたあと、メニュー  アイコンをタップし、表示されたメニューから「予定の送信」(「予定表」の場合)、または「アドレスの送信」(「アドレス」の場合)を選んでください。

2 ファイル/データを送信する。

「Bluetooth デバイスの探索」画面が表示されたあと、身近な範囲にある通信可能なクリエが「探索結果」画面に表示されるので、送信先になるクリエをタップして選んでください。

双方のクリエの画面上に「Bluetooth の接続状況」画面が表示されたら、画面の指示に従ってください。

💡 ヒント

クリエから接続対象機器を 1 度探索したあと、接続対象機器の Bluetooth デバイス名を変更した場合は、次回のデバイス探索で古いデバイス名が表示されることがあります。

この場合は、次の手順で操作してください。

- ① Bluetooth の設定画面 (92 ページ) を開き、メニュー  アイコンをタップする。
- ② 表示された [オプション] メニューの [デバイス名キャッシュの無効化] をタップする。
- ③ 再度デバイス探索を行う。

ご注意

受信したファイル／データを閲覧したり利用するためには、それぞれのファイル／データの形式に適したアプリケーションをあらかじめインストールしておく必要があります。

パソコンとワイヤレスで HotSync する

Bluetooth 機能搭載のパソコンをお使いの場合、クリエとパソコンを接続せずに、ワイヤレスで HotSync することができます。

➡ 詳しくは、「Bluetooth で HotSync する」(135 ページ)をご覧ください。

Bluetooth 機能対応の携帯電話を 使ってインターネットに接続する

クリエと Bluetooth 機能対応の携帯電話をワイヤレスで通信させて、クリエでホームページを見たり、電子メールを送受信したりすることができます。

準備する

Bluetooth 機能対応の携帯電話を通してインターネットに接続するには、以下の準備が必要です。

① 接続方法を設定する／通信相手を登録する

② ネットワークを設定する

💡 ヒント

通信相手の登録とは

クリエと Bluetooth 機能対応の携帯電話との間で Bluetooth 通信を行うときには、あらかじめ共通のパスキーを入力することにより通信相手を登録しておきます。

① 接続方法を設定する／通信相手を登録する

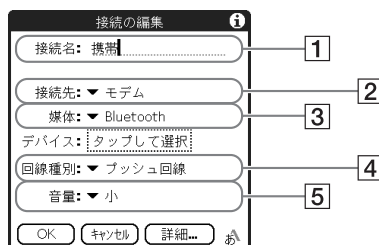
Bluetooth 通信を行うための接続方法と通信相手を、クリエに設定します。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[接続]を選ぶ。

「使用できる設定」の一覧が表示されます。

2 [新規]をタップする。

「接続の編集」画面が表示されます。



- 1 **接続名:** お好みに応じて、接続方法に名称を設定できます。「カスタム」の部分に接続名を入力します。
- 2 **接続先:** ▼をタップして、[モデム]を選びます。
- 3 **媒体:** ▼をタップして、[Bluetooth]を選びます。
- 4 **回線種別:** 使用する回線の種類を選びます。通常は[プッシュ回線]を選びます。
- 5 **音量:** 接続時のスピーカーの音量を選びます。

3 [タップして選択]をタップする。

クリエの周囲にある Bluetooth 機能対応機器の探索が始まります。

探索が終了すると「探索結果」画面に、見つかった Bluetooth 機能対応機器(ここでは携帯電話)が表示されます。



4 登録したい携帯電話のデバイス名を選び、[OK]をタップする。

「登録済みデバイスの追加」画面が表示されます。



5 [はい]をタップする。

携帯電話の画面に「パスキー入力」画面が表示されます。

💡 ヒント

パスキーとは

パスキーは、2 台の Bluetooth 機能対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。同一の英数字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力さえすれば、毎回異なったパスキーを用いても構いません。なお、1 度接続が許可されると、あらかじめ設定された期間内はパスキーを入力しなくても接続できます。

6 携帯電話にパスキーを入力して[OK]をクリックする。

クリエに「認証」画面が表示されます。

7 手順 6 と同じパスキーをクリエに入力し、[OK]をタップする。

「使用できる設定」の一覧に手順 2 で入力した接続名の名称が追加されていれば、準備は完了です。

💡 ヒント

- 携帯電話の機種によっては、「パスキー入力」の画面表示順が上記の操作手順と異なる場合や画面が表示されない場合があります。表示された画面に従って、必要に応じてパスキーの入力を行ってください。
- 電波状況により探索、接続に時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機能対応の携帯電話の探索に時間がかかるような場合は、探索画面で[キャンセル]をタップし、もう 1 度探索し直してください。
また探索の結果、Bluetooth 機能対応の携帯電話が見つからなかった場合は、もう 1 度探索し直してください。

ご注意

Bluetooth 機能対応の携帯電話の機能によっては、パスキーによる認証を行わなくても他の機器と接続することができます。そのため、パスキーによる認証を行ってセキュリティを確保しないと、周囲にいる他のユーザーによって無断で携帯電話を経由してインターネットに接続されるおそれがあります。

② ネットワークを設定する

クリエの「環境設定」画面で、プロバイダの設定を行います。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、「ネットワーク」を選ぶ。

2 プロバイダの情報を入力する。

The screenshot shows the 'Environment Settings' screen with the 'Network' tab selected. The fields and their corresponding callouts are:

- 1: Service (サービス: So-net)
- 2: Username (ユーザ名)
- 3: Password (パスワード: 未設定)
- 4: Connection (接続: 標準モデム)
- 5: Phone Number (電話番号: タップして入力)

At the bottom, there are buttons for '詳細...' (Details) and '接続' (Connect), and a small icon on the right.

① サービス

使用するサービス(プロバイダ名)を選びます。

リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、[サービス]メニューから[新規]を選んで、好みのサービス名を入力することもできます。

② ユーザ名

プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

③ パスワード

プロバイダと契約したときに登録したパスワードを入力します。

④ 接続

「① 接続方法を設定する／通信相手を登録する」(179 ページ)の手順 2 ① で設定した接続名を選んでください。

⑤ 電話番号

プロバイダから指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

💡 ヒント

お使いの携帯電話によっては、「#32」などのオプション番号が必要な場合があります。

➡ 詳しくは、プロバイダおよび電話会社へお問い合わせください。

インターネットに接続する

- 1 携帯電話の Bluetooth 機能をオンにする。
操作について詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2 クリエのホーム画面で、目的のアプリケーションを起動する。
- 3 ホームページの閲覧やメールの送受信を開始する。
自動的にインターネットに接続します。

インターネットに接続できなかったときは

クリエで「環境設定」画面右上の▼をタップして[ネットワーク]を選び、画面下の[接続]をタップしてください。

それでも接続できないときは、「準備する」(179 ページ)の手順で、Bluetooth 機能対応の携帯電話を登録し直してください。

インターネットの接続を切断するには

- 1 起動しているアプリケーションで、インターネットへの接続を切断する。
▶接続を切断する操作について詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」のそれぞれのアプリケーションをご覧ください。
- 2 携帯電話の Bluetooth 機能をオフにする。

ヒント

クリエと携帯電話の Bluetooth 接続は、クリエでインターネットへの接続を切断すると自動的に切断されます。

計算機、辞書、 検索機能を使う

この章では、入力した情報を効率よく検索するための方法や、計算機、辞書の使いかたなどを説明しています。

計算機として使う(電卓)	186
「電卓」で計算する	186
計算補助ボタンの機能	187
「電卓」のメニュー項目	188
辞書を引く(辞書)	189
「辞書」でできること	189
「辞書」の使いかた	189
データを検索する	190
文字で検索する	190

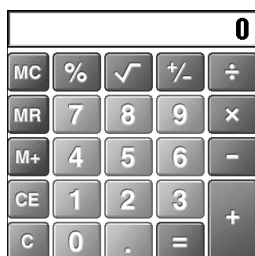
計算機として使う(電卓)

「電卓」で計算する

「電卓」では、基本的な計算ができます。また、数値を電卓メモリに保存したり、電卓メモリから呼び出したりできます。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[電卓]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「電卓」が起動します。



ヒント

[電卓]アイコンをタップして、起動することもできます。

- 2 計算する。

電卓機能を使うには、スタイラスで、画面に表示されている数字や計算記号のアイコンをタップします。

計算補助ボタンの機能

「電卓」には、計算に役立つ数種類のボタンが用意されています。

CE	最後に入力した数値だけをクリアします。 計算中に数値の入力ミスをしたときに使います。数値を再入力できるので、計算を最初からやり直す必要がありません。
C	現在の計算をクリアして、新しい計算を始めます。
+ / -	表示中の数値を正(プラス)または負(マイナス)に切り換えます。負の値を入力するには、先に数値を入力してから、このボタンをタップします。
M +	表示中の数値をメモリに追加します。 このボタンを使って入力した数値は、メモリ内の数値の合計に加算されます。メモリには、計算値または数値ボタンをタップして入力した数値のどちらでも追加できます。 このボタンをタップすると、呼び出すまで数値がメモリ内に置かれるだけで、現在の計算または一連の計算には反映されません。
MR	メモリに保存されている数値を呼び出して、現在の計算に挿入します。
MC	メモリに保存されているすべての数値をクリアします。
$\sqrt{\quad}$	表示中の数値の平方根(ルート)を求めます。 先に数値を入力してから、このボタンをタップします。

「電卓」のメニュー項目

【編集】メニュー

コピー	電卓の数値をコピーして、別のアプリケーションに貼り付けることができます。
貼り付け	メモ帳などの別のアプリケーションでコピーした数値を、電卓に貼り付けることができます。

【オプション】メニュー

計算式の確認	最近行った計算の内容を確認できます。計算内容をあとから確認したいときなどに便利です。 (アプリケーションを終了すると計算内容はクリアされます。)
バージョン 情報	電卓のバージョン情報を表示します。

辞書を引く(辞書)

「辞書」でできること

単語を調べる

「辞書」を使って、単語を調べることができます。クリエには、英和辞典と和英辞典の辞書データが付属しています。また、「メモ帳」などのアプリケーションのメニューから「辞書」を起動させることもできます。

辞書データはインストールが必要です

辞書を使うには、付属の CD-ROM から辞書データを、クリエや記録メディアなどにインストールする必要があります。

- ➡ 辞書データのインストール方法について詳しくは、パソコンで見る「クリエアプリケーションマニュアル」の「辞書」をご覧ください。

「辞書」の使いかた

- ➡ 「辞書」の使いかたについて詳しくは、パソコンで見る「クリエアプリケーションマニュアル」の「辞書」をご覧ください。

データを検索する

文字で検索する

検索する単語の全体、またははじめの何文字かを指定して、クリエに記録されている「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」など各アプリケーション内のデータを検索できます。なお、検索結果はアプリケーション別に表示されます。「入力した覚えはあるけれども、どのアプリケーションに入力したのかを思い出せない」といったときに便利です。

ご注意

一部のアプリケーション内のデータには対応していません。

1 検索 アイコンをタップする。

「検索」画面が表示されます。



2 検索したい文字列を入力する。

日本語、アルファベット、記号、数字、全角および半角の文字が、検索対象として使用できます。

3 [OK]をタップする。

検索が始まり、入力した文字列を含む単語すべての検索結果一覧が表示されます。各データに追加した添付コメントも、検索対象になります。



4 検索結果から目的のデータを探して、タップする。

データを登録しているアプリケーションが自動的に起動して、データの内容が表示されます。

検索を途中で中止したいときは

検索中に[中止]をタップしてから、[閉じる]をタップします。

検索を再開したいときは、[続行]をタップします。

ご注意

クリエの検索機能では、英文の大文字と小文字は区別されません。例えば、「sony」という単語を指定すると、「Sony」も検索されます。

💡 ヒント

クリエのアプリケーションで文字列を選んでから検索🔍アイコンをタップすると、「検索」画面に選んだ文字列が自動的に表示されます。

クリエのデータや アプリケーションを バックアップする

この章ではクリエに入っているデータやアプリケーションのバックアップの方法について説明します。

クリエのデータやアプリケーションを バックアップする.....	194
HotSync でパソコン上にデータや アプリケーションをバックアップする...	194

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

クリエのデータやアプリケーションは、HotSync でパソコンに保存して控えをとる（バックアップする）ことができます。

HotSync でパソコン上にデータやアプリケーションをバックアップする

標準設定では、以下のデータやアプリケーションが HotSync でパソコンにバックアップされます。

- メモ帳
- アドレス
- To Do
- 予定表
- 環境設定のデータ
- HotSync によってインストールしたアプリケーション
- HotSync したときのユーザーの情報

バックアップされたデータやアプリケーションは次回に HotSync したときにクリエのデータやアプリケーションと比較され、新しい方が有効となります。クリエをハードリセットした場合にはクリエのデータやアプリケーションはすべてお買い上げ時の状態に戻りますが、HotSync を行えば、前回の HotSync でバックアップされたデータやアプリケーションのみ、バックアップした時点の状態に戻すことができます。

なお、内蔵メディアに保存したデータやアプリケーションは、ハードリセットしても消去されずに残ります。

ご注意

- あとからインストールされたアプリケーションや、インストール後にアプリケーションが生成したデータの一部は、バックアップできない場合があります。特に赤外線通信や、“メモリースティック”によってインストールしたアプリケーションやデータは、HotSync ではバックアップできません。
 - HotSync でデータを復元する場合は、ハードリセットを行った後、すみやかに HotSync を実行してください。HotSync を実行する前にクリエ上でデータを作成した場合、データ復元時にデータが失われる場合があります。
 - 「HotSync 機能の動作設定」画面で設定を変更した場合は、バックアップができないことがあります。[ファイルを同期]以外の設定が選ばれているアプリケーションは、HotSync によってバックアップおよびその後のデータの復元はできません。
- ➡ 「HotSync 機能の動作設定」画面と設定について詳しくは、「HotSync 時の動作を設定する(コンジット)」(128 ページ)をご覧ください。

💡 ヒント

ファイル単位のバックアップやリストアについては「CLIE Files」のコピー機能をお使いください。

- ➡ 「CLIE Files」の使いかたについて詳しくは、「ファイル/フォルダをコピー/移動/削除する」(156 ページ)をご覧ください。

パスワードでデータを保護する

この章では、クリエに所有者の情報を入力したり、パスワードを設定してデータを保護する方法について説明しています。

所有者の情報を入力する	198
クリエをパスワードでロックする	200
ロックしてから電源を切る	200
自動的にロックする	202
データを保護する	203
パスワードを設定する	203
パスワードを変更／削除する	204
プライベートデータを表示しないように 設定する	205

所有者の情報を入力する

クリエの所有者の名前や会社名、電話番号などの情報を入力できます。

クリエをロックした場合は、次に電源を入れたときにホーム画面やアプリケーションの画面ではなく、所有者の情報が表示されるようになります。

- ➡ **ロックについて詳しくは**、「クリエをパスワードでロックする」(200 ページ)をご覧ください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

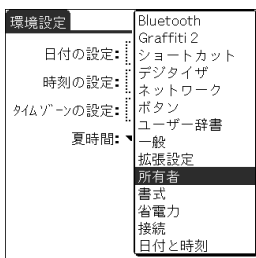
「環境設定」画面が表示されます。

💡 ヒント

[環境設定]アイコンをタップして、「環境設定」画面を表示することもできます。

2 右上の▼をタップして、[所有者]を選ぶ。

「環境設定」画面の[所有者]が表示されます。



3 所有者情報を入力する。

入力した文字列が画面に収まりきらない場合は、画面右にスクロールバーが表示されます。

A screenshot of the '所有者' (Owner) information input screen. The top bar shows '環境設定' and a dropdown menu for '所有者'. Below this, there's a section titled '所有者:' followed by several lines of text input. The first line contains 'ソニー株式会社' and the second line contains '東京都品川区北品川6-7-35'. A scroll bar is visible on the right side of the input area, indicating that the text can be scrolled horizontally. At the bottom right, there's a small icon of a hand with a checkmark.

すでに「データ保護」でパスワードを設定している場合は

データ保護(203 ページ)を先に行った場合、所有者の情報はクリエ本体をロック(200 ページ)していなくても保護されているため、所有者情報を入力／編集できません。所有者の情報を入力／編集するには、以下の手順で操作します。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「環境設定」画面が表示されます。

ヒント

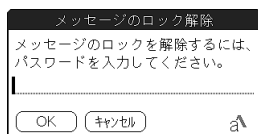
[環境設定]アイコンをタップして、「環境設定」画面を表示することもできます。

- 2 右上の▼をタップして、[所有者]を選ぶ。

「環境設定」画面の[所有者]が表示されます。

- 3 [ロック解除]をタップする。

「メッセージのロック解除」画面が表示されます。



- 4 データ保護で設定したパスワードを入力してから、[OK]をタップする。

➡ パスワードの設定のしかたについて詳しくは、「パスワードを設定する」(203 ページ)をご覧ください。

クリエをパスワードでロックする

「クリエをロックする」とは、クリエにパスワードを設定して、電源を入れてもパスワードを入力しなければクリエを使用できないようにすることです。

ご注意

クリエをロックした状態で起動するには、正しいパスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場合は、ハードリセットを行う必要がありますが、ハードリセットを行うとお買い上げ後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータがすべて削除されてしまいます (HotSync でバックアップ済みのアプリケーションやデータは復元できます。また、内蔵メディアに保存したアプリケーションやデータは消去されずに残ります)。あらかじめご注意ください。

- ➡ **クリエのリセットのしかたについて詳しくは、別冊「はじめにお読みください (取扱説明書)」の「クリエの基本操作: 本機を再起動する」をご覧ください。**

ロックしてから電源を切る

ロックをして、その場で電源を切ります。以後、クリエを起動するには正しいパスワードを入力する必要があります。

1 クリエとパソコンを HotSync して、アプリケーションやデータのバックアップをパソコンに作成する。

- ➡ **HotSync 機能について詳しくは、「HotSync でパソコン上にデータやアプリケーションをバックアップする」(194 ページ)をご覧ください。**

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

データ保護

パスワード:
未設定

本体の自動ロック:
ロックなし

現在の設定:
▼ データを表示

電源オフ&ロック... ヘルプ

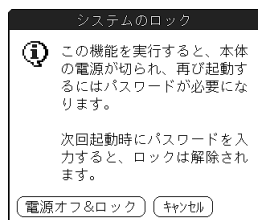
💡 ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

- 3 「パスワードを設定する」(203 ページ)の手順に従って、パスワードを設定する。

- 4 [電源オフ&ロック]をタップする。

「システムのロック」画面が表示されます。



- 5 [電源オフ&ロック]をタップする。

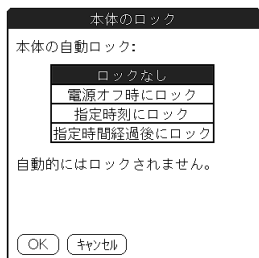
クリエがロックされた状態で、電源が切れます。

以後、クリエの電源を入れたあとにパスワードを入力しないと、クリエが使えない状態になります。

自動的にロックする

指定時刻に自動でロックがかかるようにしたり、指定の時間が経過したあとに自動的にロックすることができます。

- 1 「ロックしてから電源を切る」(200 ページ)の手順 1 から 3 を行う。
- 2 [ロックなし]をタップする。
「パスワード」画面が表示されます。
- 3 パスワードを入力してから、[OK]をタップする。
「本体のロック」画面が表示されます。
- 4 [本体の自動ロック]メニューの中から、目的に合った項目をタップして選ぶ。
 - **ロックなし**: 自動的にはロックされません。
 - **電源オフ時にロック**: 電源を切るときに自動的にロックします。
 - **指定時刻にロック**: 設定した時刻にロックします。ロックする時刻の設定を行ってください。
 - **指定時間経過後にロック**: 設定した時間が経過する間に操作をしないと、自動的にロックします。



- 5 [OK]をタップする。

データを保護する

クリエにパスワードを設定して、入力したデータを他の人に見られないように保護できます。また、プライベートデータとして登録したデータは、パスワードを入力する／しないにかかわらず、通常の状態では表示しないように設定することもできます。

パスワードを設定する

パスワードを設定して、プライベートデータを保護(データを非表示／データをマスク)したり、クリエをロックしたりすることができます。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。
「データ保護」画面が表示されます。

💡 ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

- 2 [- 未設定 -]をタップする。
「パスワード」画面が表示されます。

- 3 パスワードを入力する。
パスワードは 1 字以上 29 字以内の英数字で入力してください。
- 4 [OK]をタップする。
確認画面が表示されます。

- 5 手順3で入力したパスワードをもう一度入力してから、[OK]をタップする。

手順2の[- 未設定 -]が[- 設定済み -]に変わり、クリエのパスワードが設定されます。

ヒント

手順3でヒントを入力することができます。ヒントはパスワードを間違えたときに表示されます。パスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

パスワードを変更／削除する

設定したパスワードを変更したり、削除したりできます。

- 1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

- 2 [- 設定済み -]をタップする。

「パスワード」画面が表示されます。

- 3 現在のパスワードを入力してから、[OK]をタップする。

新しいパスワードを入力する画面が表示されます。

- 4 パスワードを変更したいときは、新しいパスワードを入力してから[OK]をタップする。

パスワードを削除したいときは、[未設定]をタップします。

パスワードを忘れてしまったときは

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを強制的に削除できます。ただし、パスワードを強制的に削除すると、すべてのプライベートデータが削除されてしまいます (HotSync することで、パソコンにバックアップ済みのデータは復元できます)。

1 前記の手順 2 で、[忘れた場合]をタップする。

「パスワードの削除」画面が表示されます。

2 [はい]をタップする。

パスワードとすべてのプライベートデータが削除されます。

プライベートデータを表示しないように設定する

「アドレス」や「メモ帳」などのアプリケーションでプライベートデータとして設定したデータを、表示しないように設定できます。この場合、プライベートデータを表示するためにはパスワードを入力する必要があります。なお、プライベートデータを表示しないように設定していても、データは保存されています。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

2 [現在の設定]の▼をタップして、[データを非表示]または[データをマスク]を選ぶ。

「データを非表示」または「データをマスク」画面が表示されます。

3 [OK]をタップする。

プライベートデータが表示されない状態になります。



[データを非表示]を選んだとき



[データをマスク]を選んだとき

アプリケーションを追加して機能を拡張する

この章では、クリエにアプリケーションを追加して機能を拡張する方法を説明します。パソコンやインターネット、“メモリースティック”などの記録メディア経由でのインストールのしかたについても説明しています。

アプリケーションを追加して機能を 拡張する	208
インストールする	209
パソコンからクリエに インストールする	209
記録メディアにアプリケーションを インストールする	211
インターネットからインストールする...	211
追加インストールしたアプリケーションを 削除する	212

アプリケーションを追加して 機能を拡張する

付属のインストール CD-ROM に収録されているアプリケーションをインストールするには
別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「アプリケーションを使いこなす」をご覧ください。

ゲームやその他のソフトウェアなど、Palm OS 上で動作するアプリケーションをクリエに追加して、機能を拡張することができます。クリエで利用できる最新のアプリケーション情報については、クリエ公式ホームページ(<http://www.sony.jp/CLIE/>)をご覧ください。

ご注意

クリエに追加インストールしたアプリケーションは、すべてメモリ上に一時保存されています。そのため、**クリエをハードリセットすると、追加インストールしたアプリケーションはすべて削除されてしまいますので、クリエに再インストールしてください。**(内蔵メディアに保存したデータやアプリケーションは消去されずに残ります。)

インストールする

パソコンからクリエにインストールする

以下の方法で、パソコンからクリエにアプリケーションまたはデータをインストールすることができます。

クリエに付属しているアプリケーションのインストール方法は、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「アプリケーションを使いこなす」をご覧ください。

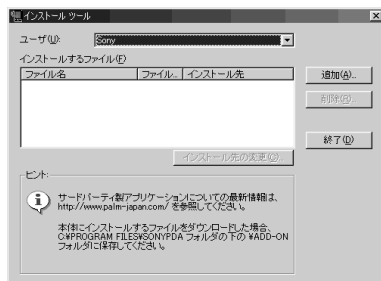
1 パソコンのデスクトップ画面にある[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

または、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム] (Windows XP の場合は[すべてのプログラム]) - [Sony CLIE] - [CLIE Palm Desktop]の順にクリックする。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動します。

2 [インストール]をクリックする。

「インストール ツール」画面が表示されます。



3 [ユーザ]の一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。

4 [追加]をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

付属のアプリケーションまたはデータは[Program Files] - [SonyPDA] - [Add-on] - [PEG- *** (お客様がお使いのクリエ機種名)] フォルダ内に収録されています。

5 インストールしたいアプリケーションをフォルダの中から指定してから、[開く]をクリックする。

「インストール ツール」画面に、指定したアプリケーションが一覧表示されます。

一覧にインストールする必要のないアプリケーションが表示されている場合は、不要のアプリケーションを選んでから[削除]をクリックします。選択したアプリケーションは一覧から削除されますが、パソコン上からは削除されません。



6 [終了]をクリックする。

7 [OK]をクリックする。

8 HotSync を行う。

手順5で選んだアプリケーションがクリエにインストールされます。

➡ HotSync について詳しくは、「HotSync する」(84 ページ)をご覧ください。

デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから、直接「インストール ツール」画面を表示することもできます

デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム] (Windows XPの場合は[すべてのプログラム]) - [Sony CLIE] - [インストール ツール]の順にクリックすると、「インストール ツール」画面が表示されます。また、.prc や .pdb 形式などのインストール可能なファイルをダブルクリックして表示することもできます。

記録メディアにアプリケーションをインストールする

「パソコンからクリエにインストールする」の手順 5 のあと、[インストール先の変更]をクリックし、アプリケーションを選んでから >> または << をクリックして、インストール先に[Memory Stick]（“メモリースティック”の場合）または[内蔵メディア]（内蔵メディアの場合）を指定すると、それぞれの記録メディアにアプリケーションをインストールできます。

記録メディアにアプリケーションをインストールしたときの注意

本機付属のアプリケーションは、“メモリースティック”および内蔵メディアからの起動をサポートしていません。

また、一部のアプリケーションでは、アプリケーションに関連するファイル（画像ファイル、動画ファイルなど）を表示できないことがあります。

前記の手順で、記録メディアに HotSync でアプリケーションやデータをインストールすると、「Palm/Launcher」フォルダにインストールされますが、アプリケーションによっては、決められたフォルダにインストールされているファイルのみ認識する仕様になっています。このため、HotSync で記録メディアの「Palm/Launcher」フォルダにインストールされたファイルは表示できないことがあります。この場合、「CLIE Files」を使って記録メディアから削除してください。

インターネットからインストールする

クリエ公式ホームページ(<http://www.sony.co.jp/CLIE/>)などで配布されているアプリケーションをダウンロードして、クリエに追加できます。

- 1** 追加したいアプリケーションを、パソコンでインターネットからダウンロードする。
- 2** ダウンロードしたファイルに含まれる「Readme」などの説明に従って、クリエに追加する。

特に説明がない場合は、ダウンロードした PRC 形式(.prc)のファイルをダブルクリックして、「パソコンからクリエにインストールする」(209 ページ)の手順 6 からの操作を行ってください。

追加インストールしたアプリケーションを削除する

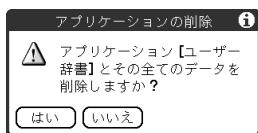
ご注意

削除できるのは、自分でインストールした追加アプリケーションのみです。アドレスやメモ帳、辞書、PhotoStand などといった、クリエが標準で搭載しているアプリケーションを削除することはできません。

- 1 ホーム  アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。
- 2 メニュー  アイコンをタップする。
- 3 [CLIE 3D Launcher]メニューの[削除]をタップする。
「削除」画面が表示されます。



- 4 削除元の▼をタップして、[本体]または記録メディアを選ぶ。
- 5 削除したいアプリケーションをタップしてから、[削除]をタップする。
削除の確認画面が表示されます。



- 6 [はい]をタップする。
手順4で選んだアプリケーションが削除されます。
削除をやめるときは、[はい]の代わりに[いいえ]をタップします。
- 7 [終了]をタップする。
ホーム画面に戻ります。

他のクリエのデータを 移す

この章では、現在お使いのクリエのデータを他のクリエに移す方法について説明します。

他のクリエのデータを移す.....	214
CLIE Palm Desktop ソフトウェアで データを引き継ぐ.....	214

他のクリエのデータを移す

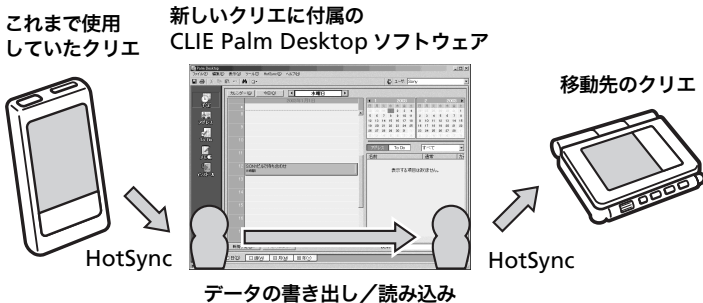
使用しているクリエから別のクリエにデータを移すことができます。すでにクリエを使用していて、あらたに別のクリエをお買い上げいただいたときなどに便利です。

ご注意

- お買い上げ後に追加インストールしたアプリケーションは、あらためてインストールし直す必要があります。
- 他社製アプリケーションの一部には、元の機種以外では動作しないものもあります。詳しくはアプリケーションの作成元にお問い合わせください。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアでデータを引き継ぐ

「予定表」や「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」のデータは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアを使ってパソコンでデータを書き出し（エクスポート）／読み込み（インポート）することでデータを引き継ぎます。



ご注意

データを引き継ぐには、移動先のクリエに付属の CLIE Palm Desktop ソフトウェアにこれまでに使っていたクリエで HotSync する必要があります。このとき、移動先のクリエとは別のユーザー名を使用する必要があります。

これまでに使っていたクリエからデータを書き出す

これまで使っていたクリエの「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」のデータをそれぞれ書き出します。

ご注意

以下の操作は、新しいクリエに付属している CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールした状態で行ってください。

- 1 これまでに使っていたクリエをパソコンと接続し、HotSync する。
- 2 パソコンのデスクトップ画面にある、[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動します。

💡 ヒント

デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム](Windows XP の場合は[すべてのプログラム])-[Sony CLIE]-[CLIE Palm Desktop]の順にクリックして起動することもできます。

- 3 画面右上の「ユーザ」選択リストから、今まで使っていたクリエのユーザ名をクリックして選択する。
- 4 画面左の[予定]アイコンをクリックする。
予定表の画面に切り替わります。
- 5 [ファイル]メニューから[エクスポート]をクリックする。
「ファイルのエクスポート」画面が表示されます。
- 6 ファイル名を入力してから、[エクスポート]をクリックする。
「予定表」のデータが書き出されます。
必要に応じて保存先は変更してください。
- 7 「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」についても、手順 4～6 と同様の手順を繰り返し、データを書き出す。

書き出したデータを新しいクリエに読み込む

新しいクリエに「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」のデータをそれぞれ読み込みます。

- 1** 画面右上の「ユーザ」選択リストから、移動先のクリエで使用するユーザー名をクリックして選択する。

💡 ヒント

まだ1度も HotSync していない場合は、[ツール]メニューから[ユーザ]を選び、「ユーザ」画面で[新規]をクリックして、新しいユーザー名を入力します。

そのあとで、入力したユーザー名を選んでください。

- 2** [ファイル]メニューから[インポート]をクリックする。

「インポート」画面が表示されます。

- 3** これまで使っていたクリエから書き出したファイルを選択し、[開く]をクリックする。

- 4** 新しいクリエで HotSync を行う。

これまで使っていたクリエから書き出したデータが、移動先のクリエに読み込まれます。

他のクリエと同じユーザー名で HotSync して、データを移さないでください

これまでに使っていた CLIE Palm Desktop ソフトウェアで、これまでに使っていたクリエと同じユーザー名で移動先のクリエを HotSync すると、データと同時に機種固有の設定も移されてしまい、トラブルの原因となることがあります。また、そのあとでこれまで使っていたクリエと同じように HotSync しても、トラブルの原因となることがあります。この方法ではデータを移さないでください。

クリエで HotSync するときにユーザー名を選ぶ画面が表示されたときは

これまでに使っていたクリエのユーザー名とは別の名前を入力してください。同じユーザー名を使用すると CLIE Palm Desktop ソフトウェアがクリエを誤認識して、それぞれの機種種のデータが入り交じってしまったり、データが消えてしまったりすることがあります。

また、Unsaved Preferences をコピーしてしまうと、ユーザー名もコピーされてしまうため、別の名前で管理することができなくなります。

他のクリエで HotSync する場合のご注意

すでに他のクリエをお使いの場合、以前から使っている CLIE Palm Desktop ソフトウェアは、お使いのパソコンから削除(アンインストール)せず、新しいクリエに付属している CLIE Palm Desktop ソフトウェアを上書きでインストールしてください。

索引

五十音順

ア行

アーカイブ	83, 130
明るさ	113
アプリケーション	
インターネットからインストールする	211
カテゴリごとにアプリケーションを表示する	34
起動する	16
記録メディアにアプリケーションをインストールする	211
終了する	17
追加インストールしたアプリケーションを削除する	212
追加して機能を拡張する	208
パソコンからクリエにインストールする	209
アプリケーションボタン	112
一般	116, 117, 118, 119, 120

カ行

カード情報	153
拡張設定	121, 122, 123
環境設定	
一般	116, 117, 118, 119, 120
拡張設定	121, 122, 123
ショートカット	96
書式	124
所有者	198
接続	125
デジタイザ	97
ネットワーク	98, 102
日付と時刻	126
ボタン	112, 113
ユーザー辞書	115
Bluetooth	92
Graffiti 2	95
キーボード照明	122
基本的な操作方法	12
共通メニュー項目	37

記録メディア	
アプリケーションを起動する	152
情報を確認する	153
初期化する(フォーマット)	154
名前をつける	153
ファイル/フォルダをコピー/移動/削除する	156
本機で使える記録メディア	148
検索	190
コーリングカード	105
コンジット	128

サ行

サービステンプレート	102, 107
時刻を合わせる	126
辞書	
辞書設定	80
辞書を引く	38, 189
できること	189
自動電源オフ	116
ショートカット	18, 54, 96
ショートカットを使う	
アプリケーションを登録する	23
登録を解除する	24
ジョグダイヤル	14
書式	124
所有者	198
シルクスクリーン領域	121
数字キーを使ってアプリケーションを起動できるようにする	123
数値	
単位ごとに好みの書式を選ぶ	124
地域ごとの標準設定で表示する	124
スクリーンキーボード	
基本的な使いかた	67
文字入力準備をする	65
Palm OS 標準の日本語入力システムを使って入力する	70
スタイラス	12
スタイラス操作により起動する機能を変更する	113
赤外線通信	
受信を入/切する	119
赤外線 HotSync	139

データやアプリケーションを受信する	174
データやアプリケーションを送信する	173
できること	172
赤外線通信ポート	27, 139, 172
接続	125
操作音	117

タ行

タップ	13
通信機器	125
データ保護	203
データを非表示	205
データをマスク	205
テーマカラー	120
デクマ手書き入力	
設定を変更する	64
その他の入力操作	62
その他の入力モード	63
正しく認識されないときには	59
デクマ手書き入力とは	55
標準モード	56
文字と背景の色	60
文字を変換する	61
デジタイザ	97
電卓	186
ドラッグ	13

ナ行

内蔵メディア	148
日時	124
入力位置	97
ネットワーク	98, 102
ネットワークログ	111
ネットワーク HotSync	132

ハ行

パスワード	
設定する	203
パスワードを忘れてしまった	205
変更／削除する	204

バックアップ	
HotSync でパソコン上にデータやアプリケーションをバックアップする	194
日付を合わせる	126
ファイルリンク	130
フォーマット	154
フォントを変更する	36
プライベートデータ	203
ホーム画面	
CLIE 3D Launcher(クリエ スリーディーランチャー)	16
Palm 標準のホーム画面	28
他のクリエのデータを移す	214
保護	203
ボタン	112, 113

マ行

“メモリースティック”	
ファイル／データを書き込み禁止にする	151
“メモリースティック”を使う	148
文字を入力する	
スクリーンキーボードで文字を入力する	65
デクマ手書き入力で文字を入力する	55
ATOK を使用する	42
Graffiti 2 で文字を入力する	45
モデム	125

ヤ行

ユーザー辞書	115
ユーザー名	128, 132, 143

ラ行

ローカル HotSync	84
ログインスクリプト	108
ログ表示	111
ロック	200

索引(つづき)

ワ行

ワイヤレス LAN

アドホックモード	98
手動で設定する	98
接続状態を確認する	101
ネットワーク接続設定を編集する	98
ワイヤレス LAN アクセスポイントを 検索して設定	99

アルファベット順

A

ATOK

覚えておくと便利な機能	76
推測変換を使って効率よく入力 する	73
標準の日本語入力システムに戻す	44
文字入力の準備をする	65
よく使う単語を登録する	74
ATOK の設定を変更する	79
ATOK を導入する	42

B

Bluetooth

機能を入／切る	92
機能を設定する	92
携帯電話を使ってインターネットに接続 する	179
できること	176
ファイル／データを交換する	176
ファイル／データを送信する	176
HotSync する	135

C

CLIE 3D Launcher

アプリケーション情報の表示	26
画面の見かた	18
グループの表示順を変更する	20
グループの編集	19
グループを削除する	21
グループを追加する	21
ショートカットを使う	23

スクロールバーを使って選択する	22
表示形式を変更する	25
メニュー項目	27
CLIE 3D Launcher グループ	19

CLIE Files

起動する	156
記録メディアのファイルをクリエにコ ピーする	162
記録メディアのファイル／フォルダを 削除する	163
クリエのファイルを記録メディアにコ ピーする	160
メニュー項目	167
CLIE Files を使わずにアプリケーション を交換する	168

CLIE Palm Desktop

画面の見かた	87
起動する	86
基本的な使いかた	88
データを引き継ぐ	214

G

Graffiti 2

基本的な使いかた	52
アルファベットの大文字を入力 する	46
アルファベットの小文字を入力 する	47
記号を入力する	47
ショートカットを利用する	54
数字を入力する	47
設定する	95
ナビゲーション記号を利用する	54
Graffiti 2 とは	45
Graffiti 2 入力エリア	51
Graffiti 2 文字一覧	48

H

HotSync

外部ファイルを同期する	130
赤外線 で HotSync する	139
接続設定を変更する	131
ワイヤレス LAN 経由で HotSync する	132
Bluetooth で HotSync する	135
HotSync 時の動作を設定する	128
HotSync する	84

HotSync とは？	82
HotSync マネージャの起動方法を 変更する	131
LAN 経由で HotSync する	142
USB ケーブルで HotSync する	84

L

LAN Sync	142
LED	118

P

Palm 標準のホーム画面	
表示形式を変更する	32
アプリケーションを起動する	29
カテゴリごとにアプリケーションを 表示する	34
CLIE 3D Launcher に戻す	29
Palm 標準のホーム画面に 切り換える	28

Z

Zip 形式のファイルを解凍する	165
------------------------	-----

ATOK 使用許諾契約書

使用許諾契約書

※本製品は、本製品と共にご購入された機器でのみご使用いただけます。

この使用許諾契約書は、お客様がご購入された機器（以下、「本装置」）と共に株式会社ジャストシステム（以下、「弊社」）から提供されるソフトウェアおよびそれに付随するマニュアル等の関連資料のご使用条件等を定めたものです（以下、ソフトウェアと関連資料をあわせて、「本製品」とします）。

お客様は使用許諾契約書の内容にご同意の上、ソフトウェアをご使用いただくものとします。お客様がソフトウェアのご使用を開始した時点で本契約が成立したものと見なされます。ご同意いただけない場合は、ソフトウェアのご使用を開始する前に、本装置と共にご購入先までご返却ください。

本契約書にご同意いただいたお客様は、弊社が別途定める方法により、ユーザー登録を行ってください。ユーザー登録を行わないと弊社からのサービス・サポートを受けることができません。

また、本書および本製品中のメディアや関連資料は、お客様が本製品の使用者であることを証明する資料となりますので、お客様の責任において本装置とあわせて大切に保管・管理してください。

第 1 条 定義

①ソフトウェア

本製品にて提供されるコンピュータプログラム、その他のデジタルコンテンツをいい、特段の記載がない限り、弊社が権利者の許諾のもとに提供する第三者の著作物も含むものとします。

②ソフトウェアの使用

本装置の記憶媒体に複製されたソフトウェアを本装置のメモリにロードして実行することによりソフトウェアを使用することをいいます。

第 2 条 使用条件

1. ソフトウェアを本装置上でのみ使用することができます。
2. お客様は、お客様が本装置を占有し管理していることを条件として、本装置を第三者に使用させ、もって本装置にインストールされているソフトウェアを当該第三者に使用させることができますものとします。
3. ソフトウェアの使用に関し、本契約書以外に個別に条件が定められている場合は、本契約書とあわせて遵守いただくものとします。個別の条件が本契約書と異なる場合は、個別の条件が優先するものとします。

第 3 条 禁止事項

お客様は、本契約書で許諾される場合を除き以下の行為を行わないものとします。

- ①本装置以外でのソフトウェアの複製および使用ならびにマニュアル等関連資料の複製
- ②コンピュータプログラムの改変あるいはリバースエンジニアリング
- ③コンピュータプログラムの全部または一部の第三者に対する再配布
- ④ソフトウェアの再使用許諾、あるいはその複製物の貸与・譲渡
- ⑤本製品の貸与・レンタル・疑似レンタル行為あるいは中古品取引

第 4 条 譲渡

お客様は、弊社が別途ご案内する所定の手続き・条件に従い、本製品を本装置と共に第三者に譲渡することができます。また、本装置を第三者に譲渡する場合は、弊社の別途ご案内する所定の手続きを行った上で本製品の一切を本装置と併せて譲渡するか、若しくは、本装置内のソフトウェアの複製物及び本製品の一切を消去・破壊しなければならないものとします。その際、お客様は、ソフトウェアの複製物を手元に残しておくことはできません。ただし、本製品に対するサービスを通じて弊社の新製品を既にご購入されている場合は、弊社は、本製品の譲渡の申し出には応じられないものとします。

第 5 条 弊社の責任

弊社は、

1. お客様が本装置を購入された日から 90 日間に限り、本製品の媒体に物理的な欠陥があった場合、又はマニュアルに乱丁・落丁があった場合は、欠陥の程度に応じて弊社の判断に基づき、媒体もしくはマニュアルの交換、又は本製品の代金相当額の返還をいたします。
2. お客様が本装置を購入された日から 90 日間に限り、ソフトウェアに重大な瑕疵があった場合（但し、動作保証対象外の特定のハードウェア、ソフトウェア、及びそれらの組み合わせによる動作不具合を含まないものとします）、欠陥の程度に応じて弊社の判断に基づき、媒体の交換もしくは修補プログラムの提供、解決方法の案内、又は本製品の代金相当額の返還をするものとします。また、ソフトウェアの品質・機能がお客様の特定の使用目的に適合することを保証するものではなく、本製品の選択導入の適否はおお客様の責任とします。
3. 本製品の瑕疵に関して前 2 項に定める以外の責任を負いません。法律上の請求の原因を問わず、本製品の使用又は使用不能から生ずる派生的財産的損害及び精神的損害、ならびに直接的又は間接的な営業上の損害については、弊社は責任を負わないものとします。いかなる場合においても、本契約書に基づく弊社の責任は、本製品の代金相当額を上限とします。
4. お客様がユーザー登録された場合において、別記の「サポートご利用規定」に基づくサポートを提供いたします。

第 6 条 有効期間

1. 本契約の有効期間は、本契約成立の時からお客様が本製品の使用を停止するまでとします。
2. お客様が本契約のいずれかの条項に違反したとき、または弊社の著作権を侵害したときは、弊社は本契約を解除しお客様のご使用を終了させることができます。
3. 本契約が終了した場合、お客様は速やかにお客様のご負担で本製品を弊社に返却あるいは破壊していただくものとします。

第 7 条 一般条項

お客様および弊社は、本契約に関連して発生した紛争については、徳島地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーションカスタマーリンクへ

● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ

● 0466-38-1410

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

最新サポート情報は

クリエ本体とクリエ用周辺機器、および付属のソフトウェアに関する最新情報は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。また、クリエ用周辺機器をお使いになる場合は、下記サイトのダウンロードページから最新のソフトウェアを入手してください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● <http://www.nccl.sony.co.jp/> ➔ **機種ごとのサポート情報へ**

付属の冊子もあわせてご覧ください。

「クリエ サービス・サポートのご案内」

「困ったときは Q&A」

クリエのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。

● <http://www.sony.co.jp/CLIE/>